



# F D & S D 報告書 2 0 2 0

埼玉純真短期大学 F D & S D 推進委員会

## 学園設立の目的

本学園は時代の要望に即応し、高い知性と豊かな情操とをもって、社会、家庭に歓迎され、敬愛される良識ある女性を訓育する目的として設立されたものである。従って、次の学園訓を掲げる。

# 学園訓

## 気品

人を魅了し、良き師、良き友を得て、  
お互いを高め合い、他者をして犯すべからざる  
精神性の高さで行動すること

## 知性

広い視野に立ち、枝葉末節に拘泥することなく、  
物事の本質を見定め、考え、判断し、  
節度を持った行動をすること

## 奉仕

多くの人に支えられていることに感謝し、  
利害得失を捨てたときに、心の底から生まれる  
志に準じて行動すること



## はじめに

近年、大学を取り巻く環境と大学教育への期待は大きく変化しています。また、このコロナ禍の中で、大学の学生対応や授業実施方法などからも大学の在り方を今一度、原点に立ち返って検証しなければならないことの重要性が浮き彫りとなりました。このいろいろな側面で変化を求められる状況で、本学は「気品・知性・奉仕」の建学の精神に則った3つのポリシーを基本とした大学運営や教授・研究を改善・向上させるよう取り組んでおります。これからはこれまで以上に時代の変化を先取りして対応していかなければ、大学の存在が危うくなると考えております。そのためにも個人的レベルではもとより組織的なレベルで取り組んでいるこの「FD&SD 推進活動」を継続的に発展させることが非常に重要であるとと考えております。

本学が大学としての存在意義をはっきりと認識し、打ち出し、その使命を果たすためには、大学運営において一層の思考と行動を抜きに考えることはできません。そのためにも教職員全員が担当分野において大学運営に必要な知識や技術を身につけ、それぞれの業務において質的向上を目指すためにも

「FD&SD推進活動」はいつそう重要なものと位置付けられます。本学では、この「FD&SD 推進活動」を全学的に推進するために「FD&SD 推進委員会」を設け、年間を通して教職員の発表や外部講師をお招きするなどの取り組みをしています。

本報告書は2020年度の授業や業務への取り組み状況を1冊にまとめ、外部評価委員会委員の皆さまをはじめ多くの方からご意見やアドバイスなどを頂戴し、より良い大学とするために作成しております。

すべての物事には「出発点」があり「到達点」があります。その到達点に向けて、人や組織には時間や状況の制約の中で、その過程においてさまざまな選択が課され、より良い選択により、明るい未来への途が決定されます。この時、最も重要なことは、歩んできた過去を振り返り、客観的に点検・評価したことをこの選択に反映することだと考えます。その点検・評価基準に妥当性があり、時代や状況に適したものであればあるほど、将来への選択は確実なものとなると考えます。

本学の現在があるのも学生が激減していた時に教職員全員が真剣に過去を振り返り、現在を見つめ、将来を展望しながら、「FD&SD推進活動」を実施した結果であると考えています。

そのひとつが入学者減少（定員割れ）の状態を18歳人口減少に原因があると、外的要因とするだけでは決して発展的な選択はできないと認識し、時代という外的要因の後押しで勝ち得た過去の夢から早々に脱却し、本学の使命である保育者養成という専門的知識と技術を持って、地域に貢献する人材の養成に意識的、積極的に取り組んだ証が今の埼玉純真短期大学であると確信しています。

本学では、それぞれの教職員が「学生にとって」「学生のために」を第一義と考えての教育と研究、そして大学運営を本学園創設者福田昌子博士が掲げた「学園訓」や「三つのポリシー」に基づき、今後も推進して参ります。

この「FD&SD推進活動報告書」は本学の教職員がそれぞれに発表したものをまとめたものです。これからもこれだけで満足することなく、緊張感と使命感を強く保ちながら、いつそうの充実と質の向上を図るためにも「FD&SD推進活動」を継続しなければならないと考えています。

2021年10月

埼玉純真短期大学 学長 藤田利久

# F D & S D 報告書 2020 目次

委員会発表 … 1

S D 職員取り組み 3分スピーチ … 49

FD&SD 全体研修 … 67



# 委員会発表

# 組織としてのFD&SD発表 目次

教務委員会	「ルーブリック評価の実施状況と課題」	・・・3
FD&SD委員会	「FD&SD・自己点検に求められることの変遷」	・・・8
実習指導委員会	「コロナ禍における本学の実習での対応について」 「エピソード記録について」	・・・11
図書館情報委員会	「埼玉純真短期大学図書館の現状と課題～学生アンケート調査から」	・・・21
学生委員会	「避難訓練について」	・・・29
進路支援委員会	「コロナ禍における就職支援について」	・・・34
入試広報委員会	「コロナ禍の学生募集と今後の課題」	・・・38
IR推進委員会	「教学情報と入試情報について」	・・・43
総務&庶務	「みなさまとともに業務効率化へ向けて」	・・・44

## ルーブリック評価の実施状況と課題

### 1. 発表の目的

- (1) 埼玉純真短期大学でのルーブリック評価導入の経緯と実施状況を把握し、課題を明らかにする。
- (2) 今後の展開についての提案し、どう進めていくかの考えを共有する。
- (3) 10月14日にZoom開催で行われた純真短期大学のルーブリック評価に関するFDSD研修会で情報交換された内容の報告し、ルーブリック評価を進める上での参考にする。

### 2. 発表の概要

- (1) 埼玉純真短期大学でのルーブリック評価導入の経緯と実施状況、課題

#### ①ルーブリック評価導入の経緯

2018年に短期大学基準協会の認証評価を受審し、課題として学習成果の可視化があげられた。そこで、学習成果の可視化の一つとして、ルーブリック評価に取り入れることになり、2019年1月の教務委員会で、導入方法とフォーマットの検討を行い、まずは、専任の担当科目において、ルーブリック評価を作成し、1年間試行期間として実施することになった。

#### ②ルーブリック評価実施状況

新年度開始前の教員打ち合わせ会の分野別分科会において、専任教員より、それぞれ作成したルーブリック評価表を提示、配布し、4月から、このような評価基準において授業実施することを、同系列の科目間で伝え合い、意見交換を行った。そして、今後、全科目で実施する方向であることを念頭においていただくようお願いをした。こうして、2019年度、試行期間として実施した。

#### ③課題

その実施の結果と内容の検討を、2019年度末3月の教員打ち合わせ会で行う予定だったが、コロナ禍で教員打ち合わせ会は中止となり、検証、実施はできていない。

課題として4つあげてみる。

- ・2019年度作成ルーブリック評価の検証と見直し
- ・ルーブリック評価の活用法
- ・全科目で実施できるようにする
- ・最終的に、学科としての学習成果を測れるようにする

- (2) 今後の展開について

半期終了時に、教員から提出していただいている「授業・評価に関するコメント」に、ルーブリックを作成した科目については「ルーブリック評価は活用したか」という問いを加えて、検証というところまでは至らずも、担当者がルーブリック評価を意識する機会とし、活用状況、改善事項等を把握する。

その上で、フォーマットの見直しを行うが、作成する上での共通理解事項として、学生自

身で評価できる方法、到達目標を意識して学び、自ら、どこまで達成できたかを知ることができるようにしたい。また、実際の成績評価にどう活用するかを視野に入れて作成し、今後シラバスの評価方法の記述に含められるようにすることを見とおして作成する。

その上で、2021年度は、全科目での実施を目標とし、来年度末には、評価の集計を行い、学習成果の到達度合を分布図などにし、それらの結果を、授業内容、評価方法のさらなる改善につなげていきたい。

今後、ルーブリック評価の活用をテーマに、FDS D 研修会において発表することや、研究論文集への投稿を積極的に考えてほしい。

### (3) 純真短期大学のルーブリック評価に関するFDS D 研修会で情報交換された内容

純真短期大学FDS D 研修会で、本学の実施状況と課題について発表し、そこでいただいた質問や意見の中で、特に、我々も考えいかなければならないと感じたことを次の3点である。

- ・成績評価に取り入れる際、〇〇を理解できるという評価は、試験の方が結果がはっきりするというとも言えるので、ルーブリック評価ならではの活用は何か。
- ・ディプロマポリシーのもとに作成されるべきものなので、それをどう取り込むか。
- ・データ化の方法

貴重な意見として、今後検討していく。

## 3. まとめ

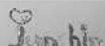
2019年度、専任教員で試験的に実施した。今年度はその検証と見直しを行い、来年度はどう活用するかを念頭において、全科目で実施できるようにしていく。そして、2022年度、成績評価に活用できるようにする予定で進めていきたい。

さらに、来年度、再来年度 のFDS D 研修での教員の発表は、「〇〇授業におけるルーブリック評価の取り組み」というテーマでの発表を提案し、その報告など、研究論文集への投稿を積極的に行っていくことで、ルーブリック評価の活用方法が、さらに、見えてくるのではないかと思う。

埼玉純真短期大学FDSD研修会

## ルーブリック評価 実施状況と課題

埼玉純真短期大学  
教務部長 小澤和恵



- 1) 導入の経緯
- 2) 実施状況
- 3) 課題と今後の展開
- 4) 純真短期大学  
FDSD研修での  
意見交換内容



### 1) 導入の経緯

2018年（平成30年）に認証評価を受審

<課題> 学習成果の可視化

・ルーブリック評価導入

2019年1月 教務委員会

・導入方法とフォーマットの検討

- ・2019年度は専任教員で試験的に実施
- ・いくつかの大学のフォーマット参考



### ルーブリック評価フォーマット

科目名：

到達目標	1	2	3	4
1.				
2.				
3.				

↑  
シラバスの到達目標や授業のねらいなども参考に、3～5項目を挙げる。



2019年1月 教授会で審議・実施決定

・専任教員にフォーマット配信

3月1日

・専任教員担当全科目

ルーブリック評価提出×切

2019年3月6日 臨時教務委員会

・提出されたルーブリック評価  
記述形式・内容の確認

(資料1-①②)



2019年3月20日 教員打ち合わせ会  
分野別分科会にて

・ルーブリック評価について  
意見交換

2019年度 試行期間として実施する  
ことになった



## 2) 実施状況

2019年度  
専任教員、各担当科目において  
試行的に実施  
2019年3月 教員打ち合わせ会で検証  
2020年度  
全科目でルーブリック評価を取り入れる  
予定だったが…検証・実施できず



## 3) 課題と今後の展開

- ①2019年度作成ルーブリック評価の  
検証と見直し
- ②ルーブリック評価の活用法
- ③全科目での実施にむけて
- ④学科としての学習成果を測れるように  
する



### ①2019年度作成ルーブリック評価の 検証と見直し

### ②ルーブリック評価の活用法

### ③全科目での実施にむけて

- ▶2020年度半期終了後  
「授業・評価に関するコメント」の提出  
※各科目「ルーブリック評価」の検証と  
見直しの依頼 (資料2)



2021年2月 教務委員会で検討

- ▶フォーマットの見直し
- ▶作成する上での共通理解事項について
- ▶「ルーブリック評価表」を学生自身で  
チェックできる方法 (学習成果の実感)
- ▶得点化または、成績評価への活用方法  
(資料1-③)  
⇒シラバス評価方法記述に含めることを  
見とおして



2021年2月末

全科目において  
「ルーブリック評価」の  
見直し・作成 (教務に提出)

2021年3月教員打ち合わせ会  
実施方法の情報交換・情報共有  
※非常勤講師・オムニバス授業の調整



2021年度

全科目で実施

来年度末には…

- ▶ 評価の集計 (分布図など)
- ▶ 集計結果を改善につなげる





#### ④学科としての学習成果を測れるようにする

- ▶各科目のルーブリック評価
- ▶ポートフォリオ（学習成果に関わる報告書）
- ▶人財チェックシート
- ▶純真検定

をどう統合するか！

学科としての  
学習成果を測れることを目指す



#### 4) 純真短期大学FDSD研修会での意見交換内容

- ▶成績評価に取り入れる際、〇〇を理解できるという評価は、試験の方が結果がはっきりするということも言えるので、ルーブリック評価ならではの活用は何か。
- ▶ディプロマポリシーのもとに作成されるべきものなので、それをどう取り込むか。
- ▶データ化の方法



#### まとめ

2019年度 専任教員で試行的に実施

2020年度 検証と見直し

2021年度 全科目で実施

（どう活用するかを念頭に）

2022年度 成績評価に活用

（シラバス評価方法に入れる）



## FD&amp;SD・自己点検に求められることの変遷

～「私立短期大学等経常費補助金 令和2年度の変更点」の内容を踏まえて～

## 1. 目的

昨年から、補助金申請に係る会議に参加している。そこで気づいたのは、毎年 FD&SD 活動等に求められることに変更が加えられ、それらに対する活動状況が補助金審査に響くということである。

ここでは、補助金審査の際に「FD&SD 及び自己点検」に求められている内容を周知し、本学では、どのような活動が FD&SD として機能しているのかを整理してお伝えする。また、各委員会においてもそれぞれに該当する内容がある場合は、委員長を中心に補助金申請の要件を確認する機会を設けていただくと、次年度に繋がる旨をお知らせすることを本発表の目的とする。

## 2. 私立短期大学等経常補助金 令和2年度の変更点(日本私立学校振興・共催事業団助成部 補助金課より)

## ① FD&amp;SD を中心とした変更の概要より

平成30年度→令和元年度

SD・FD の義務化等により、新たな設問を設定した。

令和元年度→令和2年度

IR 機能については、整備の他に点検・評価に活用していること、SD・FD については、組織的かつ体系的に実施していることを要件に追加した。

特に、SD の項目で確認しておくべきことは、「全専任教職員を対象として組織的かつ体系的に」という文言である。これを踏まえ SD 及び FD の内容を整理すると、下記ようになる。

SD=①教職員が組織的に職能を高めるための研修・取り組み、②職員が職能を高めるための取り組み

FD=教員が授業力を高めるための研修・取り組み(いずれも組織的体系的に行うことが求められている)

## ② 本学での FD 及び SD の取り組み

FD〈教員〉○相互授業参観&amp;報告書提出 ○授業評価アンケート実施&amp;コメント提出

○シラバス通りに授業実施できたか(ループリックについても含)のアンケート回答

SD〈職員〉○朝の発表&amp;ブログ作成

SD〈教職員〉○委員会組織や、事務(庶務や会計等)の運営をより良くする発表及び、

様々なアンケート結果の考察・共有等のための発表

FD&amp;SD 全体研修…外部講師による講演等

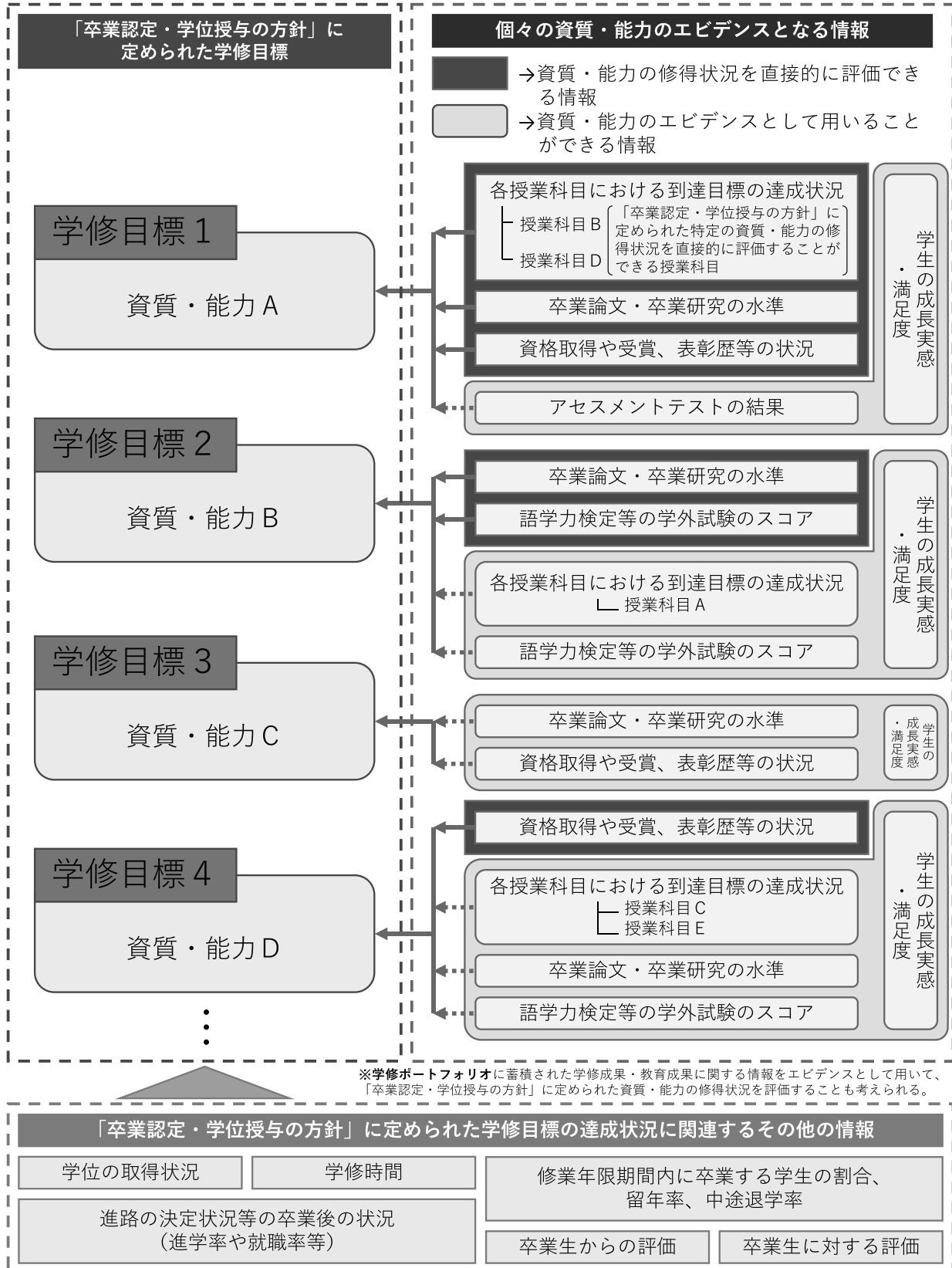
## 3. 今後の展望(改善に向けて)

補助金申請の際に変更点があるのはなぜか、紐解いていくと文科省の中教審にたどり着く。今回 FD&SD についての変更点は、令和2年1月に大学分科会から出された「**教学マネジメント指針**」に沿っていることが分かった。大学の教職員として、最新の指針の内容を各人が把握しておくことは、今後の取り組み方へも大いに影響すると思われる。様々な方策や考え方が書かれており、大学運営のヒントになる指針である。

ぜひ、各委員会活動内においても補助金の要件と合わせて、委員会に関連する部分については確認をしておくとういだろう。補助金のためだけでなく、大学運営の基本的な方針を知るツールにもなると思われる。本学の特質に合わない内容については全て従う必要はないが、これらのことを念頭に入れつつ、FD&SD 及び委員会活動、それらを踏まえた自己点検を行い、PDCA サイクルを確立すると、より自律的な運営ができるであろう。

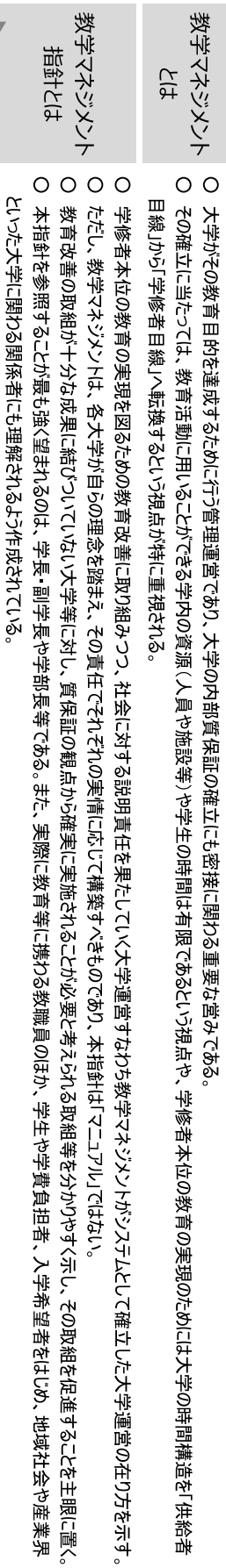
・教学マネジメント指針([https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1411360_00001.html))

「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標と  
学修成果・教育成果に関する情報の関係（イメージ）



# 「教学マネジメント指針」概要

予測困難な時代を生き抜く自律的な学修者を育成するためには、学修者本位の教育への転換が必要。  
 そのためには、教育組織としての大学が「教学マネジメント」という考え方を重視していく必要がある。

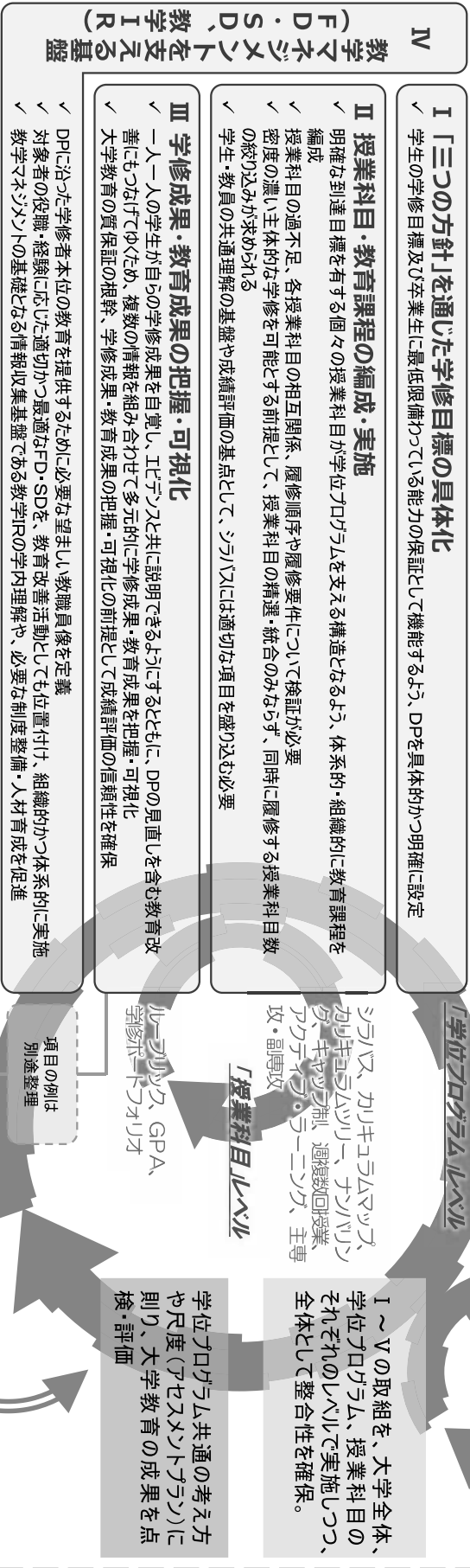


学長のリーダーシップの下、学位プログラム毎に、以下のような教学マネジメントを確立することが求められる。

## 三つの方針

「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP)、「入学者受入れの方針」(AP)

教学マネジメントの確立に当たって最も重要なものであり、学修者本位の教育の質の向上を図るための出発点



積極的な説明責任

**V 情報公表**

- 各大学が学修者本位の観点から教育を充実する上で、学修成果・教育成果を自発的・積極的に公表していくことが必要
- 地域社会や産業界、大学進学者といった社会からの評価を通じて大学教育の質の向上を図る上でも情報公表は重要
- 積極的な説明責任を果たすことで、社会からの信頼と支援を得るといった循環の形成が求められる

社会からの信頼と支援

## FSDS 研修 実習指導委員会：コロナ禍における本学の実習での対応について

発表日 令和3年3月3日(水) 【発表者】 加藤 房江、林 真麻、栗原 奈緒美

### 1. 発表の目的

令和2年度は、コロナウイルス感染拡大を受け、実習先からそれぞれ対応を迫られ、2年生の幼稚園後期実習が、5月から9月下旬以降延期された。保育所実習や施設実習も予定の日程から、延期や実習の断りを受けての新しい園を探す等の対応に迫られた。

本学でも学生の指導や先生方へ実習園巡視訪問について園への負担軽減の目的から事前のお願いをした。今回、実習園巡視訪問に行っていた先生方から、現場からの意見や要望を質問紙にて調査を行い、まとめ共通理解することで、より充実した保育実習や巡回指導を行うことへと繋げていきたいと考えた。

### 2. 発表の概要

学生への指導：感染症対策の徹底と自粛期間から毎日検温、検温表の提示が求められるので、丁寧に検温。コロナ禍の大変な中で実習を受けていただくことへの感謝の気持ちを持つ。実習前や特に実習中のむやみな外出、自分が感染源にならないよう細心の注意を払う。実習日誌添付の検温表と行動記録の記入、実習前アルバイト禁止の期間の延長を1週間→2週間に変更。

遠方の学生は、2週間前や3日前の自宅待機を要請される場合があった(可能な限り対応)

先生方への巡視お願い：園への負担をかけないように30分程度の巡視ですませる。

実習園から実習指導係への連絡内容：コロナの状況により、実習・オリテの日程変更、電話巡視の願い、健康チェックシートの提示、県外の学生の自宅待機、事前のPCR検査の依頼等あり。

先生方への質問紙調査の内容と結果

#### A 巡視訪問時の平均滞在時間について

保育所、幼稚園は、20分～30分が60～70園、施設は30分～60分18園

#### B 巡視訪問時の滞在场所は全体的にどのようなところでしたか

保育所は事務室内73園、教室69園、幼稚園は事務室内75園、教室38園、施設は応接室や会議室18園であり、園児や利用者の方と接しない場所だった。

#### C 巡視訪問時において、検温も含め何か要請のあった園はありましたか

保育所：あり90園なし42園、幼稚園：あり54園なし47園、施設：あり11園なし11園。

#### D 巡視訪問にあたり、ご配慮されたこと、改善が必要なこと等ご意見をお聞かせください

スリッパ、マスク着用、検温、消毒の上、さらに施設内に入らないようにした。電話訪問の大学もあるので、実習園とアポイントをとる際に電話巡視なのか、巡視訪問をしてよいのか確認する必要がある。特に公立園では、教育委員会(役所)の判断もあり、園独自の判断での受入れ判断は難しい場合や配慮要請が多かった。等

### 3. まとめ

コロナ禍の中で、それぞれの園で工夫しながら、実習生を受け入れてくださっていた。先生方にも協力していただいたことに感謝。特に公立園の対応については、教育委員会(役所)の判断もあり、園独自の判断での受入れ判断は難しいことや大学側の配慮がより求められる。PCR検査等や今後のワクチン接種等、刻々と状況が変化していくので、国や県、政府の対応を受け、学内で相談しながら対応していきたい。今回は実習時期の変更や実習受け入れのお断り、その対応に迫られた。これからの施設実習において、実習のお断りや保留の学生の対応等も難航が予想されるので、実習代替え授業を3月中に協力しながら行う予定。学生の検温については、今回は実習指導係で管理を行うことで、相当時間を割いてきたが、今後クラスで管理する等、検討の余地あり。コロナの終息が見えないので、次年度も実習先や期日の変更等対応に迫られることが予想されるが、協力して乗り切っていきたい。



## コロナ禍における本学の 実習での対応について

FDSD発表 実習指導委員会 2021・3



- 実習日誌添付の検温表を1週間→2週間に変更
- 実習前アルバイト禁止の期間の延長 1週間→2週間に変更
- 行動記録について2週間の記入すること→日誌添付
- 遠方の学生は、2週間前や3日前の自宅待機を要請される場合があった(可能な限り対応)
- 家族全員の検温・行動記録等をお願いされるケースもあり、プライバシーに触れない範囲で対応

### 実習園からの連絡内容 幼稚園

- 2年生幼稚園後期実習が、5月→9月下旬以降に延期
- オリエンテーションの日程変更あり
- 関係者からコロナ感染者発生、また、群馬県大泉町独自の緊急事態宣言発令のため、実習日程延期あり
- フェイスシールドとマスク着用その他、教室の外側からの観察実習であること、園庭遊びも園児には接触せず距離を置いて見学する、また、昼食も園児とは別室対応であれば受入れるとの申し出→丁寧に断りました
- 1年生の遠方(北海道)の幼稚園実習は、北海道の感染状況により、早い段階で羽生市内の園に切り替えた

### 学生への指導

- 感染症対策の徹底
- 自粛期間から毎日検温し、園から提示を求められるので、丁寧に検温すること
- 今回、実習先では、コロナ禍で大変な中で実習を受けていただくことへ感謝する
- 実習前や特に実習中のむやみな外出、実習関係以外の方に極力会わない
- 自分が感染源にならないよう細心の注意を払う



### 先生方へのお願い

- 実習の巡視については、できれば、玄関先でのご挨拶、学生との面会にて失礼する
- 園の方で、中に通された場合は、スリッパ持参の上、30分程度の巡視ですませる
- 園への負担をかけない(公立の園等によっては、事前に電話巡視をお願いされた場合それに従う)
- 毎日の検温と体調の確認を記録



### 実習園からの連絡内容 保育所

- オリエンテーションなしや電話での巡視にしてほしい
- 公共交通機関の使用は極力避けてほしい
- 公立の幼稚園は、実習受入れにあたり検温を含めた健康チェック、行動記録等の要請依頼あり
- 公立園については、教育委員会(役所)の判断もあり、園独自の判断での受入れ判断は難しい
- 園児の保護者もかなり過敏になり、園児を休ませている状況の中での実習受入れは難しい
- 小さい子どもをお預かりしているので安全な状態で実習の受入れをしたい

- 県外への実習先の場合、実習前2週間より自宅待機の要請（岩手県・福島県・新潟県・栃木県・宇都宮市）
- 4年制も含め、多くの大学でリモート授業をしている中、本学が対面授業を実施しているため、コロナに関する対策等の質問が多い
- 回答として、健康チェックおよび行動管理、実習2W前からのバイト禁止等の説明をした
- 実習前にPCR検査を受ける等安全な状況を作ってほしい
- PCR検査を1週間前に実施→陰性証明書の提出要請

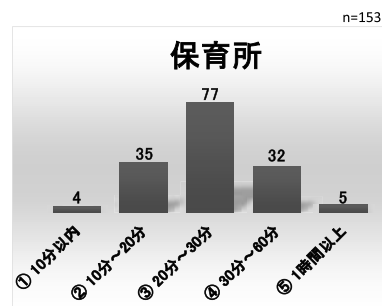
### 実習園からの連絡内容 施設

- 乳児院の実習受入れは全部NG
- 例年より大幅に実習受入れの非承諾が多く、実習先選定に苦戦
- 年明けすぐの施設実習において、コロナ状況で実習実施の難色を示す施設の申出やお断りされた
- 施設のある市内在住の学生を対象希望としているところが多く、県外・市外からの受入れは避けたいとのこと
- 2月以降の別期間で実習調整をしていただいた
- 巡視の先生についても2週間前からの検温要請あり

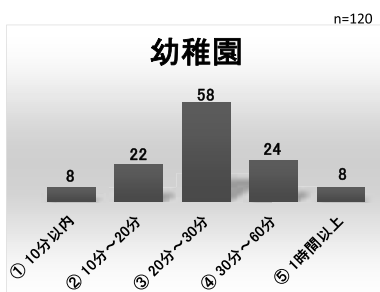
### 先生方へアンケートのお願い: 質問項目

- A 巡視訪問時の平均滞在時間について
- B 巡視訪問時の滞在場所は全体的にどのようなところでしたか
- C 巡視訪問時において、検温も含め何か要請のあった園はありましたか
- D 巡視訪問にあたり、ご配慮されたこと、改善が必要なこと等ご意見をお聞かせください

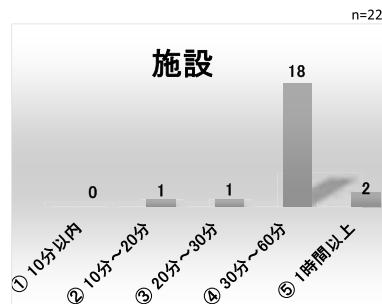
#### A 巡視の平均 滞在時間



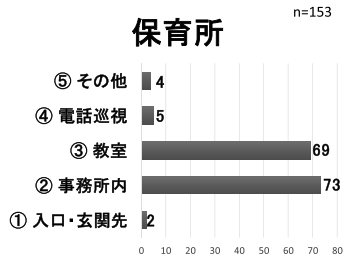
#### A 巡視の平均 滞在時間



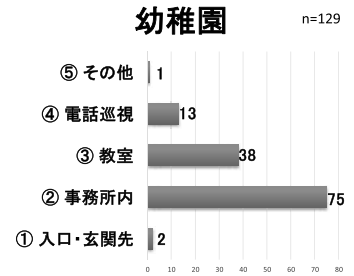
#### A 巡視の平均 滞在時間



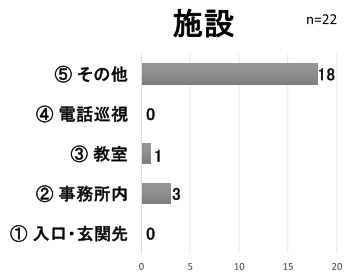
B  
巡視訪問中の  
滞在場所



B  
巡視訪問中の  
滞在場所



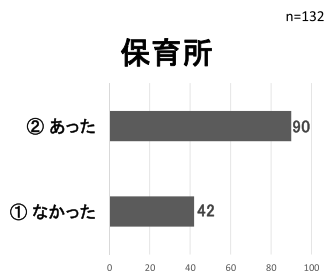
B  
巡視訪問中の  
滞在場所



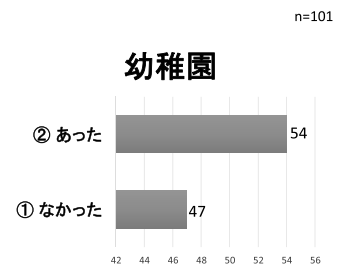
⑤その他(訪問時の滞在場所)

- 羽生市立保育所前半では、テラスで話すよう言われた
- 園庭での対応園(幼稚園)があった
- 応接室や会議室での施設があった

C  
検温も含め  
何か要請の  
あった園

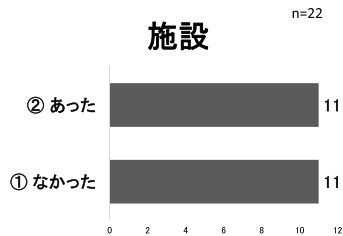


C  
検温も含め  
何か要請の  
あった園





**C**  
検温も含め  
何か要請の  
あった園



先生方のご意見 幼稚園・保育所



- スリッパ、マスク着用、検温、消毒の上、さらに施設内に入らないようにした
- スリッパをお借りした際、帰る時に除菌してお返しした
- 特に公立園は受入れが難しい園もあったので、大学側の配慮がより求められる
- 電話訪問の大学もあるので、実習園とアポイントをとる際に電話巡視なのか、巡視訪問をしてよいのか確認する必要がある

- 巡視時間が長くなりがちなの園
- \*問題がある学生の場合
- \*園の先生から相談(就職等)がある園
- \*学生と話す時間をしっかりとってくださる園
- \*「学生の様子を見てください」と言われた園



先生方のご意見 保育所

- 学生のマスクについては、絵本を読んだり、歌をうたう時間のために透明のシールドマスクを用意してほしい

先生方のご意見 幼稚園

- 実習先については、本学の学生数が多いこともあり、求人をしていただいているところについては、実習先を広げるのもいいのではないかと感じた。(東松山方面)
- 実習先としては検討を要する園もある。
- 保育所より幼稚園は保育時間が短いため、学生の相談があっても早々に切り上げる方がよいと思った。
- 卒業生の面談もできた

まとめ

- コロナ禍の中で、それぞれの園で工夫しながら、実習生を受け入れてくださっていた
- 先生方にも協力していただいたことに感謝
- 特に公立園の対応については、教育委員会(役所)の判断もあり、園独自の判断での受入れ判断は難しいことや大学側の配慮がより求められる
- PCR検査等や今後のワクチン接種等、刻々と状況が変化していくので、政府の対応を受け、学内で相談しながら対応していきたい

- 今回は実習時期の変更や実習受け入れのお断りその対応に追われた



- これからの施設実習において、実習のお断りや保留の学生の対応等も難航が予想されるので、実習に代替え授業を3月中に協力しながら行う予定
- 学生の健康チェックシートについては、今回は実習指導係で管理を行うことで、相当時間を割いてきたが、今後クラスや学生で管理する等検討の余地あり
- コロナ禍の動向により、次年度も実習先や期日の変更等対応に追われることが予想されるが、協力して乗り切っていきたい

令和2年度 FD&SD発表

## エピソード記録を活用した実習日誌

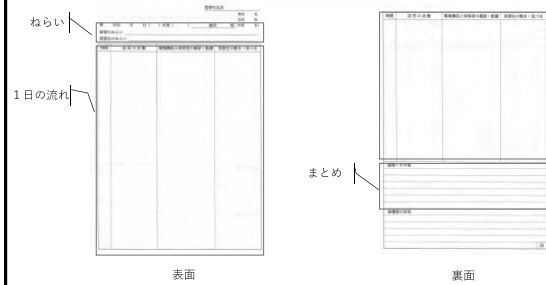
金子智昭

## 発表内容

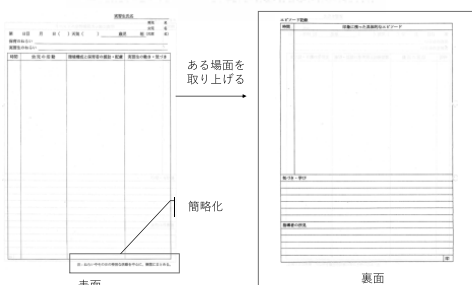
1. エピソード記録とは何か？
2. なぜ、エピソード記録の日誌を書くのか？

## 1. エピソード記録とは何か？

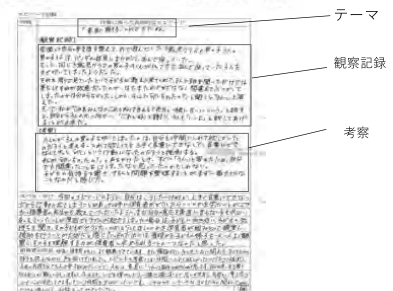
### 通常の日誌



### エピソード記録の日誌



### 実習生のエピソード記録の例



## 1. エピソード記録とは何か？

「保育の中の具体的な場面や関わりについて、子どもの様子、やりとり、会話などを含めて記録することで、子どもや保育のあり方を具体的に考察することを目的とした記録方法」

- ①時系列の記述
- ②保育者や子どもの発言や言動に関する具体的な記述
- ③客観的な「観察記録」と主観的な「考察」の区分

## 2. なぜ、エピソード記録の日記を書くのか？

### なぜ、エピソード記録を書くのか？ —「実習日記を書く学習の意義」に照らして—


実習日記を書く学習の意義

- ①実習の学びを深める
- ②保育者の職務（記録方法）を学ぶ

↑  
エピソード記録の日記



### ①実習の学びを深めることとエピソード記録

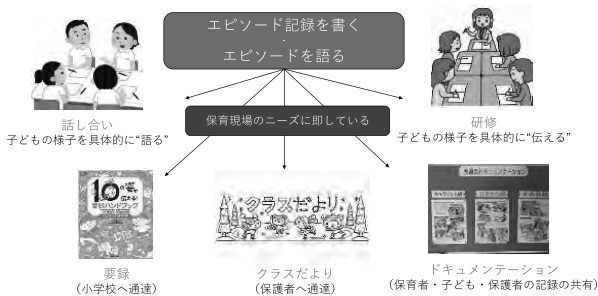
- 1. エピソード記録は自分の問題関心が高いテーマ  
エピソード記録の日記：書きたいという想いがともなう日記
- 2. エピソード記録は深い学びを促す日記  
通常の日記： 広く・浅い内容の日記   
エピソード記録の日記： 狭く・深い内容の日記

広い（保育活動が広く網羅された場面）⇔狭い（実習生が印象に残った限定的な場面）

浅い（浅い気づきや考察）⇔深い（深い気づきや考察）

⚠ 通常の日記とエピソード記録の日記を併用すること

### ②保育者の職務を学ぶこととエピソード記録



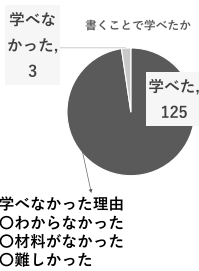
### 発表のまとめ

- 1. エピソード記録とは何か？  
保育の中の具体的な場面や関わりについて、子どもの様子、やりとり、会話などを含めて記録することで、子どもや保育のあり方を具体的に考察することを目的とした記録方法
- 2. なぜ、エピソード記録の日記を書くのか？
  - ①実習の学びを深めるため  
⇒自分の問題関心が高いテーマである＆深い学びを促す可能性
  - ②保育現場の実態に即した記録方法であるため  
⇒研修、要録、クラスだより、ドキュメンテーション など

# エピソード記録について

・本学学生がエピソード記録を書くことで学べたこと

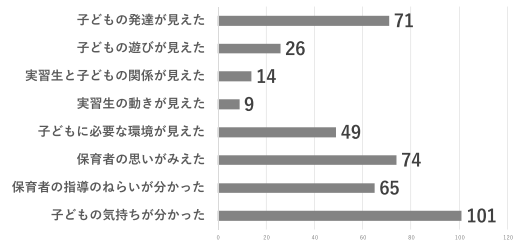
## SD・FD 発表



学べたこと  
○子どもの気持ちが出た  
○実習後、時間が経過しても思い出せる  
○保育者の思いやねらいが見えた  
○自分の関わりや指導を振り返れる  
など



エピソードを書くことで学べたこと（複数回答）



### 結果

#### エピソード記録の良い点

- 相手の立場に立つ重要性を知り（子ども・保育者）客観的に見る力が育つ
- 実習での「気づき」が多くなり「達成感」につながる。
- 実習全体を振り返り、自己評価をする手がかりとなる
- 学生が互いに交換することで、学びを深め、視野が広がる。
- 個人情報の守秘義務の大切さが確認できる。

#### エピソード記録の改善点と今後へ

- 現場の先生方（2園は必要なし）に必要性について分かっていただく
- ねらいを持ったエピソードを書けるような、丁寧な指導とその事後指導の徹底。
- 今後、それらを活かしてドキュメント記録を書き、保護者や地域に発信する重要性へ。

### 結果

- ・アンケートよりエピソード記録は、学生にとって学びになることが見えた。
- ・エピソードを書く、互いに見せ合うことで、学生の視野が広がる、客観的にものごとを見る勉強になることが示唆された。
- ・それぞれの園の考えを尊重しながら、時間をかけて丁寧に実習園に伝えることが、大切なのではないだろうか。

## エピソード記録の重要性 1

その子どもの理解を深められる

現場 板橋区A保育園（公）

(1) 「子どもの様子」「特別な支援が必要な子ども」などエピソード記録を見て振り返り、話し合っている。その子どもについて皆が共有し、新しい知識や指導法を考えられる。

(2) 怪我や事故、危険性が伴う遊びなど、  
— 報告など、必ず必要である。

(3) その子どもについて理解を深める



## エピソード記録の重要性 2

保護者や地域と保育を共有できる

小さな行事など、簡単なエピソードを、写真と共に短いドキュメンタリーとして玄関に貼り、保護者や地域と共有できる

板橋区 私立保育園 毎日書いて保護者と共有している



子どもの自主的な活動を、エピソードを取りドキュメント記録として、保護者に掲示する  
伝統織物、恐竜プロ

スウェーデンの幼稚園

### エピソード記録の重要性 3

#### 今までの伝統とIT社会への融合の手段



#### 今までの伝統とIT社会への融合へ

人間同士のコミュニケーションだけでなく、機械と機械、モノとモノが様々なデータをやり取りする時代

今後は、情報機器やそのテクノロジー（技術）やインターネットを活用とした保育が求められる時代で公平性、客観性だけでなく、心のあるエピソード記録がさらに求められるのではないだろうか。



ご清聴ありがとうございました

## 1. 発表の目的

12月に実施した「図書館利用に関するアンケート」の結果を昨年度と比較しながら、今年度の取り組みの報告を行う。また、次年度への課題を明らかにし、今後の展望をまとめる。

## 2. 発表の概要

**【コロナ対策】** コロナ禍で図書館を再開するにあたり、入館できる人数の制限を設けたため、実習貸出期間中に待ち時間ができてしまうこともあったが、学生も大変協力的だった。返却、貸出時の本表面の消毒等、安心して利用してもらえるよう、今後も対策を継続する。

### 【アンケート結果より】

#### ① 図書館の利用頻度と求める図書館資料について

利用頻度では、「全く利用しない」、「実習前のみ利用」が減った。「試験前のみ利用する」と回答した学生が昨年はいなかったが、今年は11%おり、定期試験前や資格試験にそなえて図書館を定期的に利用する学生がいた。「週に1～2回利用する」との回答は3%から8%に増えた。このように定期的にまた頻繁に図書館に足を運んでくれる学生の割合をさらに増やしていくことを目指していきたい。また、「実習前のみ」と答えた学生の中には、実習のための本選びで一度だけではなくその期間に何度も図書館を訪れ、時間をかけて絵本・紙芝居を真剣に選ぶ学生も多く、そこにも保育を学ぶ学生のための図書館としての大きな役割があると感じている。学生が求める図書館資料に関する回答にも絵本・紙芝居が1位2位を占め、それが表れている。

#### ② 資料検索について

「資料をさがすときどのような方法で探しますか」という複数回答の問いに対して「館内の蔵書検索システムを利用する」との回答が昨年度より増えた。また、「スマートフォンから蔵書検索システムを利用する」との回答も増え、わずかずつではあるが、検索システムの利用が増えてきている。自分で調べることはとても大切であり、ぜひ大学生のうちに身に付けてほしい習慣なので、キーワード検索の充実等、より一層検索できる内容の充実を図り、利用を促していきたい。

#### ③ 図書館の広報活動について

「図書館のお知らせやサービス内容を何で知りますか」との問いに対して、「図書館だより」は昨年と変わらず、図書館について学生一人一人の手元に情報を届けることができる一番の手段となっている。また、ホームページを利用する学生も昨年より増えており、らいぶらり通信等で情報発信をより多くしていけるとよいだろう。また、今年度の特徴として、学内掲示板から図書館の情報を得ている学生が昨年の3倍に伸びている点あげられる。未来屋書店での学生手作りのPOP展示についてのお知らせなど、食堂とマナー実践室横の廊下掲示板を大きく使い、継続的に案内できたことが学生の目に留まったのではないかと考える。

本学の図書館は、普段学生が授業で使う校舎と離れており、大勢の学生の目に触れることが少ないのが難点だが、目に留まりやすい案内や情報発信を積極的にしていくことが大切であると改めてわかった。

#### ④ 学生図書委員会の活動について

図書館入口横に本の展示コーナーを設けているが、「展示コーナーを本選びの参考にしているか」との問いに対して、「参考にする」と回答した学生は74%に上った。また、展示のうち、「学生図書委員会による季節の絵本の展示を参考にする」との回答が114人おり、続いて読書感想文におすすめの本・レポートのテーマに役立つ本など「課題に役立つ本の展示」を参考にすると回答が70人、図書館にあるマンガを読んでもみようなどの、「図書館スタッフによるテーマ展示」は61人が参考にすると回答だった。とくに学生による季節の絵本の展示は手作りの装飾が目を引き、実習用や授業での読み聞かせの練習用にと年間を通して、大変よく貸し出されていた。

#### 【次年度の取り組み】

以上の結果を踏まえ、次年度取り組みの課題をまとめる。

##### ① 蔵書検索システムの内容充実

学生が頻繁に要望する傾向のあるキーワードを中心に検索システムへの入力作業を行う。

##### ② より多くの学生に図書館情報を届けるための情報発信

掲示板、ホームページの活用等で継続的な情報発信を行う。学内のあちこちに図書館が顔をのぞかせている感じが理想なので、学生からアイデアを募るなどして、案を練っていく。

##### ③ 学生を巻き込んだ楽しさのある図書館活動


アンケートの集計やクラスへの呼びかけなど今年度も学生図書委員には活躍してもらった。しかし、コロナ予防のため図書館の大きなイベントができなかった影響もあるのか、とくに1年生学生図書委員は真面目だが、指示待ちという感じが強く、責任感のある一部の学生の負担が大きくなってしまっている点を懸念している。委員を中心に学生の自主的な楽しい図書館活動の輪が広がる工夫をしていきたい。

これらの充実を図るためには、図書館スタッフとしては業務量はその分増えていき、館内の図書を適切に管理保管するといった資料提供のための裏方的な業務との時間配分が悩みの種となるが、どちらも図書館にとって欠かせない仕事であるため、優先順位を決めて取り組んでいく必要がある。授業と連動した図書館利用の機会が多いほど学生が図書館を訪れる回数も増え、上手に図書館を利用できるようになり、よりよい学びにつながっていく。学生の学びをサポートできる図書館となれるよう、授業で必要な資料の準備等、教員からの要望を積極的に受け、今後も継続的に協力していきたい。




## 埼玉純真短期大学図書館の 現状と課題 ～学生アンケート調査から

FD・SD研修会  
2021年3月3日(水)



**図書館長**  
**丸山アヤ子**




**図書館**  
**大木美晴**  
**望月ゆかり**


## 発表の流れ

■はじめに

I 2020年度図書館の利用に関する  
アンケート報告

II 埼玉純真短期大学の現状と課題  
図書館長 丸山アヤ子





**大木美晴**

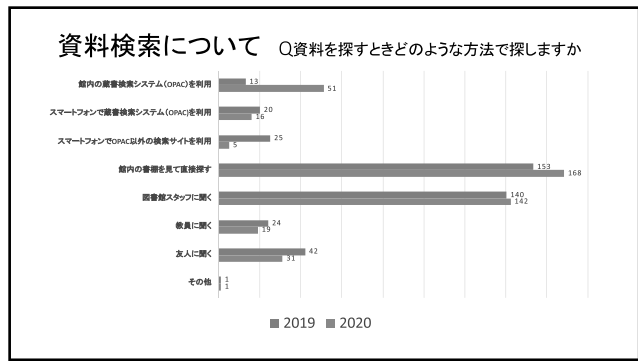
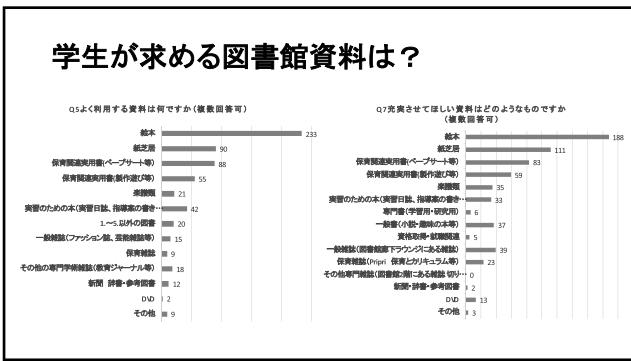
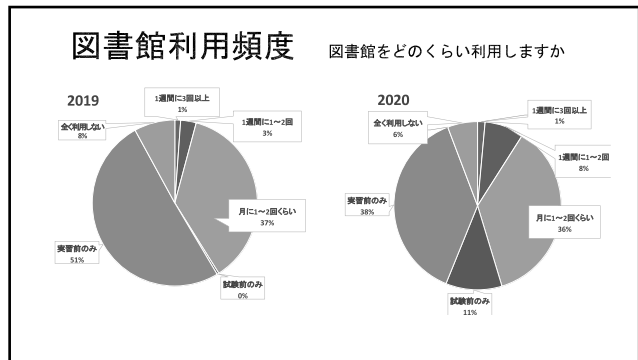
## コロナ禍での図書館の取り組み

新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた図書館サービスの再開について

「3密」を避け、感染症を予防しながら図書館を安全に利用していただけるよう、みなさまのご理解、ご協力をお願いします

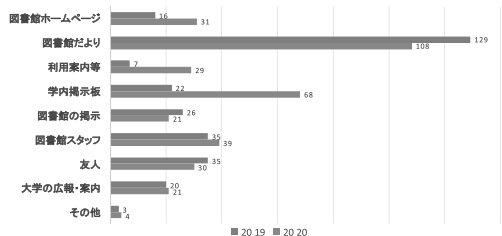
- ◆発熱、せき等で体調がすぐれない方のご来館はお控えください
- ◆館内ではマスクの着用をお願いします。また、私語はお控えください
- ◆館内に手指消毒用のアルコールを設置していますので、ご利用ください
- ◆貸出しカウンター及びコピー機利用の際は、足元の目印等に合わせ、一定の距離を保ってお並びください
- ◆混雑状況によっては、入館までに順番をお待ちいただくことがあります(1階、2階それぞれ、おおむね10人ずつ程度の利用とさせていただきます)
- ◆館内での滞在はできるだけ短時間をお願いします  
混雑時は滞在時間に制限を設け、待機されているほかの利用者様にお譲りいただくことがあります。
- ◆2階閲覧室において、利用者の方々の間隔を十分確保するための席数を減らし、座席間隔を広げています
- ◆図書室内の柱・椅子・扉等消毒機(空気清浄機)等は、職員が定期的に消毒を行っています
- ◆図書室の出入・退却にあたっては、拭き取り消毒を実施しています。館内の換気を定期的にしています
- ◆職員はマスクを着用して対応しております。

◎埼玉純真図書館



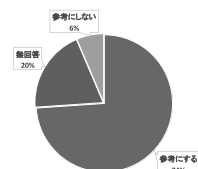
## 図書館の広報活動について

Q 図書館のお知らせやサービス内容を何で知りますか



## 学生図書委員会の活動について

Q12 展示コーナーを本選びの参考にしますか



Q 参考にすると回答した人への質問  
本選びの参考にした展示コーナーは？(複数回答可)



## 次年度の取り組み

- 1) 蔵書検索システムの内容充実
- 2) より多くの学生に図書館情報を届けるための情報発信
- 3) 学生を巻き込んだ、楽しさのある図書館活動

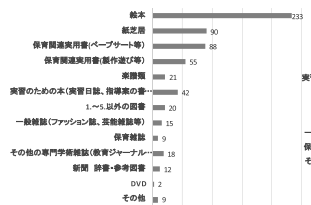
## 2)本学の保育者養成校の特徴と課題

アンケート調査から学生が求めている資料は  
絵本が圧倒的に多かった

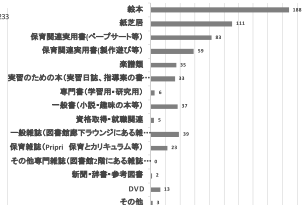
⇒利用頻度・充実資料、いずれも絵本であった

## 学生が求める図書館資料は？

Q5よく利用する資料は何ですか(複数回答可)



Q7充実させてほしい資料はどのようなものですか  
(複数回答可)



## 「なぜ?」「絵本なの?」

⇒理由: 幼児教育・保育の現場では、  
「絵本の読み聞かせ」が盛んであるから。

⇒幼稚園・保育所等の現場では

「絵本の読み聞かせ」が重視  
されてきている。

⇒その要因は？



## 「子どもの読書活動の推進に関する法律」の影響

1. 2000(平成12)年の子ども読書年を契機に、2001(平成13)年、議員立法により「子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)」が公布・施行  
⇒この法律の基本理念「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を推進する」
2. 文部科学省は2002(平成14)年、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定  
⇒2008(平成20)年「第2次」  
⇒2013(平成25)年「第3次」が策定と続く

## 「学習指導要領改訂」

3. 2016年(平成28年)「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)」  
「全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力の向上が求められるとともに、言語能力を向上させる重要な活動の一つとして、読書活動の充実が求められている」・幼稚園は「絵本」について明らかになった  
⇒この答申を踏まえ、学習指導要領等が改訂された。

## 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が統一化された

### 4. 2017年(平成29)【言葉】の領域

「絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう」「子どもは、絵本や物語などで見たり、聞いたりした内容を自分の経験と結び付けながら、想像したり、表現したりすることを楽しむ」としている。

⇒2018(平成30)年「第4次」でも継続

## 埼玉純真短期大学図書館の現状

1. 保育士資格、幼稚園教諭二種免許を取得できるこども学科単科の養成校である。
2. 学生数は全体で300名前後の小規模の短期大学
3. 蔵書数:約5万7000冊(一般教養書、小説、視聴覚資料、保育に関する専門書・絵本・新聞9誌等)  
⇒単科の短期大学として充実
4. 特徴:実習回数が多く、保育所実習・幼稚園実習の準備として紙芝居や絵本の読み聞かせのための資料は、多く取り揃えている

## 本学図書館の特徴と課題

1. 先生方の授業内における図書館利用に感謝!  
「入門ゼミ」「言葉の授業」「幼稚園実習」「保育所実習」「特別支援教育」「こども学」「表現発表会のオペレッタ」等。
2. 「読書マラソン」「図書館からのお知らせ展示」学生を巻き込んだ活動は、利用度が上がる  
⇒利用度アップは、大歓迎だが図書館スタッフの仕事量が増加することが悩み。
2. 保育者養成校の図書館の役割  
⇒「教育内容の専門性を追求する手段として、図書館があるといえる」石田貴子(2008)

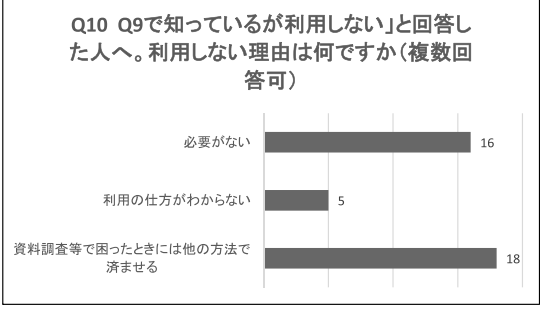
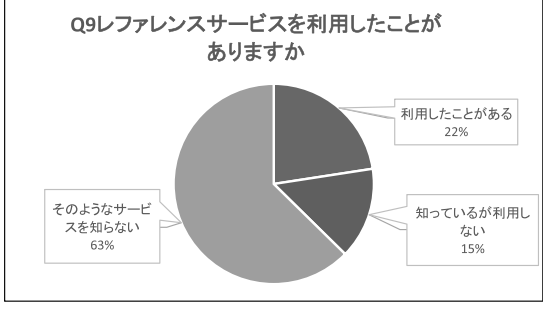
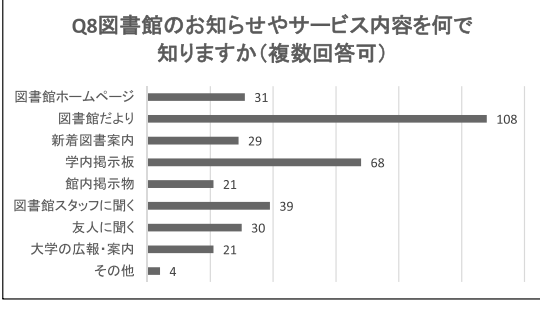
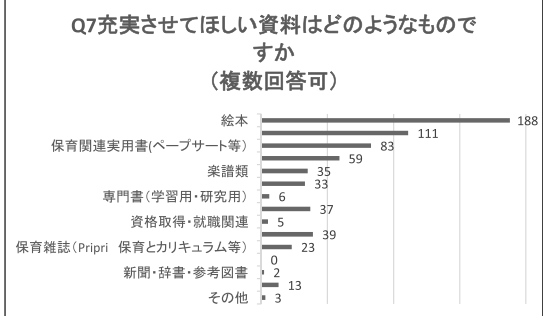
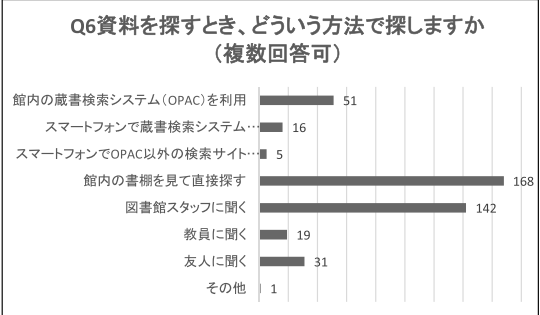
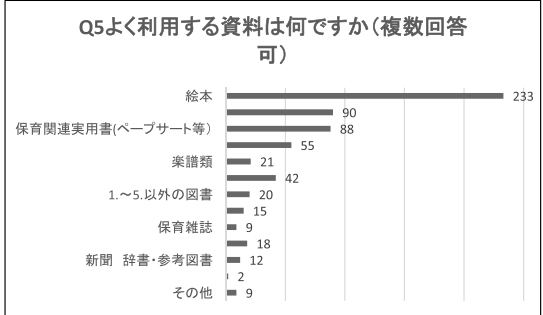
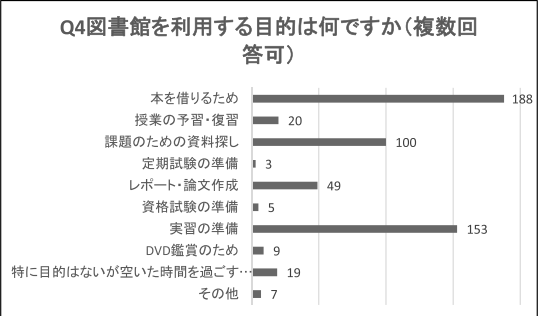
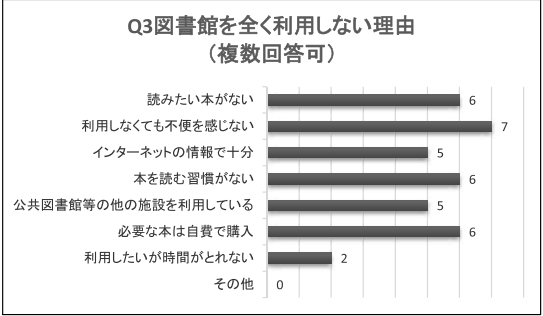
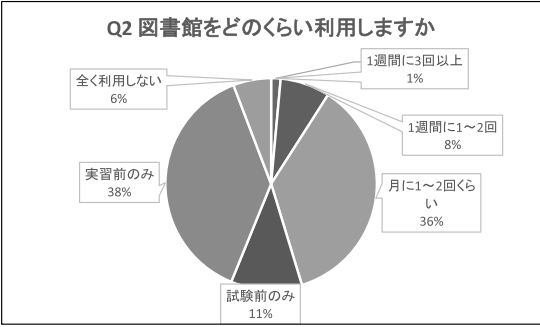
## 最後に:本学図書館への要望

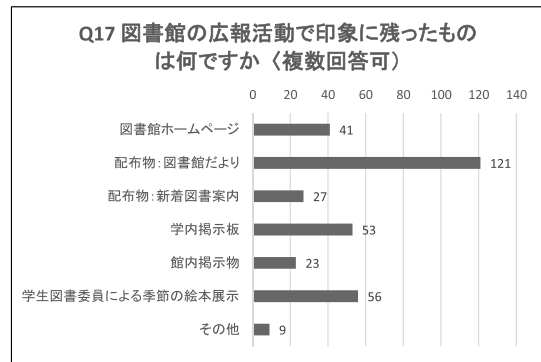
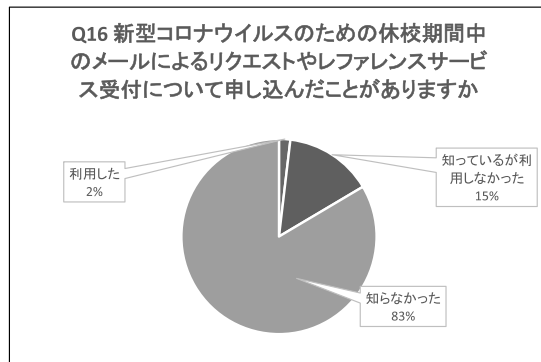
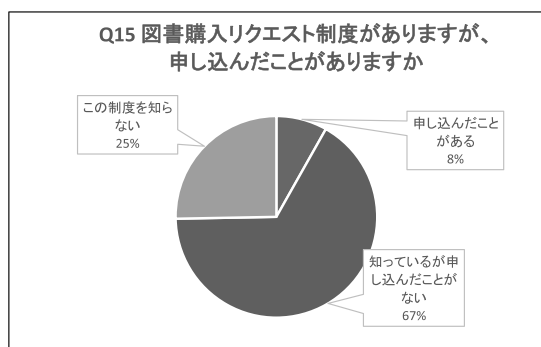
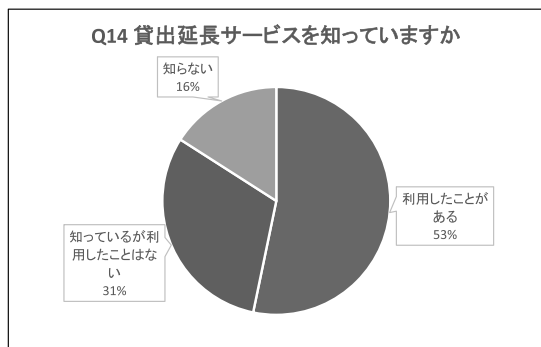
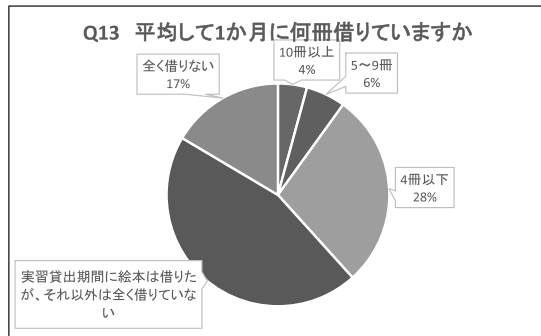
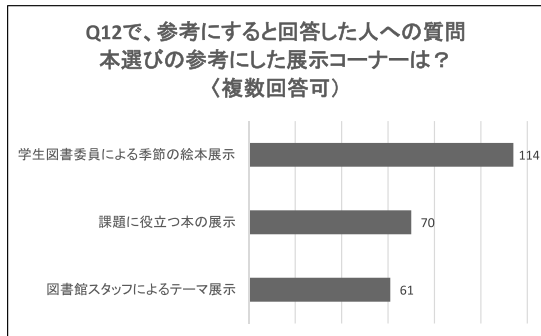
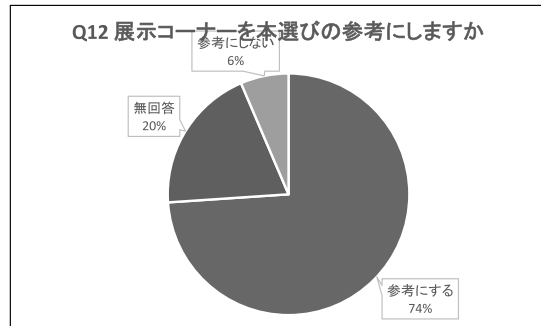
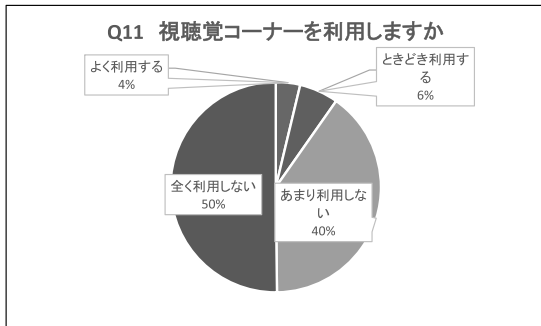
- 18 「大学設置基準」と本学の現状と課題  
第38条第3項:図書館が「その機能を十分に発揮」するためには図書館員が必要なことを認め「専門的職員その他の専任の職員を置く」と規定。
  - 図書館長としての要望①
  - 本学は、図書司書・事務所兼務スタッフがいる。  
図書司書として学生を支援できる力量がある。
  - ◎更に、研究紀要発刊の際、誤字脱字のチェック等も少なからず実施しており、多忙を極めている現状がある。  
⇒今後、学生の図書館利用確保の為、二人常駐体制でお願いしたい⇒図書館掲示物の充実・利用増を目指す。
  - 要望②スペースが狭いことを改善して欲しい。
  - 学生の学習スペース確保。

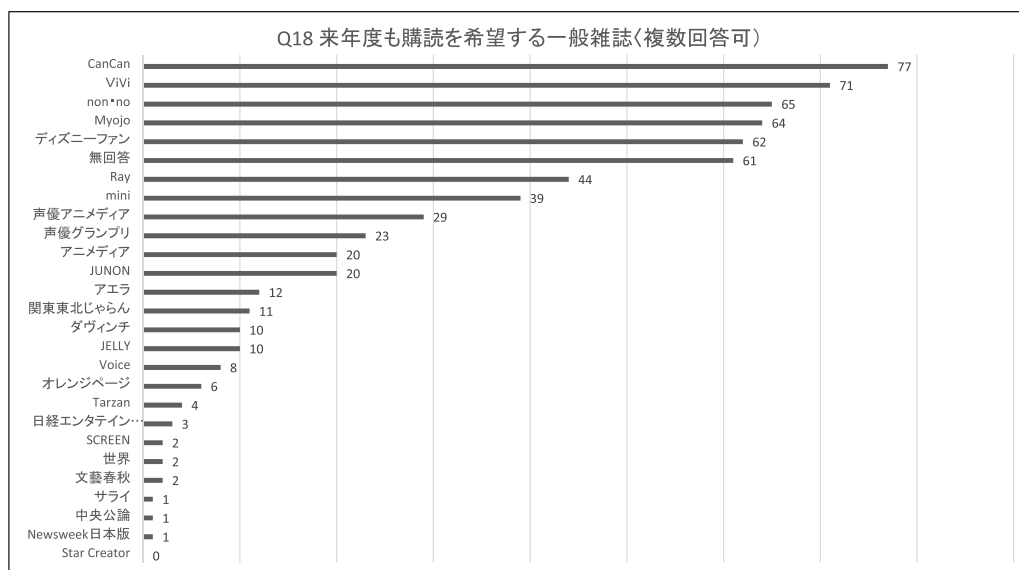
図書館の利用に関するアンケート 2020

**Q1 あなたは次のいずれに該当しますか。**

	回答数	回答率
1. 1年生	141	89%
2. 2年生	139	83%
合計	280	86%







Q19 図書館への要望・提案などの意見(自由記述)

- ・ありがとう！！
- ・いつもありがとうございます(13名)
- ・探している本とかをすぐに見つけてくださってすごいです
- ・いつも温かく迎えて下さりありがとうございます！これからも利用させていただきます。
- ・迷っているときとか声を掛けると快く教えてくれるので、図書館のスタッフさん好きです。
- ・スタッフの方がおすすめしてくださるので、絵本選びに役立っています。
- ・何歳向けかわかるように
- ・おもしろいかみしばいがほしい
- ・たくさん本があつて良いと思います
- ・図書館員(3名)
- ・いつもありがとうございます。たくさん絵本、とても助かりました！
- ・実習以外でも図書館をもっと利用していきたいと思います
- ・利用しやすい雰囲気が好き！！
- ・実習前に役立ってます
- ・DVD(再生機)がもう一つほしかった
- ・実習前助かりました
- ・いつも快適に利用してます。先生方のおすすめの本特集、面白かったです。
- ・本についての詳しい情報を教えて下さるので、とても楽しいです
- ・雑誌のリクエストを受け付けて採用していただけてうれしかったです

避難訓練について

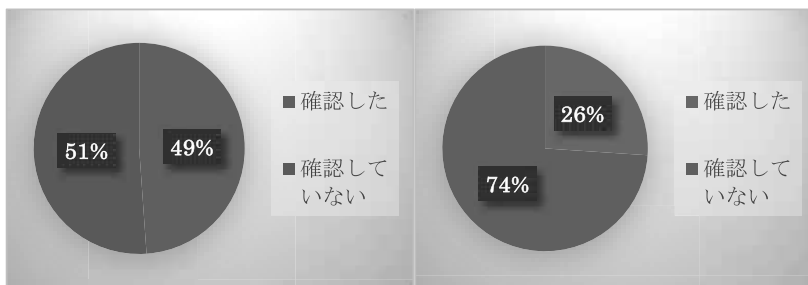
1. 発表の目的

令和2年度避難訓練について学生が実施する目的等を把握しているかの確認と、次年度以降の避難訓練に役立つため

2. 発表の概要

避難訓練実施後、学生に次の8問のアンケートを行った。①真剣に取り組めたかどうか②事前に避難経路確認をしたか③学内一斉放送を聞いたかどうか④教員の指示に従い避難できたか⑤ハンカチやタオルを持っていたか⑥先生と呼ばれる仕事に就くが今の自分が自信を持って子どもたちを誘導できるか⑦地震が起きたら子どもたちに先ず何を指示すべきか⑧非常ベルが鳴動し非常放送が聞こえたら何をすべきか。この中の②および⑤について説明を行った。

② 2年生 1年生



避難経路を確認し適切な避難が行えた学生が2年生では51%、1年生では26%に留まった。

⑤ 2年生 1年生



火災時の有毒ガス吸入を防ぐためタオル類が必要だが、常備していない学生が多く見受けられた。

3. 今後の展望（改善に向けて）

対策・対応として次の事を行っていく。①避難経路を確認していない学生が多いのは、掲示等がわかりにくいのかもかもしれない。よって今後は教室表示等をもっとわかりやすく目立つ形で掲示していく。②避難経路の見直しを行う。③定期的にお知らせを掲示板等で通知する。④純真検定に避難経路等を出題する。⑤前期入門ゼミ等にて消防署署員に講義していただく機会を設ける等の取り組みを行う。⑥次年度の訓練では煙体験や消火体験を行い、突然の災害に備えたい。

4. 資料

○避難訓練の参加者実績（昨年との比較、動員数について）

昨年度…全学生（1年168名、2年125名）中、参加者（1年138名、2年100名）

参加率…1年82.1%、2年80.0%

本年度…全学生（1年158名、2年167名）中、参加者（1年142名、2年135名）

参加率…1年89.9%、2年80.8%

以上

## 2月FD&SD研修会

### 避難訓練について

学生部

### 1. 避難訓練の目的

命を守る行動をすること

実際に災害が発生したとき、安全に避難できるようにすること

実際に災害が発生したとき、避難方法に慣れておくこと

1

### 2. 避難訓練のねらい

保育者として冷静な判断ができること

いかなる状況下でも保育者として適切な判断をし、子どもたちが保育者の指示をしっかりと聞き、安全に避難できるようにさせること

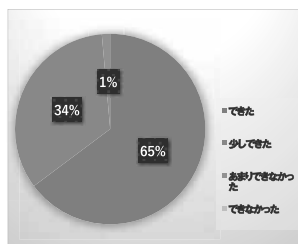
避難時の問題点が把握でき、改善策を練ること

2

### 3. 避難訓練を実施して…Q1～Q8

3

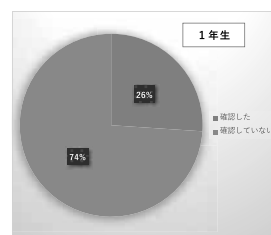
#### Q1 避難訓練を真剣に取り組めたか



質問項目の回答	1年回答数
できた	92
もう少しできた	48
あまりできなかった	2
できなかった	0
合計	142

4

#### Q2事前に避難経路を確認したか

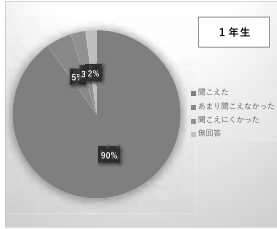


質問項目の回答	1年回答数
確認した	37
確認していない	105
合計	142

5



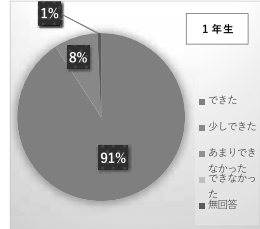
### Q3学内一斉放送が聞こえたか



質問項目の回答	1年回答数
聞こえた	128
あまり聞こえなかった	7
聞こえにくかった	4
無回答	3
合計	142

6

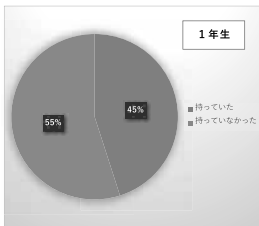
### Q4教員の指示に従い避難できたか



質問項目の回答	1年回答数
できた	129
少しかできなかった	12
あまりできなかった	0
できなかった	0
無回答	1
合計	142

7

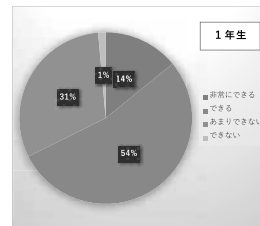
### Q5ハンカチやタオルを持っていたか



質問項目の回答	1年回答数
持っていた	64
持っていなかった	78
合計	142

8

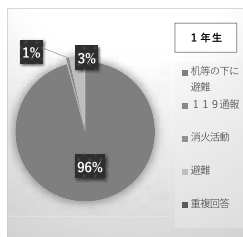
### Q6今の自分が自信を持って子どもたちを誘導できるか



質問項目の回答	1年回答数
非常にできる	20
できる	76
あまりできない	44
できない	2
合計	142

9

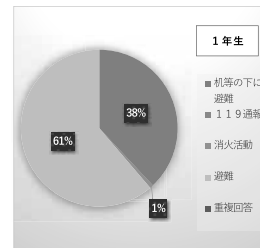
### Q7地震が起こったら子どもたちに先ず何を指示するか



質問項目の回答	1年回答数
机等の下に避難	136
119通報	1
消火活動	0
避難	5
合計	142

10

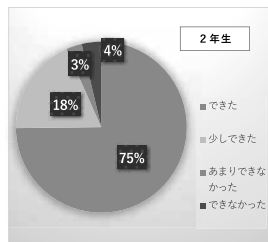
### Q8非常放送が聞こえたら先ず何をすべきか



質問項目の回答	1年回答数
机等の下に避難	54
119通報	0
消火活動	1
避難	87
合計	142

11

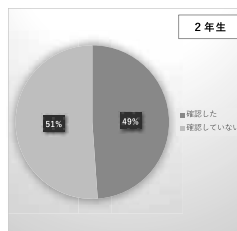
### Q1 避難訓練を真剣に取り組めたか



質問項目の回答	2年回答数
できた	101
少しできた	25
あまりできなかった	4
できなかった	5
合計	135

12

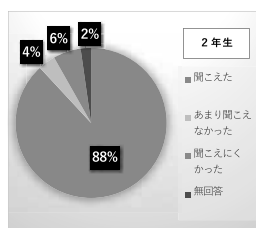
### Q2事前に避難経路を確認したか



質問項目の回答	2年回答数
確認した	66
確認していない	69
合計	135

13

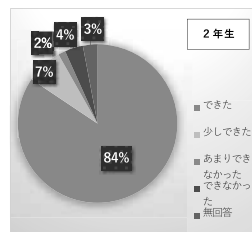
### Q3学内一斉放送が聞こえたか



質問項目の回答	2年回答数
聞こえた	119
あまり聞こえなかった	5
聞こえにくかった	8
無回答	3
合計	135

14

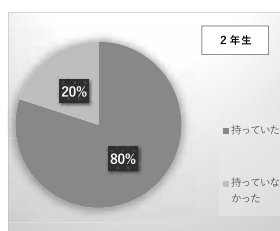
### Q4教員の指示に従い避難できたか



質問項目	2年回答数
質問項目の回答	114
少しできた	10
あまりできなかった	2
できなかった	5
無回答	4
合計	135

15

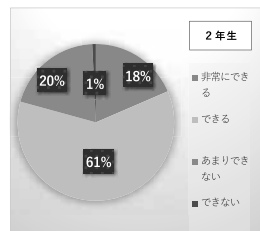
### Q5ハンカチやタオルを持っていたか



質問項目の回答	2年回答数
持っていた	108
持っていなかった	27
合計	135

16

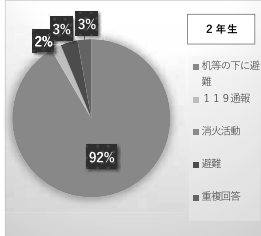
### Q6今の自分が自信を持って子どもたちを誘導できるか



質問項目の回答	2年回答数
非常にできる	25
できる	82
あまりできない	27
できない	1
合計	135

17

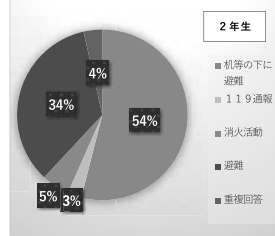
#### Q7地震が起こったら子どもたちに先ず何を指示するか



質問項目の回答	2年回答数
机等の下に避難	131
119通報	3
消火活動	0
避難	5
合計	139

18

#### Q8非常放送が聞こえたら先ず何をすべきか



質問項目の回答	2年回答数
机等の下に避難	61
119通報	3
消火活動	6
避難	69
合計	139

19

#### 4. 今後の課題

- ①避難経路を確認していない学生が多い
- ②ハンカチやタオル等煙に対する認識が薄い

↓ ↓

**命を守る行動をすぐにとれるだろうか**

20

#### 5. 今後の課題への対応

- ①避難経路を確認していない学生が多い
- ②ハンカチやタオル等煙に対する認識が薄い

- ↓
- ・教室表示を改める→もっとわかりやすく目立たせる
  - ・定期的に学生係からお知らせを掲示板等で通知
  - ・純真検定に出題する
  - ・前期の入門ゼミにて消防署に講義してもらう 等を行い一人一人の意識を変えていく

21

#### 6. まとめ

災害は突然やってきます。その時、冷静にどのように対応できるかが大事です。特に学生の場合は保育者となり、将来子どもたちを守る立場になります。ねらいにもあつたり、いかなる状況下でも保育者として適切な判断をし、子どもたちが保育者の指示をしっかりと聞き、安全に避難できるようにさせることが重要です。今後の避難訓練では、起震車や煙・消火体験をさせて常日頃からの備えを行います。また、常日頃から授業等で話していただくことや、避難経路等再明記を行い、突然の災害に備えていきたいと考えています。

22

ご静聴ありがとうございました。

## コロナ禍における就職支援について

## 1. 発表の目的

進路支援委員会では、今年度の進路支援におけるコロナウィルス感染症の影響を探る。こういった危機における対策を考えることで、よりよい丁寧な学生の就職支援につながり、それと同時に地域の就職先の理解も深まると考えた。それらの結果を踏まえて今後の本学での進路の在り方を検討することにする。

## 2. 発表の概要

○コロナ禍における学生の就職活動について（学生アンケート結果より）

(1) ・学生の就職活動全般に関するもの

(結果) 学生にとって、コロナウィルス禍中の就職活動は、半数以上が不安、やや不安があったと考える。

(2) ・学生の試験受験に関するもの

(結果) 受験に関して、園側としては、コロナには特に対策がなかったところが多かった。

## 2. 求人側の現状

見学やボランティアを希望する学生は、コロナ感染症対策を施したうえで訪問するように…個別でオンライン見学や説明会等の対応する求人先は少なかった。

当初、業者や協会等が運営する就職説明会の中止の連絡が多かったが、後半はオンライン合同就職説明会の実施がみられた。

「園関係の職を雇い止めされた場合は是非本園に」という問い合わせが1件あった…雇い止めの情報は入ってきていない。

大都市部の保育園より、コロナ禍の影響で、園関係の就職希望者が郊外に流れ、人材確保が難しいので学生や卒業生を紹介してほしいとの電話があった

## 3. 今後の展望（改善に向け）

(1) ・学生及び職員と教員の情報共有の在り方・紙媒体・情報機器媒体への充実

・園との遠隔的な就活支援

・リモートを取り入れた就活)も視野に(遠方学生への支援の充実)

(2) 生や保護者が学校閉鎖時においても、安心できる

・キャリアサポートの充実(サポートブック・HP)(ホームページなどを通して、保護者、入学希望者、施設や園も見られてわかりやすく掲示)

・コロナ禍の進路支援を探ることで、より細やかな支援の必要性がみえた。

(3) 域の学生が増え、就職者も増えていることはとても良いことだと考える。

・地域の大学として、さらなる地域の園や施設及び地域社会との密接な連携と、情報発信(リカレントも含む)

(感想) 今回、コロナ禍の就職指導を考えることで、教職員がSD・FDを踏まえ、大学の理念・目標の実現を踏まえ、その役割を再認識してそれぞれの立場からよい連携を組み、発信しながら支援に努める必要性がみえた。

## 埼玉純真短期大学FD・SD発表

### 進路委員会

進路支援委員会では、今年度の進路支援における新型コロナウイルス感染症の影響を探り、これらを機に、今後の進路支援の在り方を探ろうということになりました。



目的 検証することで、今後に生かす

今年度の就職支援は、コロナ禍の流れに巻き込まれ、そのまま過ぎてしまった感がある。検証することで、こういったことが起きた際にも、また日々の在り方を顧みる点でも効果があると考えた。



新型コロナウイルス感染症の影響を顧みて



進路委員会

コロナ禍における学生の就職活動について

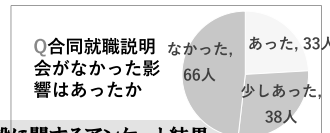
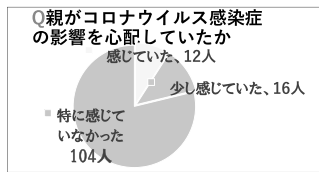
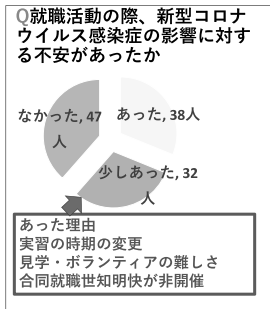
就職活動に関するアンケートより 12月実施



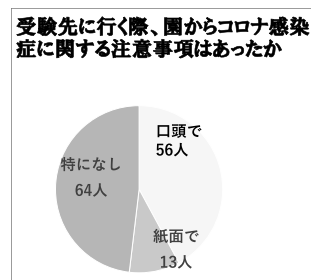
1, 学生の就職活動全般に関するもの

2, 学生の試験受験に関するもの





1, 学生への就職活動全般に関するアンケート結果



受験に際して、ズームなどの遠隔の方法はありましたか？

ズームで話をした 1名  
 (母園、実習園であり、その後は対面受験)

職種も踏まえ、遠隔の難しさがある

2, 学生の就職試験受験に関するアンケート結果

・学生にとって、コロナ禍中の就職活動は、半数以上が不安、やや不安があったと考える。

・受験に関して、園側としては、コロナには  
 ・特に対策がなかったところが多かった。  
 理由として、大学への信頼、過敏に思われたくない等が推測できる。

コロナ禍における施設や園からのアプローチ  
 事務での就職指導から



・結果

1、コロナ感染症拡大の影響を受けて、半数以上の学生が、ある程度の不安を感じていた。

2、特に遠隔地学生及び地域によっては実習前自宅待機の学生、キャリアガイダンスの時間短縮など、本人及び保護者にも不安があったが、結果としては例年通り、就職活動が進むことができた。

これらを踏まえて

コロナ感染症により就活の影響を踏まえ  
さらなる、学生への就職支援を目指して

### 考察 FD・SDの今後に向けての課題



### 考察2 FD・SDの今後に向けての課題

学生や保護者が学校閉鎖時においても、安心できる  
キャリアサポートの充実（サポートブック・HP）  
（ホームページなどを通して、保護者、入学希望者、  
施設や園も見られてわかりやすく掲示）

例 日本女子大 キャリア支援体制について  
全学的サポート体制  
が簡潔にわかりやすく記載されている。  
本学独自のキャリアサポートの確立ができると  
いいですね――



### 考察1 FD・SDの今後に向けての課題

- 学生及び職員と教員の情報共有の在り方  
・紙媒体・情報機器媒体への充実
- 園との遠隔的な就活支援  
（リモートを取り入れた就活）も視野に（遠方学  
生への支援の充実）



### 考察3 FD・SDの今後に向けての課題

地域の学生が増え、就職者も増えていること  
はとても良いことだと考える。  
地域の大学として、さらなる地域の園や施設  
及び地域社会との密接な連携と、情報発信  
（リカレントも含む）



コロナ禍の進路支援を探ることで、より細やかな  
支援の必要性があり、教職員が大学の理念・目標  
の実現を踏まえ、FDSDの役割を再認識し、それ  
ぞれの立場からよい連携を組み、発信しながら支  
援に努める必要性がみえた。

今後とも皆様のご意見やご協力をよろしくお願  
いいたします。



## コロナ禍の学生募集と今後の課題

## 1. 発表の目的

令和2年の募集活動は、入試制度が新しく変わったことに加えコロナ禍での募集となり正解や手本がない状態での苦しい活動だった。

経験したことのない募集活動の形を記録に残し、新しい生活様式、新しい募集活動へ適応できるよう、共有したいと考えた。

## 2. 発表の概要

### (1) 新入試制度と入試日程

・令和2年6月19日に文部科学省より通知された「令和3年度大学入学者選抜実施要項について(通知)」を受け、入学試験「総合型選抜(I期)・学校推薦型選抜」の日程を変更した。

○総合型選抜・・・願書受付を令和2年9月15日以降、判定結果を11月1日以降とする  
→願書受付9月16日まで 合格発表11月2日に設定

○学校推薦型選抜・・・願書受付11月1日以降、判定結果12月1日以降とする  
→願書受付11月2日～11月6日 合格発表12月1日に設定

・各選抜において、評価方法・評価の割合を明記し、教職員の共通理解だけでなく受験生でも閲覧できるよう公開した(入試ガイド)。調査書の取り扱いについても詳細を定め内申点・欠席状況・検定・特別活動などそれぞれを点数化することで誰もが正確に採点できるような形にした。

### (2) コロナ禍での学生募集 オープンキャンパス

・令和2年4月に発令された緊急事態宣言を受け、4月のオープンキャンパスは「中止」ではなく「web オープンキャンパス」に切り替えた。初めての試みであることと十分な準備期間もなく手探りではあったが、競合校がオープンキャンパスを中止にしている中Web上で開催できたことはその後の募集活動にいい影響を与えたと考えられる。

内容は、体験授業の動画アップ(YouTube)、申込者への資料発送、希望者にはZoomによるオンライン面談を行った。

資料発送の際には制作の授業に合わせた制作キットも同封し、動画を観ながら自宅で気軽に制作してもらえるようにした。

4月のweb オープンキャンパスの参加者 48名 うちZoom面談5名であった。

5月も同様にweb オープンキャンパスを開催し、53名の参加があった。

・緊急事態宣言解除を受け6月から対面型のオープンキャンパスを開催したが、web オープンキャンパスも同時開催とし対面が不安な受験生や遠隔地の受験生にも対応できるようにした。対面型の大きな特徴としては、①滞在時間最小でおさまるよう短時間での開催②検温・手指消毒・換気の徹底③面談時はアクリル板を間に挟む④学食体験の実施はナシとし、外部発注のパンを提供④教室は使用人数によりいつでも分散対応できるようにした以上の4点である。



### (3) コロナ禍での学生募集 高校訪問

緊急事態宣言下の訪問は控え、広報活動は郵送と電話のみとした。宣言解除後は各高校担当者より指定校にアポを取り、訪問可の高校のみ訪問をしていただいた。訪問不可の高校へは郵送で指定校の依頼を出した。9月に入っても訪問不可の高校もあったが、その場合は電話にて担当者が受験希望者の確認をしていたおかげで、入学予定者の数が早い段階で予測できた。

### 3. 今後の展望（改善に向けて）

今年度経験した緊急事態宣言発令中の募集活動は、入試広報としても学びが多かった。特にWebオープンキャンパスは、今後も遠隔地の高校生にとっては需要があると考えられるため継続していきたい。

ガイダンスもオンラインでの開催が増加傾向にある。webオープンキャンパス同様に遠隔地の高校生獲得するため重要な手段と思われるので、積極的に参加していきたい。

Webオープンキャンパス・オンラインガイダンスどちらも事前のアナウンスが最重要事項である。アプローチのある高校生へのDM送付、HP上やSNSを使用しての告知を積極的に行い、最終的には今年度同様募集定員を満たして入試を終えることを目標とする。

# 入試広報委員会 FD&SD発表

埼玉純真短期大学 入試広報委員会

## 2021年度のコロナ禍の学生募集と今後の課題

今年度の募集は新入試制度とコロナ禍での募集活動となりました。

1. 新入試制度と入試日程
2. 入試日程の変更
3. 総合型選抜・学校型選抜・一般選抜・社会人選抜の評価方法
4. コロナ禍での学生募集
  - ・webオープンキャンパス
  - ・6月からの対面型オープンキャンパス

### 1. 新入試制度と入試日程

2020年度入試区分（試験日）	2021年度入試区分（試験日）
AO入試（8月7日）	総合型選抜（旧：AO入試）（9月26日）
指定校推薦入試（11月2日）	学校型選抜 指定校推薦・公募制推薦（11月21日）
公募推薦入試（ 〃 ）	一般選抜（1月26日）
一般入試（1月26日）	社会人選抜（ 〃 ）
社会人入試（ 〃 ）	

### 2. 入試日程の変更

令和2年6月19日に文部科学省より通知された「令和3年度大学入学者選抜実施要項について（通知）」を受け、令和2年度の入学試験「総合型選抜（I期）・学校推薦型選抜」の日程を以下のとおり変更しました。

- ・総合型選抜については、入学願書受付を令和2年9月15日以降とし、その判定結果を令和2年11月1日以降に発表する。
- ・学校推薦型選抜については、入学願書受付を令和2年11月1日以降とし、その判定結果を令和2年12月1日以降で一般選抜の試験期日の10日前まで（学校推薦型選抜で大学入学共通テストを活用する場合は前日までのなるべく早い期日）に発表する。

### 3. 総合型選抜の評価方法

	エントリーシート	A) 受講レポート B) 課題レポート	調査書・活動報告書	面接
評価の割合	(20%)	(30%)	(20%)	(30%)
知識・技術		A) ・体験授業での学び B) ・課題に対する考え	・学習成績の状況（評定平均値含む） ・資格・検定（保育技術、被服製作技術、食物調理技術、日本語、英語 など） ・本学が指定する特定の学習成果 ・総合的な学習の時間の取り組み	・口頭試問 ・プレゼンテーション
思考力 判断力 表現力	・志望理由 ・アドミッションポリシーの理解	A) ・体験授業での学び B) ・課題に対する考え		・口頭試問 ・プレゼンテーション（志望理由・アドミッションポリシーの理解）
主体性をもって 多様な人々と 協働して学ぶ態度		A) ・体験授業での学び B) ・課題に対する考え	・部活動 ・生徒会活動 ・ボランティア活動 ・本学が指定する特定の学習成果 ・出席状況	・口頭試問 ・プレゼンテーション（保育者としてのコミュニケーション能力と適正）

### 3. 学校推薦型選抜（指定校・公募）の評価方法

	推薦書	調査書・活動報告書	面接
評価の割合	指定校(50%) 公募(40%)	指定校(20%) 公募(30%)	(30%)
知識・技術		・学習成績の状況（評定平均値含む） ・資格・検定（保育技術、被服製作技術、食物調理技術、日本語、英語、など） ・本学が指定する特定の学習成果	
思考力・判断力・ 表現力		・総合的な学習の時間の取り組み	・事前資料に基づく質問（志望理由・アドミッションポリシーの理解）
主体性をもって 多様な人々と 協働して学ぶ態度		・部活動 ・生徒会活動 ・ボランティア活動 ・本学が指定する特定の学習成果	・保育者としてのコミュニケーション能力と適正

### 3. 一般選抜の評価方法

評価の割合	国語 (現代文/国語表現)	読書書	面接
	(50%)	(20%)	(30%)
知識・技術	国語 (現代文/国語表現) 読書問題	・学習成績の状況(評定平均値含む) ・資格・検定(保育技術、被服製作技術、食物調理技術、日本語、英語、など)	
思考力・判断力・表現力	読書問題	・総合的な学習の時間の取り組み	・事前資料に基づく質問 (志望理由・アドミッションポリシーの理解)
主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度		・部活動 ・生徒会活動 ・出席状況 ・ボランティア活動	・保育者としてのコミュニケーション能力と適正

7

### 3. 社会人選抜の評価方法

評価の割合	小論文	社会経験報告と学修計画書	面接
	(50%)	(20%)	(30%)
知識・技術	小論文	・社会経験で学んだ知識、技術 ・候補を指すにあたって準備していること ・資格・検定(保育技術、被服製作技術、食物調理技術、日本語、英語、など)	
思考力・判断力・表現力	小論文	・社会経験で培った考え ・入学後、卒業後の計画	・事前資料に基づく質問 (志望理由・アドミッションポリシーの理解)
主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度		・保育を目指そうとした理由 ・社会経験の中で身につけた協働性 ・入学後の計画	・保育者としてのコミュニケーション能力と適正

8

読書書の取扱い										総合型面接																													
読書書	1	読書検定	2	読書検定	3	読書検定	4	読書検定	5	読書検定	6	読書検定	7	読書検定	8	読書検定	9	読書検定	10	読書検定	11	読書検定	12	読書検定	13	読書検定	14	読書検定	15	読書検定	16	読書検定	17	読書検定	18	読書検定	19	読書検定	20
推薦面接																																							
推薦書																																							

西京町 5名未満 読書 A 4名以上、B 4名-3名、C 3名-2名、D 2名-1名  
 西京町 5名未満 本学指定校の欠席基準 20日以内  
 西京町 5名未満 忘れものなど、欠席 3日以内を1、欠席4日以上を2として対応した  
 西京町 5名未満 欠席 3日以内を1、欠席4日以上を2として対応した  
 欠席については難易度を考慮、同一資格ならば上位。  
 欠席については難易度が考慮される。  
 推薦については難易度が考慮される。  
 推薦活動 3名未満 推薦活動、不可活動・推薦活動等について記述した。  
 推薦活動 4名未満 推薦活動に記述してあれば可  
 総合型 合格ライン 総合型インターナショナルの倍以上  
 推薦 合格ライン

9

### 4. コロナ禍での学生募集 (Web・対面オープンキャンパス)

#### Webオープンキャンパス

- ・緊急事態宣言が出されたあと、4月・5月のオープンキャンパスは「webオープンキャンパス」にすぐに切り替えることができ、競合校より早い対応ができた。
- ・体験授業は動画をYouTubeにアップ、制作キットを高校生自宅へ発送。
- ・個別面談はzoomや電話などで対応。

#### 対面オープンキャンパス

- ・時間を短縮し、午前中の体験授業が終わるプログラムを組んだ。
- ・検温と手指消毒の徹底し、連絡先を記入してもらう。
- ・個別面談はアクリル板を設置(来校できない方はzoomで対応)。
- ・学食体験は実施せず、外部発注のパンを提供。
- ・学科・入試説明や体験授業で使用する教室は分散して行えるよう対応。

10

Webオープンキャンパスに申し込んでくれた高校生へ  
 特典発送：大学案内・募集要項・入試ガイド・  
 純真バイエル・制作キット



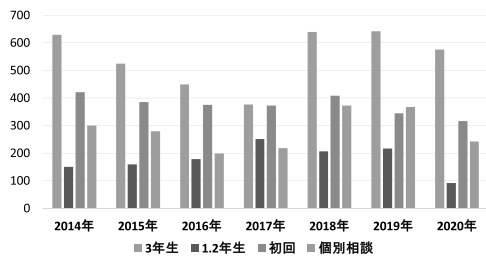
制作キットは  
 持田先生が用意して  
 くれました！

### 4. コロナ禍での学生募集 (高校訪問)

- ・緊急事態宣言下の訪問は控え、広報活動は郵送のみにした。
- ・宣言解除後は各担当者より指定校へアポを取り、訪問可の高校のみ訪問をしていただいた。不可の高校は郵送で指定校の依頼を出した。
- ・8月、9月も各担当者が訪問や電話にて確かな数を把握してくださったので、入学予定者が早い段階で確認できた。

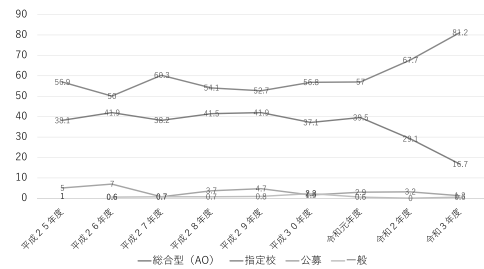
12

オープンキャンパス来場者数



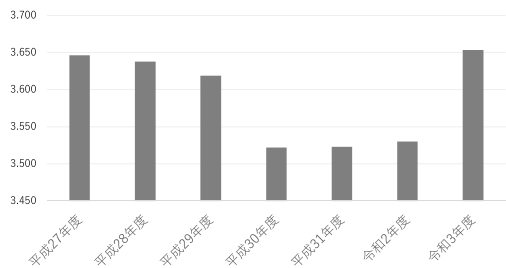
13

過去9年間の入学者数 入試区分/入学者数 (%)



14

評定平均値



15

## まとめ

結果、今年度の募集人数は定員には達することができませんでしたが、149名の入学内定者を確保できたこと非常に感謝しております。

新入試制度では総合型選抜（旧：AO）は制度が変わったこともあり、昨年度よりも減少して、指定校の出願者が増えました。

学生募集活動については早い段階で4月、5月をwebオープンキャンパスに切り替えることができたので、6月からの対面型オープンキャンパスにも影響があまりなかったように思います。

本学学生が高校の先生や先輩に純真の評判を伝えるので、今後は学生の満足度を上げることが重要視される為、各教職員や各部署の連携が大切だと考えます。

16

教学情報と入試情報について

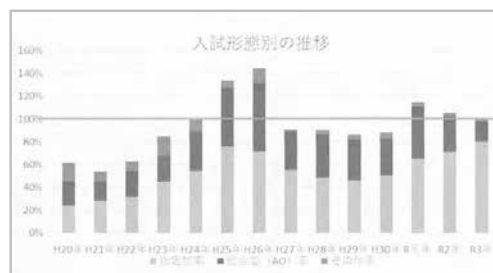
1. 発表の目的

本学が有する教学分野の情報と入試情報との様子についてIR推進委員会で意見交換を行った。その際に使用した資料により本学に在籍する学生について理解ができることと考える。今回の発表は、その概要を全教職員に報告し、今後の指導の一助にさせていただくために行った。

2. 発表の概要

(1) 年度別入試形態別の推移

平成20年から令和3年までの14年間における募集定員における入試形態別比率を示した。この数年、指定校の占有率が増加傾向にある。今後もこの傾向は継続させることは本学を第一希望とする学生確保の目安になると考える。入学後の教育活動の在り方にも影響があると考え。

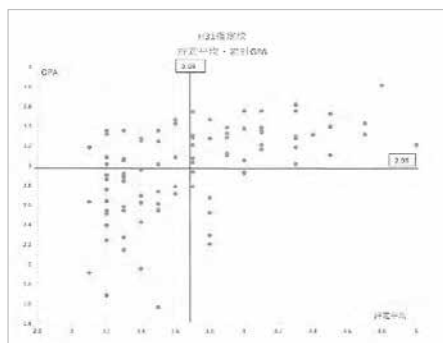


入試形態別の推移

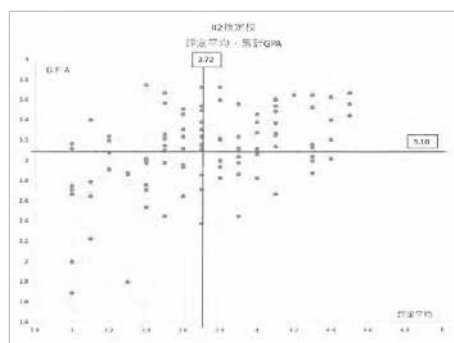
(2) H31、R2入試形態別評定平均-GPA

ここ数年の入学した学生は調査書において全体の評定平均と国語の評定平均の間には正の相関がある。このことから、今回は全体の評定平均とGPAを示した。

ア 指定校（学校推薦型選抜）入学学生について

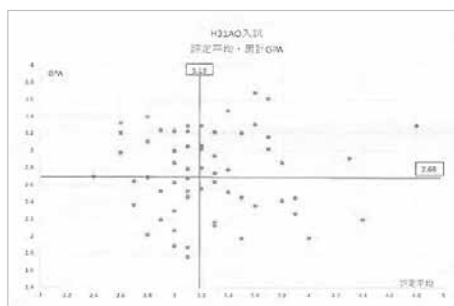


H31 指定校 評定平均・累計 GPA

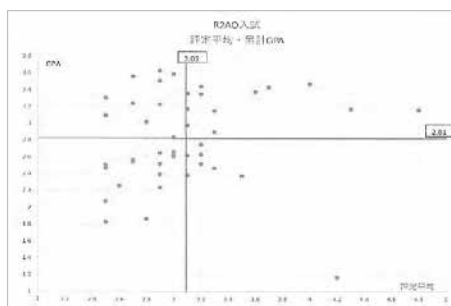


R2 指定校 評定平均・累計 GPA

イ AO（総合型選抜）入学学生について



H31 AO 入試 評定平均・累計 GPA



R2 AO 入試 評定平均・累計 GPA

3. 今後の展望（改善に向けて）

在籍する学生の学修を支えるための情報として様々な取組がされている。今後も継続的にデータを蓄積し、推移を確認しながら取組の検証に役立てたい。また、学生募集においても入試形態による変化を長期的に追跡する必要があると考える。さらに、入学前から卒業後までを見据えてIR委員会がその役割を果たすために今後も創意工夫を行い、本学の発展に寄与したい。

以上

テーマ：みなさまとともに業務効率化へ向けて

## 1. 目的

前回の発表でお願いしたことを更に確認し、特に気になり、教職員のみなさまにもご注意いただきたい点について、再確認とお願いをし、効率的に業務を進められるように業務改善を目指すことが目的である。

## 2. 前回の発表でお願いしたことの現在の状況

### ・「消耗品」や「備品」の取り扱いについて

コピー用紙や文具等の消耗品の残数が少なくなっているにもかかわらず、補充の依頼や残り僅かとの声掛けが少ないので、今後、連絡や依頼がスムーズになるようにしていきたい。

使用済みの消耗品の扱いについての取り扱いきちんとされていない。

→消耗品などは、次に使用する人のためにも、在庫が残り僅かなことに気づいた時には補充依頼や報告をするなどで、業務の遂行をスムーズにしていくようにしたい。

→消耗品の補充に伴い発生する使用済みのものやゴミは、その時点で適切に処理をし、教職員が気持ちよく業務に取り組めるようにしていきたい。

### ・会計処理・精算について再確認

#### 「学生等から徴収した金銭」の取扱いについて

「経理規程」に沿って、学生等から徴収した金銭はつぎのように取り扱うこと

- ・学校会計に記録を残し、速やかに預け入れるものとする
- ・収納した金銭を直接支払いに充当してはならない

#### 「旅費精算」の取扱いについて

「職員旅費規程」に沿って、旅費精算は期日までに確実に行うこと

- ・速やかに「出張精算報告書」を作成し、**3日以内**に同書の提出をしなければならない
- ・実費の支給を受けるときは、報告書に領収書を添付しなければならない

※タクシー、JR特急、新幹線及び航空機を除く公共交通料金で定額のもの以外は、領収書の添付は要しない

#### 「個人研究費」の使用について

「埼玉純真 個人研究費使用規程」に沿って、使用すること

- ・使用範囲：①所属学会負担金 ②出張旅費（学会・調査研究等） ③設備費（10万円未満の機械・器具等） ④研究経費（図書・資料・印刷製本等） ⑤その他学長が認めた費用

### 3. 今後の展望（改善に向けて）

#### 業務をスムーズに遂行するために

業務を見直し改善するためには、その部署だけで取り組めることは意外と少なく、多くの場合、すべての部署や個人の意識と行動の改革が重要となってくる。

今回のFD&SD研修会での発表は、日常的な業務と行動への見直しと改善への取り組みを主とした。

「消耗品の取り扱いなどでの行動見直し」では、以下の項目があげられる。

- ①次に使用する人、共有している人が使用に際し不便を感じることをないようにしたい。
- ②それぞれが相手に対して思いやりを持って、気持ちよく利用できるように、今一度、使用後の確認を行う。
- ③用紙やインクなどの消耗品が少なくなった折には、担当部署（担当者）に報告と依頼をする。

「会計処理」においては次のことを徹底し、業務の流れをスムーズにする。

- ①学生から徴収した金銭は、必ず学校会計に記録を残し、お金の動きを明確にする。
- ②研究費や旅費など費用の精算は、速やかな必要書類の提出によって、確認業務や精算処理がスムーズに進むようにする。

なお、処理方法など不明なことがある場合は担当者に積極的に尋ねるなどで、現状を改善するように全員で取り組みたいと考えている。

これらを実行することにより、「サンム」といわれる「無関心」・「無責任」での「無駄」を排除し、さらに全教職員が気持ち良く、スムーズに業務を遂行できるものとする。

## みなさまとともに 業務効率化へ向けて

令和2年度 FD・SD活動

発表者：事務局長代理 上原典子  
庶務係 大澤尚子

前回の発表でお願いしたこと〈現在の状況〉

- ① 在庫数の把握ができるように！  
消耗品（ファイル、文具など）やコピー用紙の  
在庫が少ないときには、補充や残数の声掛けを！
- ② 消耗品の取り扱いがきちんと！  
インクやマスターを交換後、使用済みのものの  
片づけを！

再度お願いとして

つぎに使用したり  
関わる人のことを  
考えて・・・



報・連・相 で気持ち良く

消耗品やコピー用紙など、  
在庫が残りわずかなことに気づいた時に、  
補充の依頼や報告などで、  
業務の遂行をスムーズにしましょう！



〈みなさまにお願い〉

チューターズルームのキャビネット、  
事務室の戸棚などの  
コピー用紙が少なくなった場合は、  
気づいた人が補充しましょう。



※その際、  
必ず箱単位で移動し  
移動した数を台帳に書き、  
更にメモか口頭で移動したことを  
庶務係に伝えてください



補充に伴い発生する  
使用済みのインクやマスター、空き箱、  
シュレッダーの裁断ゴミなどは、  
気づいたその時点で適切に処理をし、  
それぞれが気持ちよく  
業務に取り組めるようにしていきたい



会計処理・精算について再確認  
○学生等から徴収した金銭については、  
「経理規程」に下記のように定められています

(収納した金銭の処理)  
第22条 収納した金銭は、財務課長が特に認めた場合のほかは  
速やかに金融機関に預け入れるものとし、  
これを直接支払に充当してはならない。

2 保有する金銭については、  
財務課長が所定の金庫に保管しなければならない。

### ○旅費の精算は、3日以内

「職員旅費規程」(旅費の精算)

第21条 出張者が出張先から帰着したときは、速やかに所定の  
「出張精算報告書」を作成し、所属長の承認を受けた上、  
3日以内に同書の提出をしなければならない。

2 実費の支給を受けるときは、その支出を証明するため、  
前項の報告書に領収書を添付しなければならない。  
ただし、タクシー、JR特急、新幹線及び航空機を除く公共交通料金で  
定額のものについては領収書の添付は要しない。  
また、領収書を必要とするもので、領収書を添付することができない  
ときは、その理由書の添付を要する。

個人研究費の使用  
「埼玉純真 個人研究費使用規程」

(使用範囲)

第2条 個人研究費の使用範囲は以下の項目に該当するものとする。

- (1) 所属学会等負担金(参加費・懇親会費・年会費等)
- (2) 所属学会等出張旅費(宿泊費・交通費等)
- (3) 調査・研究の出張旅費(宿泊費・交通費等)
- (4) 設備費(10万円未満の機械・器具等)
- (5) 研究経費(図書・資料・用品・印刷製本・通信・修繕等)
- (6) その他、学長が認めた費用

### まとめ

・業務を見直し改善するためには、  
その部署だけで取り組めることは意外と少なく、  
多くの場合、  
すべての部署や個人の意識と行動の改革が重要。

今回の発表は、  
日常的な業務と行動への見直しと改善への  
取り組みを主とした。

### 「消耗品の取り扱いなどでの行動見直し」項目

- ① 次に使用する人、共有している人が使用に際し不便を  
感じることはないように。
- ② 思いやりを持って、気持ちよく利用できるように、  
今一度、使用後の確認を行う。
- ③ 用紙やインクなどの消耗品が少なくなった折には、  
担当部署(庶務)に報告と依頼をする。

## 「会計処理」を徹底 (業務の流れをスムーズにするために)

- ① 学生から徴収した金銭は、必ず学校会計に記録を残し、金銭の動きを明確にする。
- ② 研究費や旅費など費用の精算は、必要書類の速やかな提出で、確認業務や精算処理をスムーズにする。

## これらのことを実行して

- 不明なことは担当者に積極的に尋ねる
- 全員で仕事の効率化に取り組む
- 「サンム」といわれる「無関心」・「無責任」「無駄」を排除
- 全教職員が気持ち良く、スムーズに業務を遂行

ご静聴ありがとうございました



## S D 職員取り組み 3分スピーチ

参考文献：

『職場の教養』 一般社団法人 倫理研究所

## 目次

新井 春美	・ ・ ・ 51
荒井 文江	・ ・ ・ 52
荒井 文菜	・ ・ ・ 52
大木 美晴	・ ・ ・ 53
大澤 尚子	・ ・ ・ 54
小川 友美	・ ・ ・ 55
奥貫 慶一郎	・ ・ ・ 56
栗原 奈緒美	・ ・ ・ 57
相馬 萌	・ ・ ・ 58
田口 宏美	・ ・ ・ 58
田中 淳一	・ ・ ・ 59
寺田 明美	・ ・ ・ 60
中田 佐知子	・ ・ ・ 61
中村 周	・ ・ ・ 61
西山 理恵	・ ・ ・ 62
林 真麻	・ ・ ・ 63
水村 美津恵	・ ・ ・ 64
山谷 香代子	・ ・ ・ 65

## 1. 「案ずるより産むが易し」

学生食堂 新井春美

「言わなければいけないことがあるのに、なかなか言い出せない」という経験はありませんか。

「こんな言い方をしたら、相手はどう受け止めるだろうか」「どのタイミングで伝えればよいただろう」などと、躊躇することはよくあるものです。とはいえ、あまりに忖度し過ぎると、かえって話が込み入ってしまいます。

「あれこれ悩んではみたものの、言わざるを得ない状況になり、思い切って伝えたところ、あっさり受け止めてもらえた」という経験をした人も少なくないでしょう。まさに「案ずるより産むが易し」です。

言うべきことを言わずにため込むことは、心を重くする要因になります。逆に、聞く側からすれば、早く情報を得られたほうが、その後の対応を検討する時間の余裕が生まれます。

言い方、伝え方については、誰かに相談し、知恵を借りることも一案でしょう。

伝える必要のあることは、極力早めに伝えて、心を軽くしておきたいものです。

今日の心がけ◆あっさりとものを言いましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

案ずるは産むが易しの意味は皆さんも知っているように物事は、実際に行ってみると、事前に心配していたほど難しくはないということです。

由来は、言葉の通り妊婦さんが、赤ちゃんを産むのに不安になっていても実際産んでみたらそれほどのものでなかった。ということから来ています。

ここに書かれているように、言わなければいけないことがあるのになかなか言い出せないということは誰もが経験していると思いますが、確かに悩んでいるよりも思い切って相手に伝えることにより、その時は嫌な気持ちになることもあるかと思いますが、冷静になった時には、お互い物事がスムーズにすすんでいることも多いと思います。

いろいろと悩むよりタイミングを見て自分の言いたいことを伝えるということは大事なことでと思います。

我が家は、自分が悩んだり困っているときはとりあえず家族に話すことによって遠慮ないアドバイスが出てくるので気持ちが楽になります。そして自分が思ったことはとりあえず相手に伝えることを勧めています。

皆さんもあまり悩まず思ったことや言いたいことはとりあえず伝えてみるのもいいと思います。

## 2. 「たがいに感謝し合う日」

学生食堂 荒井文江

間もなく、勤労感謝の日です。

世の中には、約一万七千人に及ぶ職種が存在し、それらは網目状に複雑な関わり合いを持ちながら存在しています。

自分が携わっている業務がほかのどのような仕事と関連し合っているのか、普段はなかなか考える機会も少なくはないでしょう。

そこで勤労感謝の日は少しの時間を設けて、働く意味は元より、職場で共に働く人たちのこと、自身の仕事について思いを巡らせてみてはいかがでしょうか。

その対象はひとばかりではなく、普段仕事で使っているものに対しても同様です。

「この人のお陰で」「この道具のお陰で」など「〇〇のお陰で」と、自然に感謝の対象が広く見えてくるはずです。

感謝の対象が明らかになったならば、その対象に謝意を表しましょう。言葉に発して、あるいは心の中で、〈ありがとう〉と試してみましょ。その数が一つずつ増えていく分だけ、働くことに大きな喜びが見つかります。

今日の心がけ◆「ありがとう」と言いましょ（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

こちらを読みまして、、、

「ありがとう」という言葉は、本当に素敵だなと思います。

純真で務めさせていただき、「ありがとう」という言葉を聞かない日はありません。

学長先生を始め、、、事務の方々、食堂スタッフのみなさんが、日々「ありがとう」と言葉に出し相手にきちんと伝えていて！さらに気遣いの言葉もプラスされ、会話をなさっている方々ばかりで私自身、日々勉強させて頂いております。

私は、言葉足らずで表現することも、とても下手です、、、

まずは、皆さんを見習い「ありがとう」という言葉を、どんなときにも伝えられるよう！

日々過ごしていきたいと思います。

## 3. 良い仕事をするには

入試広報係 荒井文菜

書家の紫舟さんは、「良い作品を生み出し続けるために気をつけていることは、規則正しい生活リズムを守ること」だと語っています。

書家として活動し始めた頃は、二日連続の徹夜など、無茶をしたことがあったといいます。

なかなか納得のいく作品ができずに焦りが募る中、尊敬する先輩から、「毎朝同じ時間に起

きて、仕事をして、寝るのが大切だ」と教えられました。  
私たちの仕事においても、仕事の成果と生活リズムには、大きな関わりがあります。  
規則正しい生活リズムとは、自然の営みそのものです。  
地球の自転の周期に沿って一日が始まり、一日が終わる。地球の公転に伴って季節が巡る。  
そうした大自然のサイクルに歩調を合わせることから、生活に節目ができ、持てる能力を發揮できるようになります。  
まずは朝、決まった時間に起きることから始めてみましょう。

今日の心がけ◆生活リズムを整えましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

私事ですが、今年の目標はまさに、生活のリズムを整えることです。そこで、なるべく22時にベッドに入り、起床は6時と決めて7時間眠るよう心掛けています。  
また夜寝る前にスマートフォンを見てしまうと眠れなくなることが多かったため、スマートフォンは寝室には持ち込まず、朝はスマートウォッチの目覚ましを使用しています。実践してからは体が軽くなり、疲れにくくなったような気がします。  
それから、スマートフォンのアプリを整理して、すっきりさせできるだけ画面に目を向ける時間を減らすなど工夫をしています。時間は有限だからこそ無駄に過ごさず、自分の幸福度を上げて人生を精一杯楽しみたいと思います。

#### 4. 「座り方診断」

図書館 大木美晴

デスクワークに従事する人は、自分の座り方を振り返ってみましょう。背中が丸まる、そっくり返る、足を組む、肘をつくといった姿勢が常態になっていませんか。正しい座り方とは、床に対して背筋が90度になり、骨盤が立った状態です。頭の重さを体で均等に支えることができ、緊張が緩和されます。  
一方で正しい姿勢でも、長く同じ姿勢を続けていると、それなりの緊張が生じます。仕事には集中力が求められますが、集中、緊張だけでは、心身ともに疲労が蓄積します。適度に体を動かすリラックスタイムを取り入れる工夫をしましょう。

今日の心がけ◆疲れを溜めない工夫をしましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

自分の座り方をチェックしてみると、仕事では上半身が前に傾いていました。足を組んでいることも多く、反省しました。  
スマートフォンやパソコンが原因で起こる首や肩の痛み、しびれが出る状態は、最近では「スマホ首」と呼ばれることもあります。正式には「ストレートネック」と診断される症

状だそうです。本来ゆるやかにカーブしているはずの首の骨が、首を前に出す姿勢を続けたことによって真っ直ぐになってしまう状態を表しています。

特に意識しなくても、後頭部・肩甲骨・臀部・かかとの4か所を壁に付けて、立つことができれば首の骨は正常な状態であるとのこと。「ストレートネック」を予防、改善するには、あごに指をあて、頭と首を前後に水平に押し戻したり戻したりする運動が効果的だそうです。自分の体の状態を知り、良い状態を保つ心がけは、仕事に集中していくためにも大切なことであると思います。運動をするためのまとまった時間を毎日確保することは難しく、継続できないことも多いですが、日常生活の中で体を動かし、労わる時間を意識的に持つようにしていきたいです。

## 5. 勤労感謝の日

庶務係 大澤尚子

今日は「勤労感謝の日」です。戦前は秋の収穫に感謝し、五穀豊穡を祝う宮中祭祀の「新嘗祭」として制定されていました。

それが戦後、昭和二十三年に公布・施行された国民の祝日に関する法律で、「勤労感謝の日」と定められました。この祭日の趣旨として、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」と記されています。つまり互いの働きを認め合い、働きに感謝するということです。

日々働けることを喜び、自分が置かれている環境に感謝を深めましょう。

今日の心がけ◆お互いの働きに感謝を深めましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

一週間ほど前に、このお話と同じような内容の会話をしました。

「勤労感謝というのは、勤労したことに感謝されるのではなく、勤労できることに感謝する日らしい」という話です。

自分自身が働いていなかった時は、働いている人を労い、働いてくれている人に感謝する日でした。自分自身が働く人になった今は、誰かに感謝されているのかは疑問ですが、働ける環境に居られることは有り難いなと思っています。

以前は、働けるということについて、特別に考えることはなく、毎日が当たり前のことのようには思っていました。

ですが、今年、新型コロナウイルスというものに、その当たり前の毎日が当たり前ではないことを教えられました。



今までのように働けない、今までのように生活できない、そんな人達が世界中で増えていきます。そして、少し辛い時に診てもらえていた近所の病院にも、行くことを躊躇してしまうような世の中になっています。

当たり前の日常が当たり前ではなくなっている中で、私は毎日マスクをしていること以外、今までと変わらずに、職場のみなさんとお仕事をさせてもらえています。改めてこのことを考えた時に、それはみなさんがこの職場を守るために、それぞれが出来ることを行い、換気や距離に気を付けることは勿論ですが、学生への対応や指導をしっかりしてくれているからだと思います、本当に有り難いことだと思いました。

勤労感謝の日ではなくても、今後、新型コロナウイルスが落ち着いたとしても、この働ける環境や職場のみなさんが当たり前にならないように、日頃から「ありがとう」と、ちゃんとと言える人でいようと思いました。

## 6. 見られる仕事

学生食堂 小川友美

プロサッカー選手で、五十歳を過ぎても減益として活躍する三浦知良選手。

「見られる意識」を持つことの大切さを次のように述べています。

「メディアでの発言、振る舞い、服装、髪型、肌のつや。すべて気にすべきだと思う。

整体師なら僕の姿勢を、アパレルの方は僕の服、美容師さんは髪型、と様々な観点で選手はみられている」

私たちは、三浦選手のように、多くの人から見られることは少ないでしょう。

しかし、日常の業務において、様々な人から見られているものです。

接客業ではお客様から見られており、そのほかの業種では、取引先や地域の人達から見られています。その印象が業績につながるもあるでしょう。

身だしなみは整っているか、言葉遣いは適切か、自らを省みましょう。挨拶や返事をはじめとする起居動作も、様々な人から見られています。

大切なのは、プロとしての自覚を持つことです。自分の仕事を愛し、誇りと自信を持って取り組むとき、自ずと「見られる意識」が芽生えてくるものです。

今日の心がけ◆プロの自覚を持ちましょう（『職場の教養』：一般社団法人倫理研究所より）

こちらを読みまして、、、

私たちは、仕事をする上で、多くの人と関わりを持ちながら仕事をしています。

そして、人との関わり合いの中で、人から見られる意識を持つことにより、言葉遣いや身なり、姿勢などに気を配るようになっていきます。

私は、これまでの仕事の経験の中で、人から見られる意識を持つことにより、自分に足りないものを考えたり、目標とする人を見つけたりしながら、自分を成長させてきたように思います。

そして、常に見られる意識を持ちながら仕事をしていくことにより、人との交流の中で自分を高めていくことができると感じました。

現在の私の仕事の相手は学生です。

学食はオープンであり、作業している姿は学生たちに見えるようになっていきます。

なので、私は、学生たちに見られているという意識を持って仕事をしていくことで、より高い意識を持つことができると思います。

## 7. 流れ星の競演

学生係 奥貫慶一郎

子どもの頃夜空を見上げながら、星に願い事をした人は多いことでしょう。秋から冬にかけては空気が澄んでいるので、天体観測をするには絶好の時期です。

天頂に見える「秋の（ペガサス）四辺形」やそこから連なるアンドロメダ座、カシオペア座など一等星こそ少ないものの、二等星を含む星座が多いのが特徴です。

この時期は2つの流星群が競演します。1つは「しし座流星群」で速度の速い流れ星です。もう1つはゆっくり流れる「おうし座流星群」です。

見ごろは18日未明で、月明かりの影響がなく、最適な観測条件となります。2つの流星群のロマンチックコラボレーションを見ることができましょう。

大昔、ウラル・アルタイ語族の人々は「流れ星は神様が地球の様子を覗くために、天の扉を少しだけ開いた時に漏れた光」と考えました。そして、流れ星を見た瞬間に神様とつながることができ、願い事が叶うと信じられていたそうです。

この週末は、家族や友人、職場の同僚もしくは自分の幸せを願いながら、流れ星の競演を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆身近な人の幸せを願いましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

7月2日午前2時半頃、日本の遥か上空を隕石が飛びました。奇しくも習志野市内に破片が落ち、習志野隕石として命名され、多くの天文ファンを魅了しています。

これは大火球で長い時間夜空に見られたようですが、数多の流れ星はゼロコンマ何秒という極めて短い時間に夜空を截（き）って消えてしまいます。

流れ星に身近な人への愛や想いを願うとかなえられるという言い伝えがあります。これには、不可思議なことへの憧憬や畏怖があり、ウラル・アルタイ語族の人々のように天の扉が少し開く瞬間と考えれば、ロマンがあります。転じてその一瞬一瞬を大切にし、思いを強く

持てば、人として成長できる何かをつかめると思います。

隕石…はるか宇宙からどのような思いをもって飛んでくるのでしょうか。とても気になります。

## 8. 現在・過去・未来

実習指導係 栗原奈緒美

日々の生活で疲れた心を癒すことを目的とした「涙活」が、静かなブームとなっています。

この取組は、イベントプロデューサーの寺井広樹さんが、2013年頃から始めたものです。涙を誘う動画や映画などの鑑賞を通して、ストレスの軽減に役立てることを目的としてスタートしました。

ある日の「涙活」イベントでは、お笑いタレントの鉄拳さんが、苦勞をともにした夫婦の生涯をパラパラ漫画で描いた動画が流れ、涙を拭う人が相次ぎました。参加者からは「泣いてスッキリできた」などの声が寄せられました。

涙を流すことで不思議と気分が晴れ晴れしたり、気力を取り戻すことができたという体験は、多くの人を持っているでしょう。

様々な情報が溢れ、変化の激しい現代社会では、気がつかないうちにストレスが溜まり、心が枯渇しているかもしれません。

感情は無理に抑えこまずに、笑いたいときは笑い、泣きたい時は泣きましょう。

### 今日の心がけ ◆ 心に潤いを持ちましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

人が生きていくには、勇気や努力、意志、忍耐がついてまわり、私も含め日本人の多くは、「人前で泣くことは、はずかしいこと…」という考え持ち、年齢を重ねれば重ねるほど泣くことをガマンしてしまう人が多いと思います。

人が、感動した時、悲しい時、悔しい時など感情を揺さぶられる時に流す涙は、体内からストレスが排出され、気持ちが安定するそうです。本文にある「涙活」はまさにこれを意味しています。

忙しい毎日を頑張っていく中で、時々でも自分のココロに正直になれる時間が持てたら、「泣きたい時は、ひとりで…」、そして、「笑いたい時には、誰かと…」。きっと、自分のココロが前を向き、余計な力も取れて気持ちが軽くなれると思います。

そして、誰かが、「泣きたい時に、泣けるように…」、「笑いたい時に、笑えるように…」

そんな場面にそっと寄り添える人でありたいと思いました。

## 9. おしゃべりタイム

教務係 相馬萌

市民オーケストラに所属し、ビオラを担当するT子さん。百六十人の団員をまとめる団長役を引き受け、「聴衆の心を動かす演奏をしよう」をモットーに、平日の夜間や土日を使って練習に励んでいます。

プロの奏者は在籍せず、音楽監督も置かない純粋なアマチュア・オーケストラで、個性あふれる人たちが、自由奔放に活動しています。

様々な意見を言う団員を、Tさんはまとめなければなりません。ある日Tさんは、お互いの名前も知らない団員が多いことに気づきました。

〈このままでは、オーケストラの方向性が見えなくなってしまう〉と危機感を抱いたTさんは、副団長やパートリーダーと相談をしました。そして、ミーティング後の十分間を、十人以上と話す「おしゃべりタイム」としたのです。

団員間で会話をするようになると、それは「音の調和」にも現れるようになりました。場の雰囲気づくりは、どのような場にも欠かせない事柄です。

一つの目的に向け、仲間と良きハーモニーを奏でていきましょう。

今日の心がけ◆調和の取れた環境を築きましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

集団において、最低限のやるべき役割ができているのであれば、個人を知らなくても良いとは思いますが、仕事などで名前を知らないことはないですが、プライベートではない関係の人ですと、ある程度の距離感はあると思います。

ただ、普段からコミュニケーションを取っていると、例えば、体調不良や家庭環境の問題を抱えていたりすれば、その人を理解して配慮できることもあります。また、その人を知っていれば、何かをする時にも、その人に合わせた言い方ややり方を考えられ、やりとりもしやすくなると思います。そして、よく知らないことによる誤解や行き違いなども回避できると思います。

この話のように「おしゃべりタイム」と言うと、無駄な時間のように感じられてしまうかもしれませんが、単に業務などの話だけでなく、少しは様々な話をする場があると、よりよい関係性で円滑な仕事ができると思いますので、コミュニケーションは取っていくようにしたいと思いました。

## 10. 何とかするには

教務係 田口宏美

Aさんは、同僚と二人で、取引先への商品説明をすることになりました。それぞれに役割

を決め、打ち合わせを重ねて、準備万端で当日を迎えました。

ところが、直前になって、体調不良により同僚が欠席することになったのです。普通ならば慌てると思いますが、Aさんは「何とかなるさ」と気持ちを切り替えて、見事に同僚の分も説明をすることができたのです。

このようなことは、仕事をする上で、よく起きるものです。そういう時は、「もうダメだ」と悲観するより、「大丈夫、何とかなる」という心持ちで取り組んだほうが、良い方向に進んでいくものです。

では、Aさんはなぜ「何とかなる」と思えたのでしょうか。もともと楽天的な性格だったことが一つの理由です。

それに加えて、事前に何度も打ち合わせをしていたこと、過去にも同様のピンチをくぐりぬけてきたことが自信になったようです。突発的なことにもぐらつかない心持ちは、周到な準備と経験に裏打ちされたものだったのです。

今日の心がけ◆念入りに準備をしましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

準備万端で打ち合わせを重ねていても、突発的な事態はどうしてもおこります。特に、いつもと違うことを行う場合は、何度も頭の中でシミュレーションを行います。しかし、想像を上回る事態が起きた場合、冷静さに欠けてしまうことがあります。

その時には、上司や同僚に助けられており、臨機応変な対応ができるのも周りのおかげだと感じています。

本学は行事ごとに教職員全員に役割分担があり、全員で準備をしています。自分の係がメインで行事を行う時は、特に念入りに準備をしますが、自分達の事をしっかりと確認した上で、全体のことも考えておく事が大切だと思います。

担当者しかわからないということにならないように、本学のチームワークを活かして行事が滞りなく行えるよう、これからも行動していきたいです。

## 11. 仕事モードにスイッチオン

学生係 田中淳一

ショッピングセンター内の衣料店で働くF子さん。入社時から、朝礼に参加し、持ち場に立つことが日課の一つでした。

ある日、店長が「朝礼をしても売り上げにつながらない。内容もマンネリ化してきたため今月中止にします」と告げたのです。

それから三カ月が過ぎた頃、F子さんに同僚のEさんが「朝礼がなくなってから、気持ちがスッキリしないの。元気な声を出さないまま売り場に出るので、いま一つ、明るい声で接客できなくて」と言いました。

F子さんも同様に〈活力が湧かず、仕事モードに気持ちが切り替わらない〉と思いながらも解決策もなく、霧の晴れないような日々を過ごしていたのです。

E子さんとF子さんは相談をして、店長に朝礼の再開を申し出ました。店長も、朝礼の効用を改めて、思い直していたところでした。再び朝礼を始めることになった職場では、以前にも増して、活力が溢れています。

朝礼には、仕事モードへのスイッチをオンにする効果もあります。

今日の心がけ◆明るい声で心を切り替えましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

本学も毎朝朝礼をしています。連絡事項と朝礼当番スピーチをして仕事モードにスイッチオンになります。

仕事中は相手に不快な気持ちをさせないようにする必要があります。

個人の評価が組織の評価になり経営に繋がります。

朝礼であった連絡事項やスピーチの心がけにあることを意識してスイッチをオンにし今日も一日頑張ろうと思いました。

## 12. 思いやりの心

教務係 寺田明美

Sさんは常に安全運転に努めています。信号機のない横断歩道では、細心の注意を払うといます。その一方で歩行者が視野に入っても、そのまま走り抜けてしまうドライバーがいるのも事実でしょう。Sさんは、横断歩道の近くに歩行者を見かけると、〈あのお年寄りが自分の父や母だったら…あの子供が自分の孫だったら…〉と思うようにしています。すると、自然にブレーキがきき、やさしく停車できるそうです。

同じ物事でも、自分自身や自分の身近な人に置き換えて考えることで見え方が変わってくるものです。思いやりの心を忘れないためにも、別の角度から物事を見つめる習慣をもっておきましょう。

今日の心がけ◆人や物事を違う角度で見つめてみましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

あおり運転や幅寄せなど悪質なドライバーがいる一方で、Sさんのような思いやりの心を持ちハンドルを握っているドライバーもいる事にホッとします。

車の運転に限らず、職場や家庭においても、自分本位な考え方や行動は思わぬ所で周囲の人を巻き込んだトラブルや大事故になりかねません。

人はひとつの視点から物事を判断しがちです。そして、ひとつの方向から見たものがそのも

のの姿であると思いイメージを固めてしまいます。ところが相手の立場で物事をとらえることで、これまで隠れていた裏の面が見えてくるでしょう。それがヒントとなり、問題の解決の糸口や新たな発見につながります。

これをよい機会に、学生と接する際には一旦相手側に立つことを意識しながら仕事に臨みたいと思いました。

### 13. 春分の日

学生食堂 中田佐知子

本日は二十四節気のひとつ、春分の日です。国民の祝日であり、また、この頃から昼夜の長さが同じぐらいになる時期でもあります。

制定されたのは昭和二十三年で、その趣旨は、「自然をたたえ、生物をいつくしむ」というものです。では、制定前までは、どのような日だったのでしょうか。

この日はもともと「春季皇霊祭」という大祭の一つでした。毎年、天皇陛下が宮中の皇霊殿で、歴代の天皇・皇后陛下、皇親の御霊を祀る儀式を執行されることから、国家の祭日だったのです。

現在の祝日が制定される際の趣旨を知り、さらには、その日の歴史や経緯を知ると、新たな気づきを得て、より深みのある一日を過ごすことができるかもしれません。

お彼岸の中日、お墓参りに行く人も多いでしょう。ご先祖への供養や、感謝を深めるにも、最良の日といえます。

またとない平成三十年の春分の日、皆さんはどのように過ごしますか。

今日の心がけ◆祝日の背景に目を向けましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

この文章を読んで、春分の日もともと「春季皇霊祭」という大祭の一つであることを知りました。

毎年、私はお彼岸の中日にはお墓参りをしています。

今年は、三月二十日（土曜日）が中日なので、こうした歴史を踏まえながら、ご先祖様への感謝の気持ちを持って、家族でお墓参りに行きます。

### 14. 成就の後

進路支援担当 中村周

「事、未だ成らず、小心翼翼。事、まさに成らんとす、大胆不敵。事、既に成る、油断大敵」。これは、幕末に活躍した、勝海舟の遺した言葉です。

言葉の意味は「事を始めるにあたっては、研究・調査・計画のもとに十二分な準備をすること。実行段階に至っては、いっさいの不安を捨てて行なうこと。そして、成就の後は油断せず、緊張感を持続すること」というものです。

この中で、実行することが最も難しいのは、最後の「油断大敵」という部分ではないでしょうか。

私たちは時として、うまくいった後に気を抜いたり、後始末を怠って、失敗を招いてしまうことがあります。

「勝って兜の緒を締めよ」など、成功した際の油断を戒める教訓は数多くあります。

新規契約が取れたら、アフターサービスの充実に関心を切り替える、仕事が一段落しても、その後の点検作業を怠らないなど、成就した後も気を引き締めて、プロフェッショナルを目指しましょう。

今日の心がけ◆油断大敵と心しましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

成就という言葉は、元は仏教用語です。徳や知恵をまもって備えを完成させることの意味があるそうです。大願成就などの四字熟語では使われますが、目標を成就するとはあまり聞きません。分かりやすく言うと「達成」なのかと思います。

仕事は、目標に向かって達成し、成果を挙げることにつきます。

最初の準備は、分析などの細かい作業がありますが、期待を少しずつ積み重ねる楽しみがあります。次の実行は、ダイナミックに勢いを感じることができます。その後の、到達までは心地良いものですが、その状態を維持し、手綱を締めることは、一番難しいでしょう。

本学では、定員を超える多くの学生を預かっています。

現在、コロナ感染予防のため、変則的な動きをとらなければならない状態のなかで、この学生たちが、入学前にイメージした充実した学生生活を実現できるようサポートしていかなければならないと思います。そして、学びのゴールである進路決定も同様です。

どのような状況であっても、気持ちを引き締めて臨みたいと思います。

## 15. パソコンのトラブル

入試広報係 西山理恵

新入社員の F さんは、仕事でパソコンを使用しますが慣れない操作にイライラすることが多くありました。

ある日のこと、パソコンがフリーズ状態となり、その日の作業は一からやり直すことになりました。

それ以来、以前にもましてパソコン操作が苦痛になった F さんです。

その時に先輩から「パソコンなしで業務を行うとしたら大変なことになる。その働きに感謝



して使い終わったら<ありがとう>の気持ちで拭くことだよ」とアドバイスされました。実際にやってみると、不思議とイライラもトラブルも減ってきたのです。

今日の心がけ◆仕事道具に働きに感謝しましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

パソコンや家電、車など日常的に使用しているものには愛情をもって接したほうが良いとされています。

使用したら元に戻す、汚してしまったらキレイにするなどを心がけ、大切にすることで「物」も長いあいだ頑張ってくれているのだそうです。

物だけでなく、人もそうかもしれません。

先日、エアコンのリモコンが操作できなくなったことがありました。

以前からそのリモコンは不具合が多かったため、つい「このリモコン、もうダメ」と口走ってしまいました。

操作しているときも、マイナスなイメージだけをもっていたかもしれません。

不思議なことに、何をしてもダメだったそのリモコンは、別の人が操作したところ驚くくらい感度良好でした。

感謝の気持ちを持たないといけないのか、と思った出来事です。

そばにある物や人には常日頃から感謝の気持ちを持ち、大切にし、良い関係を築いていきたいと思います。

## 16. 嫌うものには悩まされる

実習指導係 林真麻

嫌うものには、悩まされるものです。例えば、苦手な食べ物が多いと、会食などの際に困ることがあります。

また、人間関係でも、好き嫌いの感情を抱いてしまうことがあります。さらには、暑さ、寒さなどの天候気候を嫌がる人もいるでしょう。

嫌いなものを好きになることは、なかなか難しいものです。問題となるのは、嫌う気持ち自体が本人を悩ます原因であり、その気持ちが不幸を招くことです。

悩みの解消へ勇気を出してみましょ。それには、嫌う心の一つひとつ取っていくことです。嫌いな対象への見方や考え方を一度リセットして、美点や長所に目を向ける努力をしてみましょ。

その際、掃除や整理整頓をすることが、嫌う心を取り払う助けになるかもしれません。嫌う心が強い人は、頑固な汚れの清掃に取り組んでみましょ。

汚れを落として、その物本来の美しさを見いだすことは、心の持ちようにも通じます。人や物にも、晴々とした気分で向き合えるはずで。

今日の心がけ◆嫌がる心をなくしましょう(『職場の教養』:一般社団法人倫理研究所より)

だれでも苦手なもの、合わないものはあります。人が集まれば、お互いに好き嫌いが生じるものです。人の欠点はよく目についてしまうものです。それに対し、良い所や長所は見逃してしまいがちです。

母の話ですが、現在新卒の新人と組んで仕事をしていて、教えることがとても多く、自分でやってしまった方が早く終わり、効率も良いけれど、あえて責任のある仕事や難しい仕事を任せていると言っていました。

なぜかと聞くと、自分でやってしまえば、相手のことが何も分からないままになってしまう。任せてみて、相手の得意なことや良い所が分かるから任せていると言っていました。新人なので、困った時はフォローをするし、困っている時に必ず助けているのできっと相手も自分のことを分かってくれると思うとも言っていました。

できないからやらせないのではなく、やらせてみてよい所を見つけて、褒めて伸ばすという考えでやっていると言っていました。

人は様々な側面を持っているものです。自分自身も含めて、欠点も長所もあるのが人間です。

どうしても、毎回提出物を遅れて出す学生、未提出の学生はできないと思ってしまいますが、相手の見方を変えて、人の長所を発見するようにしていきたいと思いました。

## 17. 「足元を見直す」

学生食堂 水村美津恵

Sさんは入社五年目の社員です。最近では上司や後輩からも頼りにされるようになり、様々な業務をスムーズにこなせるようになってきました。

ある日、後輩に仕事の依頼をして、別の業務に取り掛かっていました。すると後輩が上司に呼び出され、作業内容や、手順について注意を受けていました。

後輩が上司に頭を下げている場面を見ていたSさん。〈自分が依頼したことによって注意を受けて、申し訳ないことをしたな〉と反省し、自分の業務に対する姿勢を見直すことにしたのです。

すると、どの仕事に対しても〈誰かのためにやってあげている〉という気持ちが強かったことに気付きました。〈自分は頼られている〉という思いから、

上司に対しても、後輩に対しても、驕りが出てしまっていたのです。

仕事に対する慢心が、後輩への支持に表れていたと感じたSさん。今一度、初心に立ち返り、目の前の業務に真摯に取り組むようになりました。

今では、その謙虚な仕事への姿勢が、確かな信頼へと変わったのです。

今日の心がけ◆謙虚に仕事と向き合しましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

これを読みまして、謙虚さの大切さを再確認しました。  
では、謙虚さとは何でしょうと考えてみました。  
自分の意見を発言しなかったり  
目上の人に対して媚びることでしょうか  
私はこれは遠慮であり、謙虚と遠慮は違うと思いました。  
では、謙虚とは何だろうと改めて考えて、謙虚さとはどんな人に対しても尊敬しながら接することだと思えます。  
これからは、私は謙虚さを忘れずに日々過ごせるように心掛けていきたいと思えます。

#### 18. 「相手に寄り添う」

学生食堂 山谷香代子

Tさんは新人の頃、日々に仕事が多忙で、一人で抱えている業務がたくさんありました。しかし、人前で弱音を吐くことができないでいました。先輩からは、毎日「仕事が遅い」と注意され、山のような仕事を前に悩み苦しんでいたのです。Tさんはいつも、〈心の支えが欲しい〉と感じていました。そのような時、Tさんの異変に気付いた同僚が温かい言葉をかけ、心を包んでくれたのです。悩みを抱えている人の気持ちを汲んであげてくれることを「心に寄り添う」といいます。同僚はまさにTさんの悩みを受け止め、共感してくれたのでした。その後、Tさんは、自らの体験を元に、誰かが悩んでいると感じた時には積極的に声をかけ、心から寄り添い悩みを聞いてあげるようにしたのです。「寄り添う」とは、自分の感情を相手の気持ちに近づけるようなものです。人の気持ちを汲み取り、自分の心を相手に寄せていくことで、Tさんは、職場の中に、温かい光を灯しています。

今日の心がけ◆共に働く人に真心を寄せましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

こちらを読みまして、、、  
悩んでいる時、隣でうんうんと、私の話を聞いてもらえた時、とても気持ちがほっとしたことがありました。  
意見を正されていたり、否定されていたらさらに悩みが増えて、苦しい思いをしていたかもしれませぬ。

この職場で働くようになって、周りの人に支えてもらい、温かい言葉をかけてもらって、毎日充実した仕事ができている。

人に話を聞いてもらえることが、本当に心の支えになると実感しています。

改めて、まだまだ人への気遣いが足りていない自分に気が付きました。

周りの人が元気がないことに気が付いても、どう声をかけていいのかわからず、素通りしてしまうこともあります。

そんな時、身構えることなく、声をかけてあげられるような人になりたいと思いました。

# FD&SD 全体研修

令和3年3月3日

時間： 14：00～15：00

講師： 国立教育政策研究所 総括研究官 掘越 紀香先生

内容： 演題「これからの幼児教育」

## 幼児教育の質向上を目指す：専門性，OECD調査結果から



どんなタイトル  
つけますか？

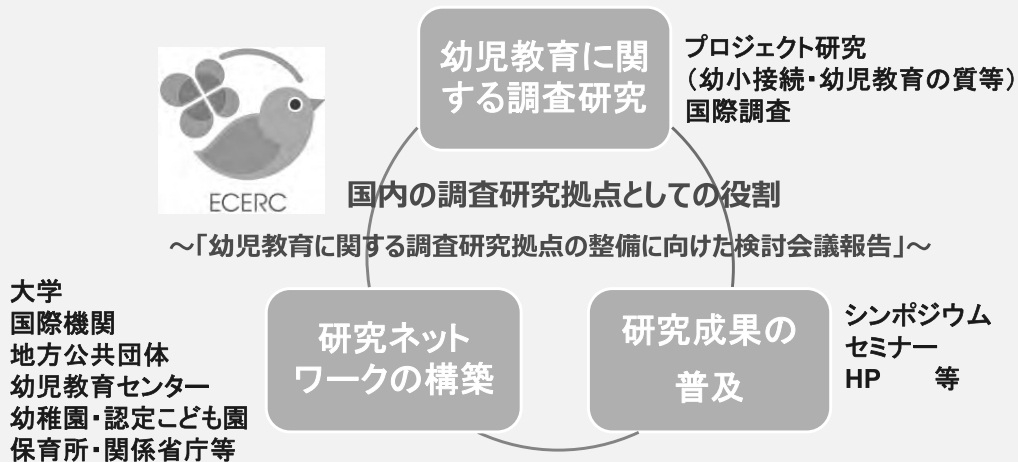
5歳児6月

掘越 紀香（国立教育政策研究所 幼児教育研究センター）



## ● 幼児教育研究センター（2016.4～）

幼児教育の質の向上を図っていくために，中長期的な観点から幼児教育に関する基礎的な研究を行う必要。平成28年度より国立教育政策研究所に新たに設置された幼児教育研究センターを中心にして，継続的に政策効果に関する調査研究活動を行っていく。



[http://www.nier.go.jp/youji\\_kyouiku\\_kenkyuu\\_center/y\\_index.html](http://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/y_index.html)

●**幼児教育の質**：子供の育ちDevelopmentと学びLearnigとより充実した生活Well-beingのために

●**構造の質 structural quality**

保育者と子供の割合，グループサイズ，部屋の広さ，保育者の経験年数，資格免許等

●**保育プロセスの質 process quality**

保育者の援助，子供同士の相互作用，ものとの関わり，教材・環境構成など，数値化の難しい，保育の実践過程の質

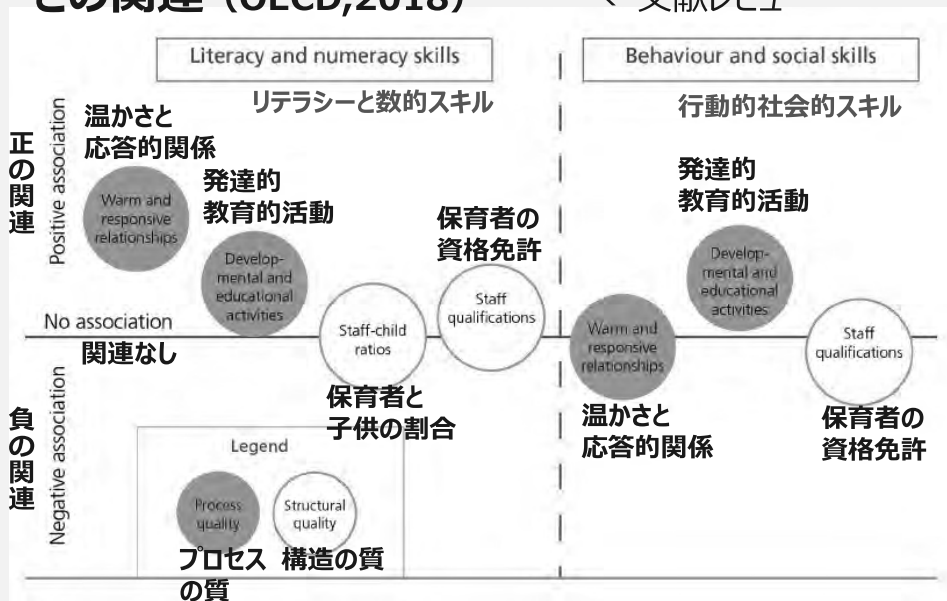
●**子供の育ちと学びの姿の質 outcome**

子供のリテラシー・数的スキル，学力，社会情緒的スキルなど

OECD (2006) Starting Strong II

- ・ 志向性の質 (政府や自治体が見る方向性)
- ・ 構造の質
- ・ 教育の理念と実践 (national curriculumで示される教育の概念や実践)
- ・ 保育における相互作用，プロセスの質
- ・ 実施・運営の質  
(現場ニーズへの対応，質向上，効果的なチーム形成のための運営)
- ・ 子供のアウトカムの質，パフォーマンスの基準

●**プロセス・構造の質と，認知・社会情動的スキルとの関連 (OECD,2018)** ←文献レビュー



Source: OECD (2018), Engaging Young Children: Lessons from Research about Quality in Early Childhood Education and Care, Starting Strong, OECD Publishing, Paris, <http://dx.doi.org/10.1787/9789264085145-en>.

## ● 社会情動的スキル（非認知的能力）：OECD

OECD (2015) *Fostering Social and Emotional Skills Through Families, Schools and Communities* (宮本晃司・池迫浩子著, ベネッセ訳)

- a) 一貫した思考・感情・行動パターンに現れ,
- b) フォーマル, インフォーマルな学習経験によって発達し,
- c) 一生を通じて社会経済的成果に重要な影響を及ぼす個人の能力

Big Fiveと呼ばれる分類（開放性, 勤勉性, 外向性, 協調性, 否定的感情対情緒的安定）を示した上で, 以下の視点から捉える。

- \* 目標の達成 Achieving goals  
忍耐力, 自己抑制, 目標への情熱
- \* 他者との協働 Working with others  
社交性, 敬意, 思いやり
- \* 情動のマネジメント Managing emotions  
自尊心, 楽観性, 自信

→乳幼児期から育む重要性, 幼児期から青年期での育みやすさ

## ● 幼児教育・非認知的能力への関心の高まり

### アメリカ ペリー就学前計画の概要

【実施期間】 1962～67年

【対象】 低所得層アフリカ系アメリカ人3～4歳児／教育上「高リスク」児・123名

【内容】 学校教育／家庭訪問／親教育

【教育期間】 2年間

【追跡調査】 3～11歳, 14, 15, 19, 27, 40歳

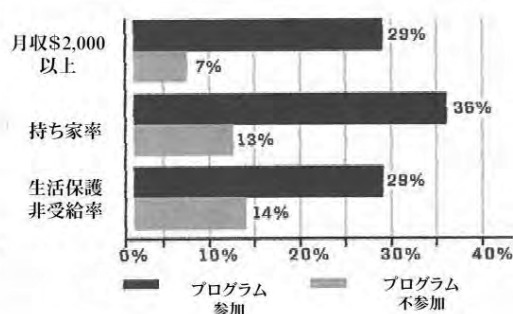
実験群（平日2.5時間の子どもへの教育,  
週末1.5時間の家庭訪問で家庭への教育）

### アメリカ ペリー就学前計画の結果

J.Heckman -Science(2006) ; (2013)

- 就学前教育への参加は, 将来の所得向上や生活保護受給率の低下につながる。
- 就学前教育は, 認知的能力 (IQ) というよりも, 非認知的能力 (動機づけ, 粘り強さ, 自制心等) を高めることで 長期的効果を持った可能性を示唆。

【経済的効果 (40歳時点)】





## 参考) EPPE研究の概要

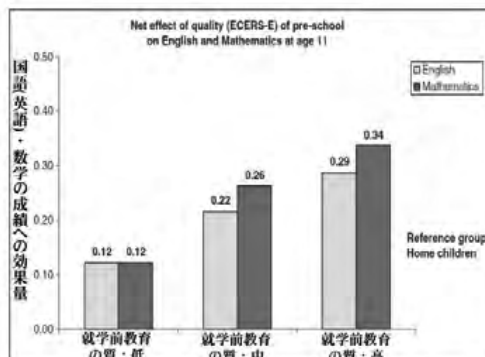
### イギリス EPPE (Effective Preschool and Primary Education) の概要

【調査年】1997～2007年

【形態】多角的・包括的大規模縦断調査

【主な測定項目】

- ・子供自身・家族・家庭の特徴
- ・就学前教育の経験の有無
- ・就学前教育の質水準（低/中/高に分類）
- ・認知テスト・社会情緒的発達



### イギリス EPPEの結果

- ① 就学前教育の質が11歳時の「国語(英語)」と「数学」と関係
- ② 就学前教育の質が11歳時の「自己調整力」と関係
- ③ 就学前教育への参加年数の長さが、11歳までの読み書き能力、数学能力、自己調整力、向社会的行動の発達に肯定的効果
  - ※ 特に、3・4歳時点での就学経験の差がその後の効果に影響する
  - ※ 幼児教育の質が低い場合、幼児教育を受けた経験による効果はない

(Sylva et al.,2011)<sub>10</sub>

## ● 学びに向かう力（社会情動的スキル）

### 「幼児期から小学生の家庭教育調査」

(ベネッセ教育総合研究所, 2012年から継続)

#### 「学びに向かう力」

← 資質・能力

自分の気持ちを言う (心情・意欲・態度)

相手の話が終わるまで静かに聞く

物事をあきらめずに挑戦する etc.

自己主張, 自己抑制, がんばる力 (挑戦, 集中力, 持続力・粘り強さetc.), 協調性, 好奇心に関する力

→ 小学校以降の学習の基盤

「生活習慣」トイレ, 食事, 挨拶, 片付けetc.

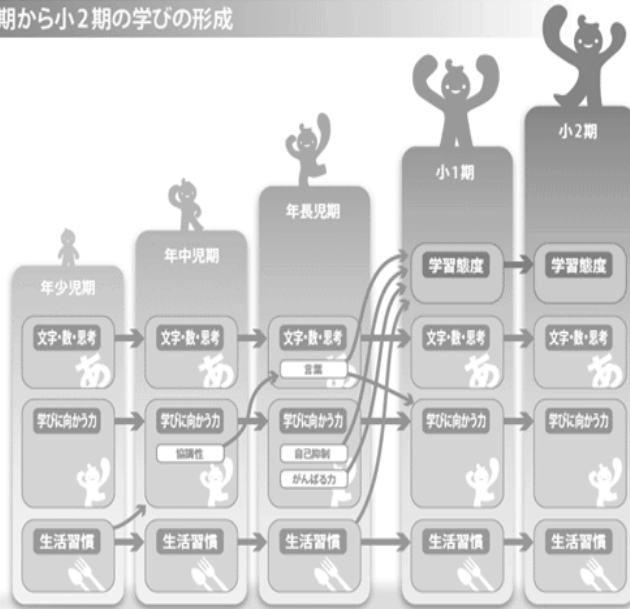
生活していくために必要な習慣

「文字・数・思考」文字や数の読み書き, 順序etc.

幼児期から児童期での学習に関する力

●「幼児期から小学生の家庭教育調査」(同一の子供について5年間(年少児～小学2年生)の変化を捉える追跡調査・第4弾プレリリース)(ベネッセ教育総合研究所, 2017)

幼児期から小2期の学びの形成



年少) 生活習慣  
→年中) 学びに向かう力

年中) 協調性  
→年長) 言葉

年長) 言葉, 自己抑制, がんばる力, 生活習慣  
→小1) 学習態度

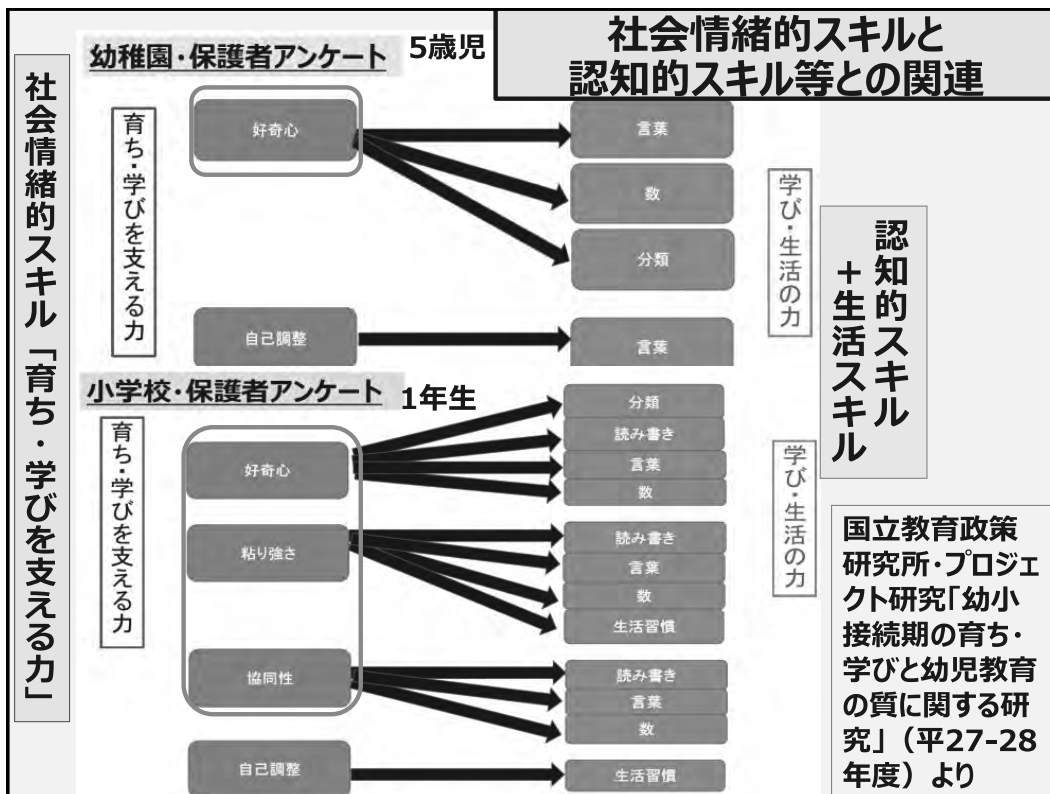
年長) 言葉  
→小1) 学びに向かう力

社会情緒的スキル「育ち・学びを支える力」: 幼から小への影響

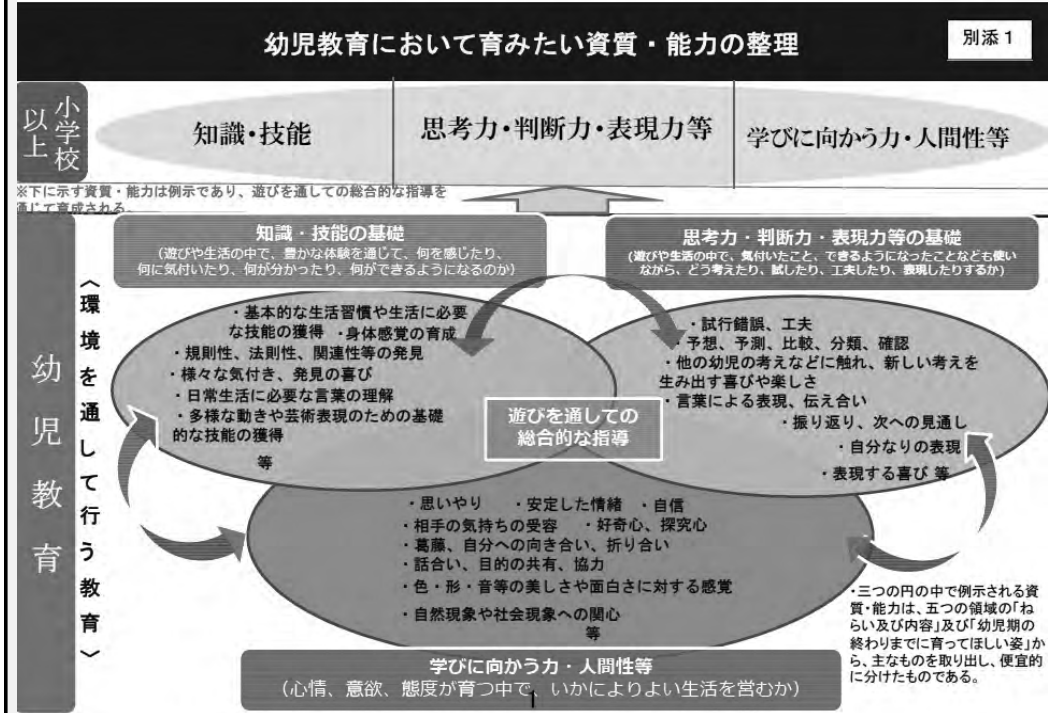
教師評定: 幼稚園→小学校(縦断)



国立教育政策研究所・プロジェクト研究「幼小接続期の育ち・学びと幼児教育の質に関する研究」(平27-28年度)より



● 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（答申）補足資料 平成28年12月21日



● 幼児教育において育みたい資質・能力（要領）

生きる力の基礎を育むため、・・・、次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。

★ **知識及び技能の基礎**

豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「知識及び技能の基礎」。

★ **思考力、判断力、表現力等の基礎**

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」。

★ **学びに向かう力、人間性等**

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」。

● 幼児期の教育における見方・考え方（要領）

幼児が身近な環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりするようになる。

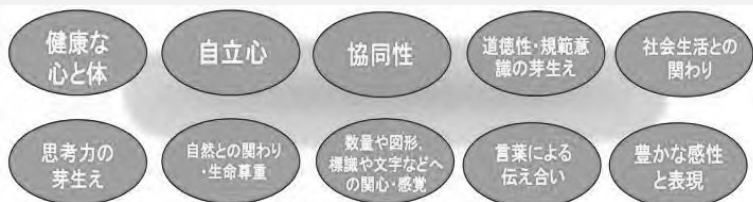
## ● 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（要領）

○5領域のねらい及び内容に基づいて、各幼稚園で、幼児期にふさわしい遊びや生活を積み重ねることにより、幼稚園教育において育みたい資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿であり、特に5歳児後半に見られるようになる姿である。

○幼稚園の教師は、遊びの中で幼児が発達していく姿を、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いて捉え、一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況をつくりたり必要な援助を行ったりするなど、指導を行う際に考慮することが求められる。

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達すべき目標ではないことや、個別に取り出されて指導されるものではないことに十分留意する必要がある。幼児の自発的な活動としての遊びを通して、一人一人の発達の特性に応じて、これらの姿が育っていくものであり、全ての幼児に同じように見られるものではないことに留意する必要がある。

○5歳児に突然見られるようになるものではないため、5歳児だけでなく、3歳児、4歳児の時期から、幼児が発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことに留意する必要がある。



<参考> ○5歳児後半の評価の手立てともなるものであり、幼稚園等と小学校の教員が持つ5歳児修了時の姿が共有化されることにより、幼児教育と小学校教育との接続の一層の強化が図られることが期待できる。  
←中教審答申・補足資料（平成28年12月21日）

## ● 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（要領）

○第2章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するものである。

### 1. 健康な心と体

幼稚園生活の中で、充実感を持って自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

### 2. 自立心

身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。

### 3. 協同性

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。

#### 4. 道徳性・規範意識の芽生え

友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。

#### 5. 社会生活との関わり ←直接的な体験の重要性、情報機器の活用

家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。

また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。

#### 6. 思考力の芽生え

身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。

#### 7. 自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって言葉などで表しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。

#### 8. 数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚

遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。

#### 9. 言葉による伝え合い

先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。

#### 10. 豊かな感性と表現

心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

- 幼児教育部会における「審議の取りまとめ」平成28年8月26日
- 中央教育審議会「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」（答申）平成28年12月21日

### 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）

- 周囲の環境に興味や関心を持って積極的に働き掛け、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの遊びを振り返って、期待を持ちながら、次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。
- 他者との関わりを深める中で、自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり、考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。
- 直接的・具体的な体験の中で、「見方・考え方」を働かせて対象と関わって心を動かし、幼児なりのやり方やペースで試行錯誤を繰り返し、生活を意味あるものとして捉える「深い学び」が実現できているか。

「学びの過程」例：遊びの創出、遊びへの没頭、遊びの振り返り  
 習得・活用・探究 ←思考力の芽生え

## ● 全体的な計画とカリキュラム・マネジメント

### ● 全体的な計画

教育課程を中心に、教育課程に係る教育時間の終了後等に行う教育活動の計画、学校保健計画、学校安全計画などに関連させ、一体的に教育活動が展開されるよう全体的な計画を作成する。

←園長のリーダーシップの下、全職員で話し合い共有する

### ● カリキュラム・マネジメント

全体的な計画にも留意しながら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ教育課程を編成すること、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的または物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各幼稚園の教育活動の質の向上を図っていくこと（カリキュラム・マネジメント）に努める。

## ● 学校評価：自己評価，学校関係者評価，第三者評価

### ● 幼稚園における学校評価ガイドライン（平成23年改訂）：

各幼稚園において重点的に取り組むことが必要な目標を設定，その評価項目の達成・取組状況を把握するための指標を設定。→PDCAサイクル

**自己評価**：学校の教育目標等を実現するために，重点的に取り組むことが必要な目標や計画の取組状況等を適切に評価できる項目等を各学校の実情に応じて設定し，教育活動を実施。評価結果を公表することにより，学校運営の質に対する説明責任を果たし，保護者との連携協力を推進。

**学校関係者評価**：教職員や保護者，地域住民等が学校運営について意見交換し，学校の現状や取組を知り課題意識を共有することにより，相互理解を深める。

→学校評価を学校・家庭・地域間のコミュニケーション・ツールとして活用することにより，保護者・地域住民の学校運営への参画を促進し，共通理解に立ち，家庭や地域に支えられる開かれた学校づくりを推進。

**評価項目・指標等の設定**：教育課程・指導，保健管理，安全管理，特別支援教育，組織運営，研修，教育目標・学校評価，情報提供，保護者・地域住民との連携，子育て支援，預かり保育，教育環境整備の12分野から検討。重点目標を達成するために必要な項目・指標を精選。

**参考）第三者評価**：自己評価や学校関係者評価に加え，第三者評価を導入することで，学校評価全体の充実を図る。

## ● 幼児理解に基づいた評価

### ● 幼児一人一人の発達の理解に基づいた評価

指導の過程を振り返りながら，…幼児一人一人のよさや可能性などを把握し，指導の改善に生かす。

→**幼児のよさや可能性**，**特徴的な姿**，**伸びつつあるもの**

→**指導が適切であったか**：話し合い等を通して，自分自身の幼児に対する見方の特徴や傾向を自覚し，**幼児理解を深める**

→**他の幼児との比較**や**一定の基準に対する達成度**についての評定によって捉えるものではない

### ● 評価の妥当性・信頼性

**妥当性 validity**：捉えようとしているものを的確に捉えているか

**信頼性 reliability**：同じような状況を捉えたり評価したりするとき，同じような捉え（見取り）や評価になるか（ある程度一貫して安定しているか）

→日々の記録やエピソード，写真など幼児の評価の参考となる情報を生かした評価

→複数の保育者で判断の根拠となる考え方を突き合わせ，同じ幼児のよさを捉えるなど，より多面的に幼児を捉える工夫をする

### ● 組織的かつ計画的な取組，適切な引継ぎ

→評価に関する園内研修の充実，園全体での組織的かつ計画的な取組

→家庭との連携，指導要録の適切な送付，小学校との情報の共有化の工夫



● **幼児教育の専門性：保育者の実践・見とり・省察**

1. **子どもの育ち・学びと学びに向かう力を捉え支える**  
発達, 好奇心, 発見, 挑戦, 集中, 粘り強さ(継続), 主体性, 自己調整, 協同性, 開放性
2. **保育実践にみられる安心・安定, 信頼・親しみ, 面白さ, 遊戯性・ユーモア, こだわり・集中没頭, 自由さ・美しさ**  
→自己肯定感
3. **「その時」の判断(見さだめる)と**  
行為の中の省察 (Schon, 1983/2007),  
教育的瞬間 (VanManen, 1991) etc.

**継続的な読みとり・省察 との時間軸の往還**

- 「引っ掛かり」を捉え, こだわり, 活かす 「自覚化」  
質感を伴って, 語り, 記し, 伝えていく 「対話の連鎖」
- 「これまで」を捉え, 「その時」に対峙し,  
「これから」をともに生成し, 「その一歩先へ」を目指す

● **幼児教育の専門性を育む：保育カンファレンス**

正解や意見の一致を求めず, 多様な意見をつきあわせ, すりあわせていくことによって, それぞれ自分の考え方や枠組みを再構築していく学び合いのスタイル。

● **ファシリテーションのポイント**

全ての意見を尊重し受け入れる

(話す→思考の明確化, 共有)

似てる場面の経験や異なる意見を聞く

(他者の視点, 教育的意思決定・判断の自覚化)

自分の意見を長く述べすぎない

正解・結論を出す必要はない(短期の方針)

➡ **幼児教育アドバイザー** arranger, facilitator, coresearcher  
養成校教員, 園長所長・ミドルリーダー

## ●保育カンファレンスの様々な方法

### ●エピソード記録を活用したワークシート, エピソード記述 (鯨岡,2007)

事例とポイント (子供の育ちと学び, 保育者の援助, 環境構成, 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連など) の提示

→ 幼児理解 (育ちと学び), 語り合い

### ●エピソードと写真を活用した記録

「学びの物語」(マーガレット・カー) 記録 (5視点から見る), 振り返り, 次の具体的手立て

「ドキュメンテーション」 記録 (子供たちの活動の写真と説明, 活動での作品, 子供の言葉・会話)

→ 幼児理解 (育ちと学び・興味関心), 語り合い, 次の保育へ

### ●ビデオ (目的・印象的な場面, 5~15分, 実践者への配慮)

映像を介して語り合う, 実践者の声を引き出される,  
一緒に同じ場面の映像を観る, 複数の視点を重ね合わせるメリット

「どんな読みとりか」「他にどんな関わり・解釈があるか」

援助タイミング (自分との違い) → 映像の実践解説, 語り合い

## ●幼児理解の視点：学びと育ちを捉える

「学びの物語」(マーガレット・カー)の記録

大宮勇雄『学びの物語の保育実践』 ひとなる書房 2010年

マーガレット・カー『保育の場で子どもの学びをアセスメントする』 ひとなる書房 2013年

### 1. 5視点 (学びの意味) を意識して記録する (+写真)

→子供の視点に立つ <動き・気持ちの観点>

「関心」 関心を持つ

「熱中」 熱中して取り組んでいる, 遊び込む (集中・没頭)

「チャレンジ」 困難に粘り強く立ち向かっている

「コミュニケーション」 自分の考えや気持ちを表現する

「責任」 責任を担う, 相手の立場に立って行動する

### 2. 短期間の振り返りをする →子どもの学び, 今後の見通し

### 3. 次はどうするか (具体的手立て) を記述する: 環境構成・援助

### 4. 記録をもとに語り合う →ポートフォリオ, ドキュメンテーション

### ●ポートフォリオとは: 紙ばさみ, 書類ケースの意味。

子供の成長発達の軌跡の記録。子供の学びと育ちを子供・

保育者・保護者が分かち合い共有することを「見える化」したもの。

## ●ドキュメンテーション研修の例

進行：グループ討議20分＋作成20-30分（2-5枚写真と事例）

※事例と写真を持参した先生は、必要に応じて他グループへ解説する

### ●付箋・討議の視点（カラー付箋青・緑・ピンクを利用）

1. 子供が自ら進んで意欲的に遊んでいる姿→10の姿とのつながり  
（何が楽しくて主体的に取り組んでいるか？子供の学びは？）

→幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とのつながりは？

カリキュラムへ生かしたい視点は？

2. 環境構成の工夫（どんな姿が引き出されている？再構成は？）
3. 保育者の援助（内容やタイミング？他に？その後の展開は？）

### ●ドキュメンテーション作成上のポイント

討議内容を生かす（ドキュメンテーションを作成しながら語り合う）

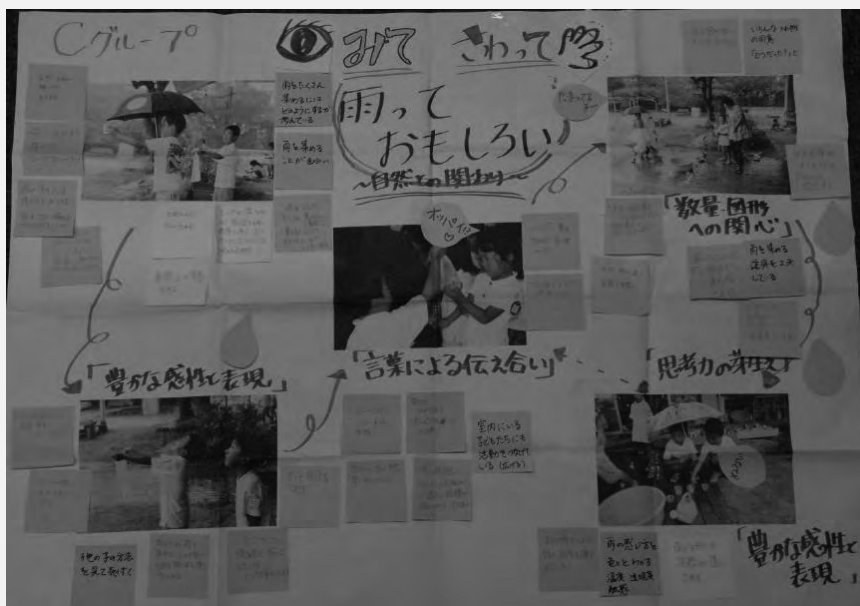
まず模造紙に写真の配置を考える（事例の流れが分かるように）

タイトル、展開とポイントを明確に示す（読み手に伝わるように）

他グループのドキュメンテーションも途中で見て回り、最後に掲示

## ●研修でのドキュメンテーション例

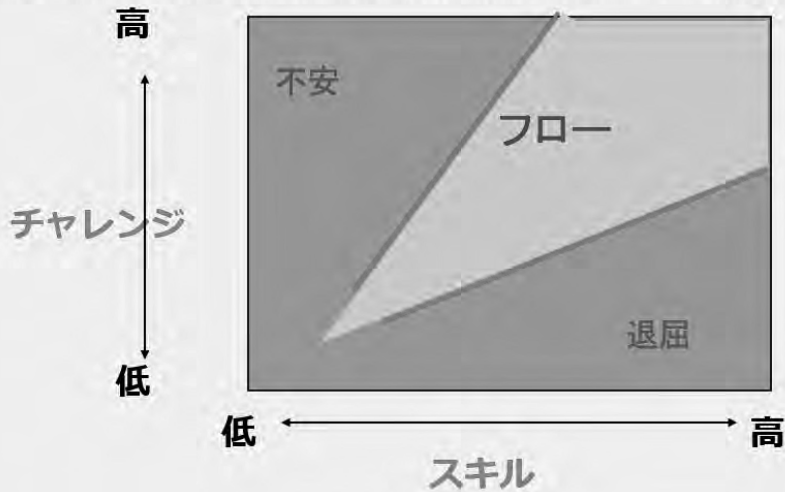
### 5歳児10月「雨やさん」



● **フロー体験（≡集中・没頭）**（チクセントミハイ，2008）

\* 自己目的的活動に没頭するときを感じる深い楽しさを伴う  
最適経験

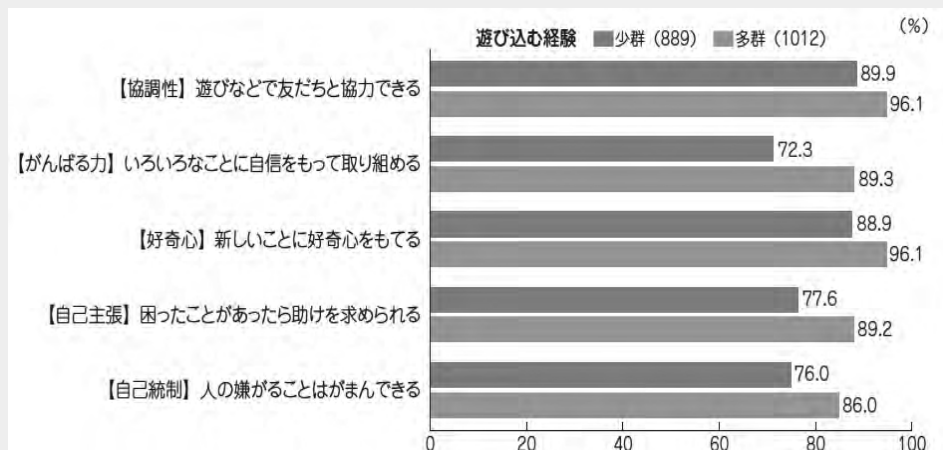
\* チャレンジとスキルがともに高く釣り合っているときに生起



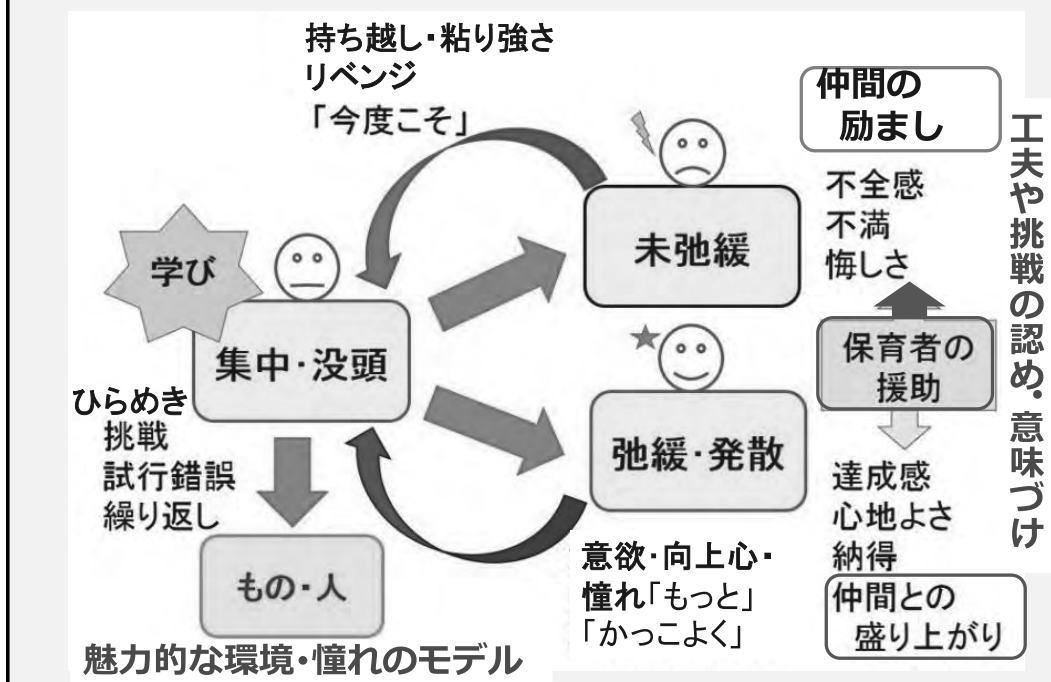
● 「園での経験と幼児の成長に関する調査」

（ベネッセ総合教育研究所，2016）

園で「遊び込む経験」（集中・没頭）を多くする方が，子どもの「学びに向かう力」は高い。



## ● 学びと学びに向かう力を育む・捉える



## ● 幼児教育の質向上のための実践上のポイント

1. うまいかないとき（困り・悔しさ）工夫・発見が生まれる。  
何とかしようと考えて繰り返し取り組む，その時間と空間と仲間
2. 考えて試す機会を大事にする：やってみる，やりながら考える経験
3. 没頭し遊び込む，主体的に取り組んで出来た満足感・達成感
4. 学びや学びに向かう力が育まれる：憧れ，願い，閃き，挑戦  
「やってみたい」「もっと」「そうだ！」「分かった！」「発見」「あかん」「ぴったり」
5. 興味・関心を持った他の仲間と関わる機会を大事にする  
→新しい遊びや環境や人とのつながり，経験の広がり，きっかけ
6. 思いをつなげる（関係，空間・場，時間），ワクワク感  
遊ぶ前，遊びの最中，遊び後，明日の遊びへつなぐ
7. 継続する遊び・活動，振り返りと見通し，粘り強く取り組む工夫
8. 子供・保育者・保護者が語り合い伝え合う大切さ，記録・写真
9. 自治体・養成校・園との連携：体制づくり，研修・研究

## OECD Starting Strong Survey 2018 概要

- OECD国際幼児教育・保育従事者調査を新たに実施  
(2018年10-11月本調査, 2019年10月OECD結果公表1巻, 2020年11月OECD結果公表2巻)
- 調査の目的 幼児教育の環境, 特にプロセスの質に影響を与える要因について,  
国際比較可能なデータを収集 → 各国の政策への示唆
- 参加国 日本を含め9か国 (日本, アイスランド, トルコ, ノルウェー, ドイツ, 韓国, デンマーク, チリ, イスラエル)

### ● 調査対象

- ・ 全国の国公立の幼稚園・認可保育所・認定こども園から無作為抽出した220園のうち216園
- ・ 抽出園の園長1名と保育者8-10名, 園長216名, 保育者1616名

表 日本の調査参加園数・参加保育者数

国種	参加園数	参加保育者数	
		国公立	私立
幼稚園	76園	214人	308人
		公立	338人
保育所	71園	公立	203人
		私立	285人
認定こども園	69園	公立	268人
		私立	268人
合計	216園	1,616人	

※この他参加園の園長・所長216人が参加

### ● 調査方法・調査内容

質問紙調査 (2018年10月-11月実施, 園への直接郵送・直接回収)  
園の環境, 保育のプロセスの質, 園でのリーダーシップ, 幼児教育に関する信念と保育実践, 子供の評価・モニタリング, 自己効力感, 職場の雰囲気・勤務環境, 仕事満足度, 保護者・関係者との連携・協力, 保育者養成・研修, 公平性と多様性

- 調査結果『OECD国際幼児教育・保育従事者調査2018: 質の高い幼児教育・保育に向けて 結果のポイント』『[第2巻] 結果のポイント』をご覧ください。(本資料はこちらをもとに作成)  
[https://www.nier.go.jp/youji\\_kyouiku\\_kenkyuu\\_center/pdf/oeecd2018\\_points.pdf](https://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/pdf/oeecd2018_points.pdf)  
[https://www.nier.go.jp/youji\\_kyouiku\\_kenkyuu\\_center/pdf/oeecd2018\\_points-02.pdf](https://www.nier.go.jp/youji_kyouiku_kenkyuu_center/pdf/oeecd2018_points-02.pdf)

## OECD国際幼児教育・保育従事者調査の経緯

- 幼児教育・保育従事者に焦点を当てた国際調査  
幼児教育・保育への関心の高まり
- ・ 2007年 OECDでECECネットワーク設置  
各国の幼児教育・保育に関する情報交換や政策分析を実施。
- ・ OECD教員指導環境調査TALIS (2008年～) を土台として,  
幼稚園, 保育所, 認定こども園の保育者及び園長所長を対象に,  
園での実践, 勤務環境, 研修, 管理運営等に焦点を当てた  
初めての国際調査を, 2018年から実施。
- ・ 今後も継続調査し, さらに多くの国々の参加に期待。経年変化の検討へ。



### ● 国際比較からの知見

- 国際比較可能なデータを収集したことにより,
- 1) 日本の幼児期の教育・保育の実態や特長, 課題を把握。  
→ 政策への示唆, 実践等の改善の方向性
  - 2) 参加9か国の幼児教育の質の確保の状況の把握, 質の改善への示唆。

参照: NPM杉浦健太郎総括研究官作成資料 (2020年9月19日全国保育士養成協議会)

## 調査結果：保育者、園長・所長の性別・年齢等

### ● 日本の状況

#### 保育者の性別・年齢等：

日本の保育者は、女性が96.3%。  
年齢層は、30歳未満が32.9%、30-49歳が48.5%、50歳以上が18.7%。  
経験年数は、10年以上の保育者が55.9%で参加国中で最も高い。  
5年未満の保育者は24.0%で、ノルウェーに次いで2番目に低い。

#### 園長・所長の性別・年齢等：

日本の園長・所長は、女性の割合が64.2%でトルコに次いで2番目に低い。  
年齢層は、50歳以上の割合が81.1%で、参加国中で最も高い。

### ● 参加国の状況

#### 保育者の性別・年齢等：

参加国の保育者の大半が女性。北欧諸国は男性の割合も高いが、男性は15%以下。  
参加国では全体として、30-49歳の年齢層の保育者が多い。

#### 園長・所長の性別・年齢等：

性別は、保育者と比べ、参加国間でのばらつきが大きい。  
イスラエルでは、園長・所長の99%が女性、ドイツ、アイスランド、韓国、ノルウェーも女性の割合が高い。一方、トルコ、日本は女性の割合が低い。  
ほとんどの参加国で園長・所長の過半数が50歳以上。

## 調査結果：保育者、園長・所長の学歴

### ● 日本の状況

#### 保育者の最終学歴： 注) ISCED：国際標準教育分類

高等学校卒業などのISCED4（中等後非高等教育）未満が1.1%と極めて少ない。  
短期大学、専門学校卒業などのISCED4又はISCED5（短期高等教育）が81.2%、  
ISCED6（学士）レベル以上が17.7%。  
→ 短期大学、専門学校等を卒業した保育者の割合が、最も高い。  
ISCED6（学士）レベル以上の最終学歴を有する保育者の割合は、参加国の中で最も低い。  
→ 短期大学、専門学校等の保育者養成課程を経た保育士・教員等が保育者の大半。

#### 園長・所長の最終学歴：

ISCED6（学士）レベル以上が44.4%、参加国の中で最も低い。  
高等学校卒業などのISCED4（中等後非高等教育）未満は6.9%、  
ISCED4又はISCED5（短期高等教育）が48.6%、参加国の中で最も高い。

### ● 参加国の状況

#### 保育者の最終学歴：

ISCED6（学士）レベル以上の最終学歴を有する保育者の割合：  
トルコ（80.6%）、ドイツ（67.0%）、ノルウェー（61.0%）などで高い。  
高等学校卒業などに相当するISCED4未満の保育者の割合：  
アイスランド（48.0%）、イスラエル（38.7%）、ノルウェー（33.0%）などで高い。  
保育者の構成（学歴・養成）が多様：ドイツ、アイスランド、イスラエル、ノルウェー、デンマーク

#### 園長・所長の最終学歴：保育者と比べ、ISCED6（学士）レベル以上の学歴を有する傾向。

日本に次いでISCED6（学士）レベル以上の割合が低い参加国は、アイスランド（77.2%）、  
ドイツ（79.1%）で、残る6カ国は全て85%超え。

## 調査結果：仕事に対する満足度、保育者に対する評価

### ● 日本の状況

多くの保育者と園長・所長が、

「現在の園での仕事を楽しんでいる」「全体としてみれば、この仕事に満足している」。

しかし、「保育者は社会的に高く評価されていると思う」は、

保育者では参加国中で最も低く（31.4%）、園長はドイツに次いで2番目に低い。

「子供たちは私を保育者として高く評価している」

「保護者は私を保育者として高く評価している」も参加国中で最も低い。

### ● 参加国の状況

参加国全体として、保育者と園長・所長の仕事に対する満足度は全体的に高い（90%以上が多）。

しかし、保育者は子供たちや保護者から評価されていると感じているが、

社会的な評価はそれほど高く感じていないという点は、どの国も共通の課題。

→ 幼児教育・保育の仕事の価値の高さ、保育者の養成や現職研修、資質・能力等が、幼児教育の質の重要な要因であることについて、社会的な認識を高めることが必要。

表 仕事に対する保育者の満足度 (%)

	現在の園での仕事を楽しんでいる	全体としてみれば、この仕事に満足している
日本	83.3	80.7

表 仕事に対する園長の満足度 (%)

	現在の園での仕事を楽しんでいる	全体としてみれば、この仕事に満足している
日本	87.2	94.8

表 保育者に対する評価 (%)

	子供たちは私を保育者として高く評価している	保護者は私を保育者として高く評価している	保育者は社会的に高く評価されていると思う
日本	75.8	63.0	31.4

## 調査結果：保育者の職務上のストレス

### ● 日本の状況

日本の保育者がストレスを感じるとう答したものは、「資源（リソース）（例：財政的支援、物的資源、保育者）が不足していること」が最も多い。次いで「事務的な業務が多すぎる（例：書類の記入）」「子供の育ちや学び、生活の充実に責任を負っていること」が挙げられている。

→ 日本のグループサイズは比較的大きいが「自分のクラスやグループに子どもが多すぎる」は低い。

### ● 参加国の状況

参加国全体として「資源（リソース）（例：財政的支援、物的資源、保育者）が不足していること」「自分のクラスやグループに子どもが多すぎる」が、保育者がストレスに感じている要因の上位に入っている。

「あなたの国での業務に関して、以上のことはどの程度ストレスに感じますか」という質問に対し、4件法（「全く感じない」「いくらか感じる」「かなり感じる」「非常に感じる」）で回答を求めたところ、「かなり感じる」「非常に感じる」と回答した保育者の割合 (%)



図 保育者の職務上のストレスの要因 (%)



## 調査結果：常勤の保育者等の仕事時間

### ●日本・参加国の状況

日本の常勤の保育者の1週間当たりの仕事時間は、参加国中で最も長い50.4時間。日本に次いで仕事時間が長いのは韓国（46.6時間）、チリ（44.3時間）、最も短いのはアイスランド（33.5時間）。

→ 園長・所長の園での1週間当たりの仕事時間は41.5時間で、参加国中4番目に長かった。保育者としての通算勤務年数3年以下の日本の常勤の保育者の1週間当たりの仕事時間は、54.0時間で、勤務年数3年超の保育者の49.3時間よりも4.7時間長い。

韓国は、勤務年数3年以下の保育者が、勤務年数3年超の保育者より2.9時間長い。

アイスランドは、勤務年数3年超の保育者が、勤務年数3年以下の保育者より6.4時間長い。

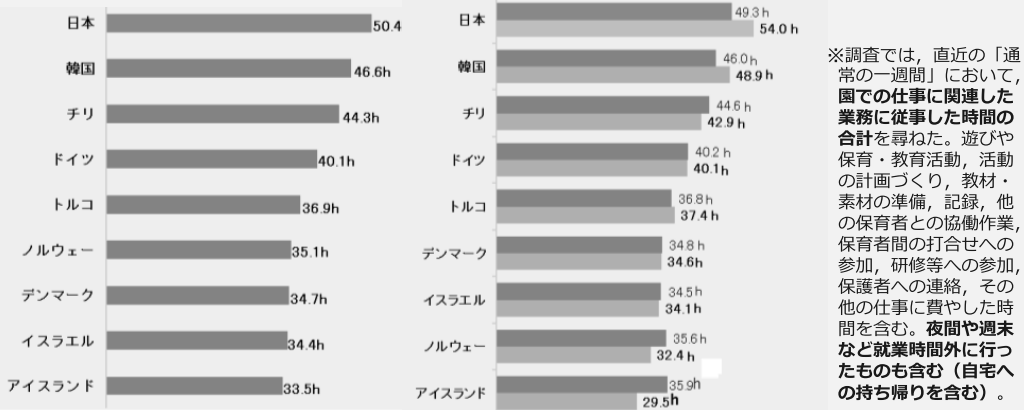


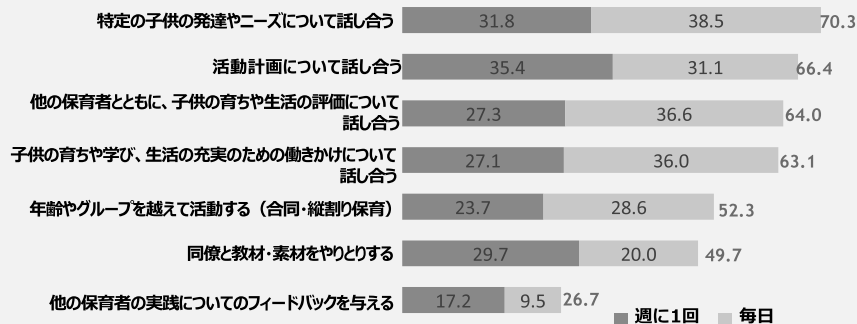
図 常勤の保育者の週当たり仕事時間(h) 図 常勤の保育者の週当たりの仕事時間（勤務年数別）

## 調査結果：保育者間の協働

### ●日本の状況

「他の保育者とともに、子供の育ちや生活の評価について話し合う」が毎日行われている割合は36.6%で参加国中2番目に高い。「特定の子供の発達やニーズについて話し合う」が毎日行われている割合は38.5%で3番目に高い。「子供の育ちや学び、生活の充実のための働きかけについて話し合う」が毎日行われている割合が36.0%で3番目に高い。「活動計画について話し合う」が毎日行われている割合は31.1%で4番目に高い。保育者間の協働は比較的よく行われている。

●「他の保育者の実践についてのフィードバックを与える」を「週に1回」「毎日」行う保育者の割合は参加国中最も低い。ノルウェー等ではその割合が高い。



※ 「毎日」「週に1回」「月に1回」「月1回未満」「行っていない」の5つの選択肢のうち、「毎日」又は「週に1回」と回答した保育者の割合を赤字で示している。

図 保育者間の協働を週に1回以上行っている日本の保育者の割合(%)

## 調査結果：園の意思決定への保育者の参加と保育者の満足度

### ●日本・参加国の状況

・二項ロジスティック回帰分析で、保育者の属性（最終学歴、通算勤務年数、雇用形態等）及び園の属性（運営形態や子供1人当たりの保育者数等）の影響をコントロールした上で、「園長・所長は、重要な決定において、全ての保育者が意見を言うように促している」について「非常によく当てはまる」と回答した保育者は、そうでない保育者と比べ、「現在の園での仕事を楽んでいる」「自分の園を良い職場だと人に勧めることができる」「全体としてみれば、この仕事に満足している」に「非常によく当てはまる」と回答する傾向が全ての参加国で見られた。

→ 日本を含む全ての参加国で、園長・所長が「重要な決定において、全ての保育者が意見を言うように促している」園では、仕事や園に対する保育者の満足度が高い。

表 保育者の園の意思決定への参加と保育者の満足度に関する二項ロジスティック回帰分析の結果

	「園長・所長は、重要な決定において、全ての保育者が意見を言うように促している」について「非常によく当てはまる」と保育者が回答した場合とそうでない場合で、以下について「非常によく当てはまる」と保育者が回答する可能性の違い					
	現在の園での仕事を楽んでいる		自分の園を良い職場だと人に勧めることができる		全体としてみれば、この仕事に満足している	
	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差	オッズ比	標準誤差
チリ	4.1	(0.2)	5.9	(0.2)	3.8	(0.2)
ドイツ	3.7	(0.2)	6.3	(0.2)	3.2	(0.2)
アイスランド	3.7	(0.2)	5.7	(0.1)	3.2	(0.1)
イスラエル	3.8	(0.2)	5.9	(0.2)	2.6	(0.1)
日本	3.0	(0.3)	3.9	(0.2)	2.2	(0.2)
韓国	7.1	(0.3)	6.3	(0.2)	2.9	(0.2)
ノルウェー	3.4	(0.2)	3.7	(0.3)	3.0	(0.2)
トルコ	4.4	(0.2)	5.3	(0.2)	2.6	(0.2)
デンマーク	2.3	(0.3)	3.5	(0.3)	2.6	(0.3)

## 調査結果：保育者の養成課程の内容

### ●日本の状況

保育者の養成課程の教育の内容：

「子供の育ちや学び、生活の観察・記録」「特別な支援を要する子供の保育」が含まれていた割合は、日本が参加国中で最も高い。

### ●参加国の状況

調査参加国全体の結果として、ほぼ全ての保育者が「子供の発達（例：社会情緒、運動、認知、自己コントロール）に関する内容」の教育を受けている。

\*養成課程の教育に、実習practicumが含まれているかどうかのばらつきが大きい。

日本：ほぼ全ての保育者の養成課程に含まれている（91.6%）。

チリ：保育者の半数に満たない。

表 保育の仕事に就く準備のための養成課程の教育の内容(%)

	子供の発達（例：社会情緒的、運動、認知、自己コントロール）に関する内容	遊びの支援	子供の育ちや学び、生活の観察・記録	子供の健康管理や身の回りのケアに関する内容（例：衛生管理）	創造性や問題解決力の育成	保護者や家庭との連携	芸術に関する学びの支援	特別な支援を要する子供の保育
日本	98.6	97.0	96.2	95.4	88.0	86.4	86.2	86.1

	学習理論	クラスやグループの運営	読み書きや話し言葉に関する学びの支援	多様な背景（例：文化的多様性、経済的困難、宗教）を持つ子供の保育	幼小接続での支援	数に関する学びの支援	科学や技術に関する学びの支援
日本	84.0	77.4	72.8	62.1	61.4	48.8	46.6

## 調査結果：保育者の専門性向上（現職研修等）のニーズ

### ● 日本の状況

「特別な支援を要する子供の保育」「保護者や家庭との連携」

「子供の発達（例：社会情緒的、運動、認知、自己コントロール）に関する内容」「遊びの支援」などについて、専門性向上（現職研修等）の必要性が高いという回答の割合が、参加国中で最も高い。

### ● 参加国の状況

調査参加国全体として「特別な支援を要する子供の保育」に対する専門性向上のニーズが大きい。

表 保育者の専門性向上（現職研修等）のニーズ（%）

	特別な支援を要する子供の保育	保護者や家庭との連携	子供の発達	遊びの支援	創造性や問題解決力の育成	子供の育ちやクラスやグループの観察・記録の運営	幼小接続での支援	
日本	80.3	68.3	67.0	61.3	58.6	56.4	43.0	
	子供の健康管理や身の回りのケアに関する内容（例：衛生管理）	多様な背景（例：文化的多様性、経済的困難、宗教）を持つ子供の保育	読み書きや話し言葉に関する学びの支援	芸術に関する学びの支援	二か国語を話す子供の保育	数に関する学びの支援	科学や技術に関する学びの支援	学習理論
日本	40.2	28.8	22.5	22.0	15.0	14.0	12.0	5.9

## 調査結果：保育者の専門性向上（現職研修等）の内容

### ● 日本の状況

日本の85.3%の保育者は、過去12か月の間に専門性向上のための活動（現職研修等）に参加。9か国中4番目に参加割合が高い。

日本は「子供の発達（例：社会情緒、運動、認知、自己コントロール）」「遊びの支援」「特別な支援を要する子供の保育」「子供の育ちや学び、生活の観察・記録」「保護者や家庭との連携」が多い。

一方「学習理論（例：ピアジェ、ヴィゴツキー）」「数に関する学びの支援」「科学や技術に関する学びの支援」「二か国語を話す子供の保育」は、参加国中で最も低い。

### ● 参加国の状況

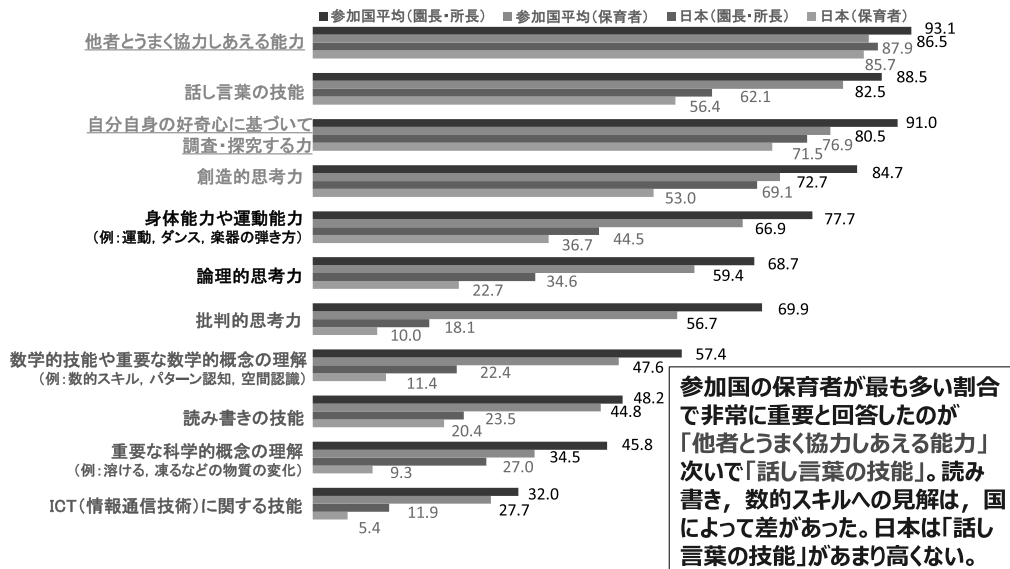
参加国で最も一般的に扱われている内容は「子供の発達（例：社会情緒的、運動、認知、自己コントロール）に関する内容」「遊びの支援」。

表 過去12か月の間に保育者が参加した専門性向上のための活動（現職研修等）に含まれていた内容（%）

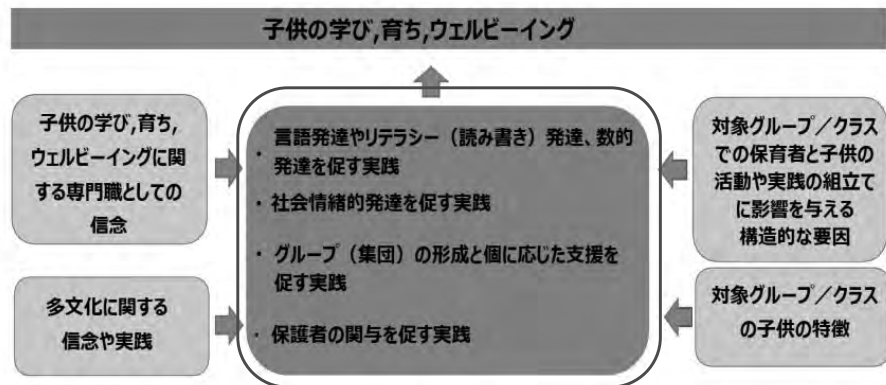
	子供の発達	遊びの支援	特別な支援を要する子供の保育	子供の育ちや学び、生活の観察・記録	保護者や家庭との連携	創造性や問題解決力の育成	子供の健康管理や身の回りのケアに関する内容（例：衛生管理）	幼小接続での支援
日本	83.9	77.2	74.4	71.1	67.7	58.2	54.5	53.0
	クラスやグループの運営	多様な背景（例：文化的多様性、経済的困難、宗教）を持つ子供の保育	読み書きや話し言葉に関する学びの支援	芸術に関する学びの支援	二か国語を話す子供の保育	数に関する学びの支援	科学や技術に関する学びの支援	学習理論
日本	47.6	32.5	32.0	29.5	13.9	13.4	12.9	5.9

## 調査結果：子供が将来の人生を生き抜くために育みたい能力や技能に関する 園長・所長と保育者の信念

「あなたの意見では、子供たちが将来の人生を生き抜くために、あなたの園が子供たちに以下のような能力や技能を育むことは、どの程度重要だと思いますか。」という質問に対し、3件法（「非常に重要」「ある程度重要」「あまり重要でない」）で回答を求めたところ、「非常に重要」と回答した園長・所長及び保育者の割合（%）



## 子供の学び、育ち、ウェルビーイングに影響を与える実践の分析枠組み



### 【四つの主要な次元】

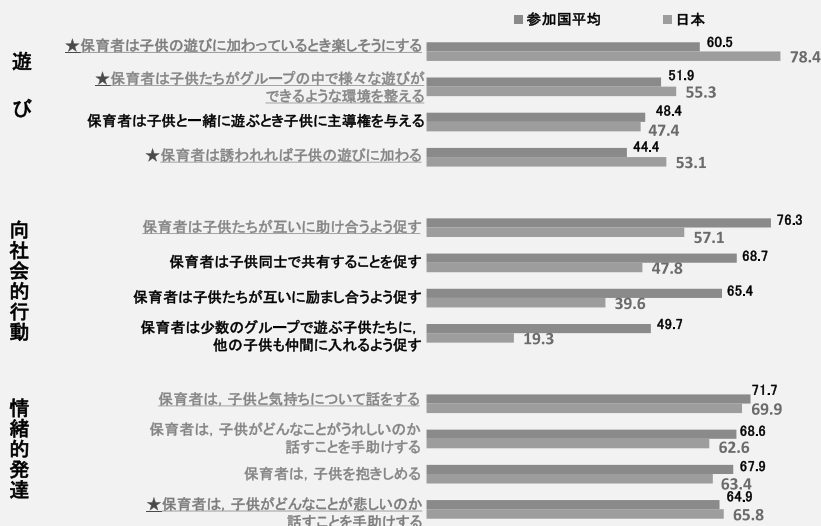
- 子供の言語発達、リテラシー（読み書き）発達、数的発達を促す実践
- 子供の社会情緒的発達を促す実践
- グループ（集団）の形成と、個に応じた支援を促す実践
- 子供の学びや育ちやウェルビーイングへの保護者の関与や、園の活動への保護者参加を促す実践

→ 保育者と子供、保育者と保護者、子供同士の相互作用の質に影響、保護者と子供の相互作用にも間接的に影響する可能性

→ どの相互作用（やりとり）も子供の発達にとって重要

## 調査結果：社会情緒的発達を支え促す保育者の実践

3～5 歳児の保育で行われている実践について、「以下のことはあなたの園の保育者にどの程度当てはまりますか。」という質問に対し、4 件法（「非常によく当てはまる」「いくらか当てはまる」「ほとんど当てはまらない」「全く当てはまらない」）で回答を求めたところ、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合（%）



向社会的行動を促す実践はあまり高くないが、遊びや情緒的発達を促す実践は比較的高い。  
→ 受容的で情緒的な対応に関わる実践がよく行われている特徴。

## 調査結果：社会情緒的発達を支え促す保育者の実践（上位3つ）

社会情緒的発達を支え促す実践のうち、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	保育者は子供の遊びに加わっているとき楽しそうにする	保育者は子供同士で共有することを促す	保育者は子供たちが互いに助け合うよう促す	保育者は子供たちが互いに励まし合うよう促す	保育者は子供を抱きしめる	保育者は子供と気持ちについて話をする	保育者は子供がどんなことがうれしいのか話すことを手助けする	保育者は子供がどんなことが悲しいのか話すことを手助けする
チリ		2	1				3	
ドイツ**			1	2		3		
アイスランド			1	2	3			
イスラエル		2	1	3				
日本	1					2		3
韓国			3		1	2		
ノルウェー		3	1	2				
トルコ		2	1				3	
デンマーク*			1			2		3

\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

\* デンマークは、回答率が低い推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

## 調査結果：言語，リテラシー，数の発達を支え促す保育者の実践

3～5 歳児の保育で行われている実践について、「以下のことはあなたの園の保育者にどの程度当てはまりますか。」という質問に対し、4 件法（「非常によく当てはまる」「いくらか当てはまる」「ほとんど当てはまらない」「全く当てはまらない」）で回答を求めたところ、「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合（%）



## 調査結果：言語，リテラシー，数の発達を支え促す保育者の実践（上位3つ）

言語，リテラシー，数の発達を支え促す実践のうち「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合が最も高い3 項目

	保育者は、子供たちが互いに話をするよう促す	保育者は、話をしたり聞いたりするときは子供の目線に合わせる	保育者は、子供の話を繰り返したり自分の言葉に言い換えたりする	保育者は、子供の言葉の誤りを直接直すのではなく、正しい言葉を使ってみせる	保育者は本や絵本を子供と一緒に活用する	保育者は子供と一緒に歌ったり、韻を踏む言葉遊びをしたりする	保育者は、子供が数を使ったり数えたりすることを手助けする	保育者は、物のグループがいくつかある時に、グループの大きさについて取り上げる
チリ					3	2	1	
ドイツ**	2				3	1		
アイスランド	3				2	1		
イスラエル	2					1	3	
日本	3	1	2					
韓国		2			3	1		
ノルウェー	2			3		1		
トルコ					2	1		3
デンマーク*	1			3		2		

\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

\* デンマークは、回答率が低いいため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

## 調査結果：グループ(集団)の形成に関わる行動的な支援(上位3つ)

対象クラス・グループ(回答者が回答日前日までの直近の勤務日に担当した、3～5歳児を含むクラス・グループ。一日のうちに複数を担当した場合には、その日最初に担当したクラス・グループ)について、「以下のことをどれくらいの頻度で行っていますか。」という質問に対し、4件法(「いつも又はほとんどいつも」「しばしば」「時々」「なし又はほとんどなし」)で回答を求めたところ、いつも又はほとんどいつもと回答した保育者の割合が最も高い3項目

	ルールを守るよう 子供を手助けす る	混乱したり不機嫌に なったりした子供を 落ち着かせる	活動を始めると き、子供たちに 静かにするよう に言う	他の子供たちの 学びを妨げるよう な秩序を乱す行 動に対処する	ルールを守らない とどうい結果に なるのか、子供が 理解できるよう手 助けする
チリ	2	1	3		
ドイツ**	2	1		3	
アイスランド	2	1		3	
イスラエル	1	2			3
日本	2	1	3		
韓国	1	2			3
ノルウェー	2	1		3	
トルコ	1	2			3
デンマーク*	2	1		3	

\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

\* デンマークは、回答率が低いため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

## 調査結果：個に応じた学びや育ちを支える適応的な教育的実践(上位3つ)

対象クラス・グループ(回答者が回答日前日までの直近の勤務日に担当した、3～5歳児を含むクラス・グループ。一日のうちに複数を担当した場合には、その日最初に担当したクラス・グループ)について、「以下のことをどれくらいの頻度で行っていますか。」という質問に対し、4件法(「いつも又はほとんどいつも」「しばしば」「時々」「なし又はほとんどなし」)で回答を求めたところ、いつも又はほとんどいつもと回答した保育者の割合が最も高い3項目

	子供のための 日々の目標を決 める	新しい活動を行うと きは子供の生活にど う関わっているかを 説明する	子供の関心に 応じて様々な 活動の場を与 える	子供の発達段 階に応じて 様々な活動の 場を与える	子供の能力を 伸ばすような活 動を示す
チリ	2		3		1
ドイツ**			3	2	1
アイスランド			3	2	1
イスラエル			3	2	1
日本	3		1	2	
韓国	3		1	2	
ノルウェー			1	2	3
トルコ	2	3			1
デンマーク*			3	2	1

\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

\* デンマークは、回答率が低いため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

**調査結果：具体的な日常の保育場面の事例で、  
子供の向社会的行動を支えるために保育者が行う実践（上位3つ）**

「2人の3歳児がそれぞれ積木遊びをしている場面を想像してください。幼児Aがほぼ全ての積木を取ってしまい、作品を作っています。幼児Bは恥ずかしがりで、少し悲しそうに見え、自分の作品を作ることに苦心しているようです。あなたならどうしますか。」という質問に対し、4件法（「必ずする」「おそらくする」「おそらくしない」「決してしない」）で回答を求めたところ、「必ずする」「おそらくする」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	二人の幼児が同じ数の積木を使うよう、積木を二つの等しい山に分ける	幼児Bが作品を作るのを手伝う	二人で何か一緒に作るよう促す	幼児Bの気持ちに気づかせようとして、幼児Aに話をする	幼児Aに、幼児Bと分け合うよう促す
チリ			2	3	1
ドイツ**			1	3	2
アイスランド			2	3	1
イスラエル			1	3	2
日本	3			1	2
韓国			3	2	1
ノルウェー			2	3	1
トルコ			1	3	2
デンマーク*			1	3	2

\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

\* デンマークは、回答率が低いため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。

**調査結果：具体的な日常の保育場面の事例で、  
子供主導の遊びを支えるために保育者が行う実践（上位3つ）**

「5人の3歳児がそれぞれ自分が選んだ玩具で遊んでいる場面を想像してください。この時間はあなたの思うとおりのことができるとしたら、あなたはどうしますか。」という質問に対し、4件法（「必ずする」「おそらくする」「おそらくしない」「決してしない」）で回答を求めたところ、「必ずする」「おそらくする」と回答した保育者の割合が最も高い3項目

	子供たちに主導権を与えつつ自分も一緒に遊ぶ	子供たちを自分たちで遊ばせて、呼ばれたときだけ介入する	質問をしたり説明を加えたりして、子供たちの遊びを豊かにする	子供たちの遊びに参加するよりも、子供同士が一緒に遊ぶよう促す	新しいアイデアや素材・教材を与えて、子供たちの遊びを豊かにする
チリ	3		1		2
ドイツ**		1		3	2
アイスランド		1	2		3
イスラエル		3	1		2
日本	1		2		3
韓国	2	3			1
ノルウェー	2		3		1
トルコ		2	1		3
デンマーク*		1	2		3

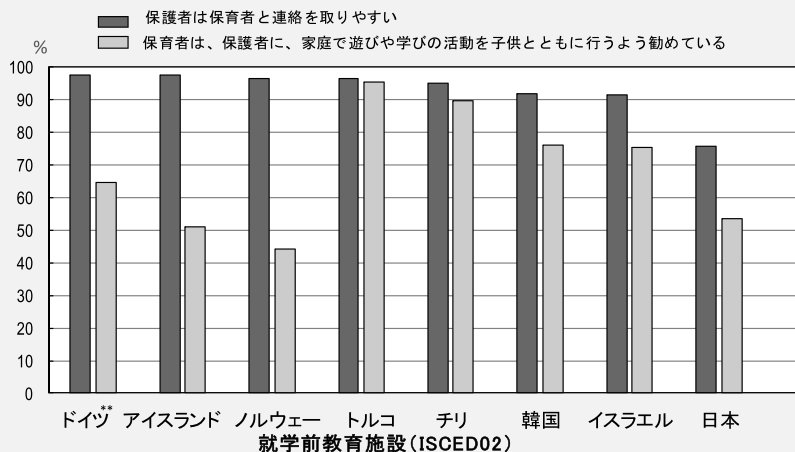
\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

\* デンマークは、回答率が低いため推定値に偏りが生じている可能性があり、データの比較可能性が制限される。



## 調査結果：保護者との関わり

園での保護者との関わりで、以下の実践が「よく当てはまる」「非常によく当てはまる」と回答した保育者の割合（％）



\*\* ドイツは連邦制のため、表中の国別推定値が各州の状況とは異なる可能性があり、解釈に慎重を要する。

全ての参加国で、保育者が子供の発達や日々の活動に関する情報提供等の保護者に関わる実践が園で確立されていると回答した割合が高い。一方、家庭での教育的活動を提案する子育て支援が園で確立されていると回答した保育者の割合は、ノルウェー、アイスランド、日本ではあまり高くなかった。

## OECD国際幼児教育・保育従事者調査の意義や知見

### ● 本調査の意義や知見

- ・幼児教育・保育に関する調査がデータとして可視化。→ エビデンスへ
- ・国内調査として、幼稚園・保育所・認定こども園、国公私立の枠を超え、全国の園長・所長と保育者の声を収集。
- ・日本の幼児期の教育・保育の実態や特長、課題を把握。
  - 政策への示唆、実践の改善の方向性、世界発信へ
- ・参加国のデータの背景にある、文化や歴史、理念、制度、政策等と併せて、理解しようと努めることの重要性。
- ・参加国の制度・政策・文化・理念等の違い、質問紙の翻訳上の課題による、国際調査の実施や比較の難しさを踏まえつつ、調査方法を改善し、継続的に実施し、経年比較を行う必要性。
- ・現状と課題：
  - 社会的評価の低さ → 幼児教育・保育の価値発信、免許上進、キャリアラダー受容的で情緒的な実践 → 数的、科学的視点を備える必要性
  - 研修ニーズの高さ、養成と現職研修の積み重ね、特別支援教育への関心
    - 多文化教育等への関心、さらなる研修の充実
  - リソース不足、事務・記録の多さ、→ ICT活用、人材確保、補助金、処遇改善、ストレス等
    - 若手支援、園での意思決定参加の機会

## 謝辞

このたび、掘越紀香先生にご講演いただきましたことを、心より感謝申し上げます。

大変学びの多い研修会でした。保育カンファレンスの大切さについてや、リカレントの必要性などについても深く考えさせられ、新たな視点に目を向ける機会をいただきました。

さて、このご縁をいただきましたのも、羽生で昔話を採集し「羽生昔語り」を編纂されたお母さまの掘越美恵子様と本学の繋がりがあってのことでした。掘越美恵子様には、以前、本学にお越しいただき、学生にお話をいただいたことがあります。

羽生の文化や昔話を大切になさっている美恵子様と、教育・保育の最先端の研究をなさり、尽力されている紀香先生のお二方にお目にかかり、ご講演をいただけましたことに、大きなご縁と感謝を感じております。

本当にありがとうございました。

教職員一同

## ディプロマ・ポリシー

本学は「気品・知性・奉仕」の学園訓（建学の精神）に基づき、「健康にして良識ある人格高き社会の指導的人物を養成すること」を使命としています。この学園訓の具現化を意図して教育課程を編成しています。

この教育課程における単位認定基準（知識・技術・態度等の達成度）によって認定された単位が卒業要件を満たし、かつ、社会人、職業人として自覚と責任を持った行動ができると判断した学生に学位を授与します。

- ① 学園訓（建学の精神）に基づき、信頼される保育者としての専門的知識と技術を習得し、子どもの教育や保育に貢献できる能力と社会人・職業人としての責務を果たすことができる。
- ② 子どもを取り巻く環境や成長と発達についての深い理解と知識を修得し、強い使命感と深い教育的愛情、豊かな教養とピュアな精神で多面的に諸問題を解決できる信頼される保育者となることができる。
- ③ 社会の事象に常に関心を抱き、的確に捉え、地域における課題を発見し、自らの問題として捉え、修得した知識や技術でこれらを解決することなどを通して地域社会に貢献することができる。

発行日 令和3年 12月 20日 発行  
編集 埼玉純真短期大学FD&SD推進委員会  
印刷 SP 関根印刷  
発行 学校法人純真学園 埼玉純真短期大学  
〒348-0045  
埼玉県羽生市下岩瀬 430 番地  
TEL : 048-562-0711 (代表)  
FAX : 048-562-0715

